

幼児教育学科教育課程

(令和2年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ( )内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に 必要な単位数			備考			
			必修	選択 (注1)		1 学 年		2 学 年		幼 免	保 育 士	社 会 福 祉 主 事 任 用				
						前 期 必 選	後 期 必 選	前 期 必 選	後 期 必 選							
教 養 科 目	日 本 国 憲 法	講	2		(彼 谷)	2					2	2				
	国 際 情 勢	講		2	(渡 部)						2	2		A		
	自 然 と 人 間	講		2	(岩 坪)						2	2		B		
	国 語 表 現	講	2		(奥 野)		2				2	2				
	コミュニケーションと情報	講	2		吉 牟 田			2			2	2				
	現代社会と人間	講		1	森井泉・小平	1										
	英 語 I	演	1		望 月		2				1	1				
	英 語 II	演	1		望 月 (シユリー・スキャンラン)			2			1	1				
	キャンパス&ホームステイプログラム	演		2	望 月											
	体 育 講 義	講	1		大 森	1						1				
涯 ス ポ ー ツ	実技	1		大森・立島	2						1					
基 礎 演 習	演習	1		高木(三) (専任教員全員)	2											
計			11	7		7	1	4	0	4	0	0	4	12	12	
専 門 科 目	保育の本質・目的に関する科目	保 育 原 理	講	2		石 動	2					2	2	2		
		教 育 原 理	講	2		高木(三)	2					2	2	2		
		子 ども 家 庭 福 祉	講	2		明 柴	2					2	2	2		
		社 会 福 祉	講	2		(村 上)	2					2	2	2		
		保 育 者 論	講	2		明柴・望月				2		2	2			
		子 ども 家 庭 支 援 論	講		2	石 動					2		2			
		社 会 的 養 護 I	講	2		明 柴		2				2	2			
	保育の対象の理解に関する科目	子 ども と 社 会	講	1		高木(三)					1	1	1			
		保 育 の 心 理 学	講	2		嶋 野	2					2	2			
		子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学	講	2		嶋 野		2					2			
		子 ども の 保 健	講	2		松 居	2					2	2			
		子 ども の 健 康 と 安 全	演		1	松 居			2				1			
		教 育 相 談	演		1	嶋 野					2	1	1			
		子 ども の 食 と 栄 養 I	演	1		(大 掛)	2					1	1			
	保育の内容・方法に関する科目	子 ども の 食 と 栄 養 II	演	1		(大 掛)		2				1	1			
		子 ども の 理 解 と 援 助	演		1	嶋 野					2	1	1			
		教 育 課 程 論	講	2		石 動		2				2	2			
		保 育 内 容 総 論	演		1	梅 本			2			1	1			
		子 ども と 健 康	演	1		大 森				2		1	1			
		保 育 内 容 (健 康) 指 導 法	演		1	大 森					2	1	1			
		子 ども と 人 間 関 係	演	1		石 動				2		1	1			
		子 ども と 環 境	演	1		梅 本				2		1	1			
		子 ども と 言 葉	演	1		梅 本		2				1	1			
		保 育 内 容 (言 葉) 指 導 法	演		1	梅 本					2	1	1			
子 ども と 音 楽 表 現	演	1		難 波		2				1	1					
保 育 内 容 (音 楽 表 現) 指 導 法	演		1	難波・(大村)					2	1	1					
子 ども と 造 形 表 現	演	1		中 山			2			1	1					
保 育 内 容 (造 形 表 現) 指 導 法	演		1	中 山					2	1	1					
子 ども と 遊 び	演	1		中山・石動・梅本 難波・大森						2	1	1				
子 育 て 支 援	演		1	明 柴						1	1					
乳 児 保 育 I	講		2	石動・松居	2						2					
乳 児 保 育 II	演		1	石 動				2			1					
特 別 支 援 論 I	演	1		(河 崎)		2					1					
特 別 支 援 論 II	演	1		嶋野・(北川)					2		1					
社 会 的 養 護 II	演		1	明 柴						2	1					
教 育 方 法 論	講		1	高木(三)						2	1	1				

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ( )内は 非常勤講師	毎週授業時間数								資格取得に 必要な単位数			備考	
			必修	選択 (注1)		1 学 年				2 学 年				幼 免	保 育 士	社 会 福 祉 主 事 任 用		
						前 期		後 期		前 期		後 期						
						必 選	選	必 選	選	必 選	選	必 選	選					
専 門 科 目	保育 の 表 現 技 術	音楽表現技術Ⅰ	演	1	難波(櫻井・大村・大林・玉井)	2								1	1			
		音楽表現技術Ⅱ	演	1	難波(櫻井・大村・大林・玉井)			2						1	1			
		音楽表現特講	演		1	難波(堀江・大村・大林)							2					
		造形表現技術Ⅰ	演	1		中山	2							1	1			
		造形表現技術Ⅱ	演	1		中山			2					1	1			
		子どもの運動	演	1		大森			2					1	1			
	保 育 実 習	教育実習Ⅰ	実		2	難波・高木・大森 嶋野・石動	5※							2			※ 学内幼稚園実習	
		教育実習Ⅱ	実		2	嶋野・松居					※			2			※ 学外幼稚園実習	
		教育実習指導	実		1	専任教員全員					1	1	1				「教育実習Ⅰ・Ⅱ」終了後に認定	
		保育実習Ⅰ-1	実		2	梅本・中山					※				2		※ 保育所実習	
		保育実習Ⅰ-2	実		2	明柴・松居					※				2		※ 施設実習	
		保育実習指導Ⅰ	演		2	専任教員全員		2	2						2		「保育実習Ⅰ」終了後に認定	
		保育実習Ⅱ	実		2	中山・梅本					※				2		C ※ 保育所実習 「保育実習Ⅱ」終了後に認定	
		保育実習指導Ⅱ	演		1	中山・梅本					2※				1			
		保育実習Ⅲ	実		2	明柴・大森					※				2		C' ※ 施設実習 「保育実習Ⅲ」終了後に認定	
保育実習指導Ⅲ	演		1	明柴・大森					2※				1					
総合演習	保育・教職実践演習	演		2	梅本・高木 明柴・嶋野							2	2	2				
総合演習	総合演習	演		2	専任教員全員					2	2	2	2	2		通年		
計			37	38		18	9	22	8	6	17	5	18	50	69	8		
総計			48	45		25	10	26	8	10	17	5	22	62	81	8		

〔注〕1. 上記教養科目のA, B, 2科目の中から1科目以上(計1科目2単位以上)を選択するものとする。

〔注〕2. 保育士資格取得希望者はC・C'いずれか1科目を履修すること。

〔注〕3. 「保育士資格取得に必要な単位数」欄に単位数が記入されている授業科目については、学則第12条の6(外国の短期大学における授業科目の履修等)の規定は適用しない。

なお、学則第12条の3(他の短期大学又は大学における授業科目の履修等)、第12条の4(短期大学又は大学以外の教育施設等における授業科目の履修等)、第12条の5(入学前の既修得単位の認定)及び第21条(転学)の規定については、「指定保育士養成施設指定基準」(平成15年12月9日雇児発第1209001号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知)に定める範囲内において通用することがある。

授業科目名	保育原理			科目コード	C111-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	保育者論 子どもと社会						
関連科目	教育原理 教育課程論 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 保育の思想や歴史の変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理 第二版』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。保育の意義を説明することができる。保育の歴史や思想に関する知識を、現在の保育理論と関連づけて理解することができる。								
LO-2	【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状を的確に把握し、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60	30			10			100
LO-1		50	10						60
LO-2		10							10
LO-3			10						10
LO-4			10			5			15
LO-5						5			5
備考	その他 A は、受講態度とする。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) 保育とは何か - 保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	10分
	【復習】講義内容を資料で確認する。 二人の思想家の言葉から、保育とは何かを改めて考える。	60分
第2回	講義資料保育とは何か - 養護と教育の具体的な意味を知る。 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。	
	【予習】Hogen2	20分
	【復習】今週の!と?を」Wordで課題1に提出	60分
第3回	子ども観と保育観 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。 第3回授業に参加する。	
	【予習】教科書の第1章を読んでおく パスワード:Hogen3	20分
	【復習】講義内容をノートにまとめる(自分で内容が分かるように、課題シートに付箋を貼る、メモするなどでも構いません)。 問題に回答し課題1に提出 授業アンケート以外に書ける人は、他者の意見を聞いて感じたことをまとめて、文章化する(マインドマップの裏面にかいておきましょう)。	80分
第4回	子ども観と保育観 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。 本日の授業資料	
	【予習】パスワード:Hogen4 前回の内容を振り返っておく	20分
	【復習】本日の課題教科書第7章を読んで、子ども観・発達観・保育観について理解する。	100分
第5回	子ども観、保育観、発達観 保育観や保育実践につながる子ども観、発達観の理解 時間:2020年5月28日 10:45 AM	
	【予習】テキスト第7章を読む パスワード:Hogen5	60分
	【復習】教科書第7章の内容を保育の目標と関連付けて理解する。 いつもの 本日の課題シートは登校日に提出してください(用紙を半分に切って第5回分のみ提出、第6回分は手元におく)	120分
第6回	発達観の理解 保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読む。 パスワード:Hogen6	30分
	【復習】指針や要領等書かれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。 課題シートは、6月9日(火)に提出(直接もしくは5階研究室前のかご)。 課題シートの説明	30分
第7回	保育の目指す姿 保育の内容と方法 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容と方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、目標や目的及び10の姿を再確認する。 パスワード:Hogen7	40分
	【復習】授業アンケートを書く。第7回の課題シートを書く(3つの視点とその下の は空欄のまま) 4)は レストランごっこ 鬼ごっこで 子どもが経験する学びを5領域別に考えて書く(必ずすべての領域を書かなければいけないわけではなく、2つ以上の領域について書いてください)解答例を参照解答例。プラス 書いた内容を、Wordで もしくは写真を撮って、ウェブシラバスの課題1に送信してください。	50分
第8回	保育の内容 保育の内容を構造的に理解する。 本日の授業スライド	
	【予習】前回のノートや指針・要領の重要語句を再確認しておく。 パスワード:Hogen8	60分
	【復習】課題プリントを来週の授業までに完成させておく。	60分
第9回	保育における場を理解する 保育所、幼稚園、認定こども園の特徴 時間:2020年6月24日 09:00 AM	
	【予習】教科書第3章を読む。 パスワード:Hogen9	40分
	【復習】課題プリントを完成する。	150分
第10回	新しい保育制度を知る 子ども子育て支援制度の概要 保育内容を具体的に考える	
	【予習】パスワード:Hogen10	30分
	【復習】課題シートの裏面を完成させておいてください(スペースが不足する場合は、 など記号をつけて、別の用紙に書く) 課題シートの表面は、授業が進まなかったため、次回書いてもらいます。そのまま空欄にしておいてください。 なお、授業アンケートは第10回のほうで、お願いします。	120分

第11回	保育の内容と方法 保育内容を具体的に考える。 時間: 2020年7月1日 02:45 PM	
	【予習】Hogen11 配付資料・教科書を読む	40分
	【復習】教科書3章を読んで理解する。時間があれば第14章 p193～を読む	120分
第12回	保育の歴史と思想 世界及び日本における保育の歴史と思想 7月8日(水) 14:45から	
	【予習】テキスト第5、6章を読む。 パスワード: Hogen12	40分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。	60分
第13回	保育の歴史と思想3 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える	
	【予習】資料を読んでおく。 パスワード: Hogen13 テキスト第4章『保育者に求められるもの・資質と専門性』を読む	60分
	【復習】講義中に提示されたテーマについて、自らの意見をまとめて文章化する。 本日の課題シート	180分
第14回	諸外国における保育の取り組み 諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。	
	【予習】テキストを読む パスワード: Hogen14	40分
	【復習】確認テストの準備をする。 確認テストの内容について 課題の提出 課題1に送信する(7月31日まで)	180分
第15回	現在の保育における課題 保育原理(保育観・子ども観)の振り返り、基本知識の確認	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。 これまでの課題シートなどを確認し、参考資料の内容をふまえて、授業アンケートを実施する。	120分
	【復習】これまでの講義内容のまとめ 授業アンケートの実施 参考スライド	160分

授業科目名	保育者論				科目コード	C111-11			
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	明柴 聡史 望月 健一					
実務経験	保育所保育士、児童養護施設保育士、心理担当職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、基幹的職員								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育原理 教育原理 子ども家庭福祉 社会的養護			後継科目					
関連科目	(専門科目全般)								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許状								
授業の概要	保育者の役割や専門性、職務内容等について、保育現場（幼稚園・保育所・施設・その他）の実践者等の講義も交えて学び、進路選択に役立てるとともに、めざす保育者像を探究する。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者の役割と倫理（職務・子どもや保護者との関わりなど）について理解する。</li> <li>2. 保育者の制度的な位置づけ（資格・養成など）について理解する。</li> <li>3. 保育者の専門性について考察し、理解する。</li> <li>4. 保育者の協働（職場の人間関係など）について理解する。</li> </ol>								
キーワード	保育者 役割 倫理 制度 専門性 協働 専門職 成長								
テキスト・ 参考書等	(適宜、資料を配布します)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育者の役割と倫理、制度的位置づけ、専門性、職務内容、協働、専門的成長等、保育者のあり方について理解している。								
LO-2	【技能】 保育者の専門性を分析し、必要な技能を理解し、自己課題とする力を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会のニーズを踏まえ、保育者としてのあり方や保育専門職の課題解決のための方策について、考察を深めることができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育者として成長し続けるために、自らを省察し、資質の向上に努めようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50	15	15	20			100
LO-1			10						10
LO-2			10	5					15
LO-3			20	5					25
LO-4			5	5	5	10			25
LO-5			5		10	10			25
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び適宜提出する小レポートの評価） 評価の内容等について個別質問に対応する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針・計画の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 保育者のあり方の基本について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 保育者のあり方の基本について、授業内容を確認し、理解を深める	60分
第2回	「保育者の意義・役割・課題などについて(1)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について検討する（「保育者としての私」原稿検討のためのグループ討議）	
	【予習】「保育者としての私」の原稿下書きを作成する	30分
	【復習】保育者のあり方について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第3回	「保育者の意義・役割・課題などについて(2)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方についてまとめる（「保育者としての私」原稿の作成）	
	【予習】「保育者としての私」の原稿を清書する	30分
	【復習】保育者のあり方のグループでの検討結果、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第4回	「保育者の意義・役割・課題などについて(3)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について、まとめた内容を発表する（「保育者としての私」発表）	
	【予習】「保育者としての私」の担当部分の発表の準備・練習をする	30分
	【復習】保育者のあり方の検討結果の全体について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第5回	「保育者の意義・役割・課題などについて(4)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について、まとめた内容を発表する（「保育者としての私」発表）	
	【予習】「保育者としての私」の担当部分の発表の準備・練習をする	30分
	【復習】保育者のあり方の検討結果の全体について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第6回	「外国籍の子どもの現状と課題」 （外部講師予定） 外国籍の子どもの現状を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】外国籍の子どもを取り巻く現状について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】外国にルーツを持つ子どもの現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第7回	「障がい児施設の現状と課題」 （外部講師予定） 障がい児施設の職務内容を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】障がい児施設の職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】障がい児施設の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第8回	「子どもを取り巻く環境の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】子どもを取り巻く環境について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】子どもを取り巻く環境の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分
第9回	「富山県の児童虐待の現状と課題」（外部講師予定） 県内の児童虐待や非行少年の現状を知り、地域福祉の課題を探る	
	【予習】児童相談所などの職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】児童相談所などの現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第10回	「地域共生の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】地域共生について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】地域共生の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分

第11回	「子育て支援の現状と課題」 (外部講師予定)	
	【予習】子育て支援について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】子育て支援の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第12回	「保育者の制度的位置づけ、保育制度の動向と課題」	
	【予習】保育者の制度的位置づけについて、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の制度的位置づけ、保育制度の動向と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第13回	「保育者の専門性と専門職的成長」	
	【予習】保育者の専門性について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の専門性と専門職的成長について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第14回	事例から学ぶ保育者像	
	【予習】これまでの実習で出会った事例を振り返る	30分
	【復習】各グループの事例と考察から、保育者としての最善の援助を考える	60分
第15回	「まとめ - めざす保育者像」	
	【予習】めざす保育者像を考えるために、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】授業全体を踏まえて、めざす保育者像について考察を深める	60分



授業科目名	教育原理			科目コード	C111-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	高木 三郎						
実務経験	学校長を含め学校教員として25年間、県立の保育士養成施設の副院長として3年間勤務した経験をもとに、幼稚園教諭二種免許取得に必要な知識を中心に、子どもの成長に合わせた教育について解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	なし	後継科目	子どもと社会						
関連科目	保育原理 こども家庭福祉 社会福祉								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	(幼児)教育の基礎・基本的な理論・歴史・制度等から、現代学校教育の成り立ちと変遷を理解し、現代の教育の課題や教師(保育士)のあり方等の教育の本質に関する理論的・実践的知識の基礎を学ぶ。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 (幼児)教育の歴史や思想を基に、教育(保育)に関する基礎的な理論を理解する。</li> <li>2 幼稚園教育と小学校教育の連続性を視点に、教育課程の内容・意義・編成の方法を理解する。</li> <li>3 日本や諸外国の教育制度について理解する。</li> </ol>								
キーワード	子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『子どもの教育の原理～保育の明日をひらくために～』編著 古橋和夫 萌文書林								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(幼児)教育の基礎・基本的な理論・歴史・制度等について理解を深め、教育に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	(該当しない)								
LO-3	学修した知識を総合して、教育の基本について適切な判断ができ、説明することができる。								
LO-4	教育の課題について関心をもって意欲的に把握することに努め、学びを深めることができる。								
LO-5	(該当しない)								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10			20			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4			10			20			30
LO-5									
備考	<p>その他 A は平常点(受講態度等)</p> <p>提出を求めるレポートについては、コメントをつけて返却する。</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業の目的、評価などについて 今の体調 自習の空欄	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	45分
	【復習】授業の全体像を確認する。 復習問題	45分
第2回	教育の理念と子ども観	
	【予習】パスワード: Kgen2 テキストの該当部分 ( p 1 2 - p 2 7 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】「教育とは何か」「子どもとは何か」について確認し、自分の子ども観や教育観について考える。	90分
第3回	教育とは何か、その3 デュエイの思想から考える。 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kgen3 テキストの該当部分 ( p 2 1 - p 2 9 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】教育的経験の意味を整理する。幼稚園教育要領のねらいによく使われる語句をまとめておく。	90分
第4回	授業PP 幼児教育を築いた人々、その1 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kgen4 テキストの該当部分 ( p 3 0 - p 4 3 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】授業で取り上げた思想家の思想をまとめておく。	90分
第5回	幼児教育を築いた人々、その2 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kgen5 テキストの該当部分 ( p 4 3 - p 5 6 ) を読んで、不明な語句を調べておく	90分
	【復習】授業で取り上げた思想家の思想を整理しておく。	90分
第6回	授業PP資料 わが国の幼児教育と保育の歴史 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kgen6 テキストの該当部分 ( p 5 9 - p 6 9 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】わが国戦後における幼児教育と保育の変遷を確認する	90分
第7回	授業PP 我が国の幼児教育と保育の歴史(第2次大戦後) 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: 4gvX7W テキストの該当部分 ( p 6 4 - p 7 3 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】第2次大戦後の幼児教育の歩みをまとめておく	90分
第8回	授業使用 p p 教育と児童福祉における目的と目標	
	【予習】パスワード: Kgen8 テキストの該当部分 ( p 1 1 2 - p 1 2 2 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】幼稚園及び保育所の目的と目標を確認する	90分
第9回	授業PP わが国の幼児教育・保育の制度 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kgen9 テキストの該当部分 ( p 1 2 8 - p 1 3 6 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】日本の幼児教育・保育の制度を確認する。	90分
第10回	授業PP 外国の幼児教育・保育の制度 (スウェーデンとフランスの例を紹介する) 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kgen10 ネットで、気になる国の幼児教育保育を調べておく	90分
	【復習】スウェーデンとフランスの幼児教育・保育について、学ぶべき点をまとめておく	90分

第11回	子どもの発達の特徴と遊び 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kgen11 テキストの該当部分 ( p 1 8 5 - p 1 9 8 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】 3 ~ 5歳児の各年齢の発達の特徴と遊びを整理し、保育者の関りのポイントを確認しておく。	90分
第12回	授業PP 保育・教育の計画	
	【予習】パスワード: Kgen12 テキストの該当部分 ( p 1 5 2 - p 1 7 0 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】教育課程・保育課程の意義と作成方法を確認しておく。	90分
第13回	授業PP 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kgen13 テキストの該当部分 ( p 1 9 9 - p 2 1 8 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】教育評価の考え方を整理しておく。	90分
第14回	授業用プリント 生涯学習社会における幼児教育と保育	
	【予習】パスワード: Kgen14 テキストの該当部分 ( p 2 3 6 - p 2 4 7 ) を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】生涯学習社会における幼児教育と保育の意義について整理しておく	90分
第15回	これからの保育者に求められるもの	
	【予習】教科書の該当部分 ( p 2 4 8 - 2 6 7 ) を読んで、概要を把握しておく。	90分
	【復習】自分の理想とする保育士像について改めて確認する	90分

授業科目名	子どもと社会			科目コード	C111-21				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	高木 三郎					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育原理、保育原理、子ども家庭福祉		後継科目						
関連科目	保育者論、子ども家庭支援論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く社会環境における現代的なトピックをとりあげ、その現状と課題について考える。また、そのような社会の中で、子どもの人権・福祉が守られ、心身ともに健やかに育つために必要とされる、教育・福祉に関する理念や法制度、さらには行財政の仕組みなどへの理解を深める。講義の中には外部講師による解説や、グループによる課題探究活動、討議・発表を織り込む。								
学習目標	保育者として、現代の子どもを取り巻く社会的問題への総合的な認識を深めるとともに、個々の問題への解決力を身につける。								
キーワード	法・制度 人権 福祉 社会的弱者 子ども								
テキスト・ 参考書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書は特に無し。各回の講義ごとにプリントを配布する。</li> <li>保育所保育指針、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説</li> </ul>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	・保育について学ぶことへの構えを持っている。・教授内容を理解し、まとめる言語能力を持っている。								
LO-2	・自分の考えや感情を的確に文章や音声に表現できる技術を身につけている。・他者との望ましい人間関係を築くための技法を身につけている。								
LO-3	・保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現することができる。・情報を批判的にとらえ、主体的に判断することができる。								
LO-4	・自己評価、相互評価をとおして、自らの成長に生かすことができる。・新聞、書物などの読書、資料収集をとおして、保育者としての生き方を深めることができる。								
LO-5	・班別の協議、発表、作業に積極的にに関わり、自らを表現することにより、他者との協働を図ることができる。・他者との共感性をもって関わるができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10	10		10			100
LO-1	40								40
LO-2			10						10
LO-3	30								30
LO-4				10					10
LO-5						10			10
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他Aは班別作業への参加。</li> <li>・成果発表については、コメントを返す。</li> <li>・提出されたレポートや作品については、優秀なものを学生に提示する。</li> </ul>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業概要と授業の進め方）	
	【予習】シラバスを確認しておく	60分
	【復習】保育所・幼稚園の抱える課題を書き出し、まとめる。	90分
第2回	・子どもの育ちを支える法・制度（1回目） 保育所に関する制度と課題を理解する。	
	【予習】保育所に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	90分
	【復習】保育所に関する制度と課題を整理しておく。	90分
第3回	・子どもの育ちを支える法・制度（2回目） 幼稚園と認定こども園に関する制度と課題を理解する。	
	【予習】幼稚園と認定こども園に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	90分
	【復習】幼稚園と認定こども園に関する制度と課題を整理しておく。	90分
第4回	・子どもの育ちを支える法・制度（3回目） 外国の保育制度に学ぶ。（スウェーデンとフランスを取り上げる）	
	【予習】スウェーデンとフランスの保育制度についてネットで調べておく。	90分
	【復習】スウェーデンとフランスの保育制度をまとめ日本の課題をまとめておく。	90分
第5回	・保育におけるリスクマネジメント（1回目） 保育現場におけるリスクマネジメントの重要性を理解する。	
	【予習】これまでの実習等を振り返り、ヒヤリハットした場面をまとめておく	90分
	【復習】保育現場におけるリスクマネジメントの重要性をまとめ、多い事例をまとめておく	90分
第6回	・保育におけるリスクマネジメント（2回目） 保育現場におけるリスクコミュニケーションの意義と方法を理解する。	
	【予習】実習等での保護者対応で印象に残っていることをまとめておく	90分
	【復習】リスクコミュニケーションの意義と方法をまとめ、実際にお便りを作成する	90分
第7回	保育におけるリスクマネジメント（3回目） 望ましい避難訓練計画のあり方を理解し、実際に計画を立ててみる	
	【予習】これまでの避難訓練体験を思い出し、重要だと思うポイントを挙げておく	90分
	【復習】ポイントを再確認し、避難訓練計画を作成してみる。	90分
第8回	保育におけるリスクマネジメント（4回目） 避難訓練を実践し、指導方法の理解を深める。	
	【予習】避難訓練の実践をイメージしておく	90分
	【復習】避難訓練の実践を振り返り、指導方法についてまとめておく	120分

授業科目名	子ども家庭福祉			科目コード	C113-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉	担当教員名	明柴 聡史						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	社会福祉	後継科目	社会的養護						
関連科目	社会福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング（幸せ）を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目標とする。								
キーワード	子ども、家庭、ひとり親家庭、子どもの権利、児童虐待、社会的養護								
テキスト・ 参考書等	テキスト：立花直樹・波田埜英治編著『児童家庭福祉論』（ミネルヴァ書房） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 子ども家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を学ぶ								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			40						40
LO-2			10						10
LO-3			20						20
LO-4						10			10
LO-5			10			10			20
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験については、実施後模範解答を示し、設問について解説する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 児童家庭福祉の基本構造について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める 用語の定義を整理する	60分
第2回	児童家庭福祉とは 子ども・家庭・福祉とは何か トピック:1-3クラスアワー 【予習】5月8日4限クラスアワー パスワード: class3-1	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章 <まとめてみよう>	90分
第3回	児童と家庭・社会～子育てのいま・未来 トピック: 子ども家庭福祉 時間: 2020年5月20日 09:00 AM 大阪、札幌、東京 【予習】パスワード: Fukushi3 児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子育ての今後の課題を振り返る	90分
第4回	児童の権利に関する条約について 権利保障、権利擁護の取り組みを理解する。 トピック: 子ども家庭福祉 【予習】パスワード: Fukushi4 児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章 <まとめてみよう>	90分
第5回	児童家庭福祉の意義と歴史 児童家庭福祉の歴史 欧米の児童家庭福祉 日本の児童家庭福祉 6月3日水曜日1限子ども家庭福祉 【予習】パスワード: Fukushi5 児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章 <まとめてみよう>	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1): 児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法 / 児童家庭福祉に關係する法律 6月10日水曜日子ども家庭福祉 【予習】パスワード: Fukushi6 児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章 <まとめてみよう>	90分
	第7回演習シート(配布済み)表	
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2): 児童家庭福祉行財政と実施機関 児童家庭福祉の行財政 / 児童家庭福祉の実施機関と施設 6月11日木曜日1限子ども家庭福祉 【予習】パスワード: Fukushi7 児童家庭福祉行財政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童家庭福祉行財政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章 <まとめてみよう>	90分
第8回	児童家庭福祉の行財政と実施機関 6月17日4・5限子ども家庭福祉 【予習】パスワード: Fukushi8 子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章 <まとめてみよう>	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」: 母子保健サービス 母子保健の理念 / 母子保健サービスの実施と体系 / 母子保健の取り組み 【予習】 母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章 <まとめてみよう>	90分
第10回	「児童家庭福祉施設の利用と措置、保育・教育施設と幼保一体化」保育サービス 少子化と働き方改革 保育サービス・子育て支援サービス 【予習】Fukushi10 保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / <まとめてみよう> 保育所の設備及び運営に関する基準(最低基準)を見定める。	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） 児童虐待 DV（ドメスティック・バイオレンス） 7月1日水曜日子ども家庭福祉 【予習】ミーティングID: 968 4274 8532 パスワード: Fukushi11	60分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：社会的養護 社会的養護とは 代替的養護 社会的養護の状況と今後 【予習】パスワード: Fukushi12	60分
	社会的養護の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する 【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：ひとり親家庭への福祉 ひとり親家庭の現状と生活状況 ひとり親家庭福祉サービスの概要 【予習】パスワード: Fukushi13	60分
	ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する 【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：障害のある子どもの福祉 「障害」観 障害児の定義と現状 障害児への福祉施策 7月20日水曜日4限子ども家庭福祉 【予習】パスワード: Fukushi14	60分
	障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する 【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：情緒障害・少年非行問題 情緒障害 少年非行 7月22日水曜日1限子ども家庭福祉 【予習】パスワード: Fukushi15	60分
	情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する 【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分



授業科目名	社会的養護			科目コード	C113-11				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	子ども家庭福祉		後継科目	子ども家庭支援論					
関連科目	社会福祉 保育実習 -2								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	社会的養護について、「意義と歴史」「子ども家庭福祉との関連性及び児童の権利擁護」「制度と実施体系」「施設養護の実際」を柱に、現実を踏まえながら理解を深めます。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示します。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望します。								
学習目標	社会的養護の意義と歴史、制度、施設養護の実際、現状と課題について理解するとともに、児童福祉施設における援助者としての保育士の役割や援助について理解し、保育実習 の2(施設)に備えることを目標とします。								
キーワード	社会的養護・養育 家庭養護 家庭的養護 施設養護 児童福祉施設 児童養護施設 乳児院 里親 小規模化 地域分散化 高機能化								
テキスト・ 参考書等	テキスト：辰己隆・波田埜英治編『保育士をめざす人の社会的養護』（みらい） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 社会的養護の意義や歴史、制度、施設養護の実際について基本的事項を理解するとともに、施設養護における保育士の役割や援助について理解している。								
LO-2	【技能】 社会的養護の対象に向けた援助の技能について理解している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会的養護の動向や方向性を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援について高い関心をもち、施設養護の援助者としての実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30								30
LO-2			10						10
LO-3	20		10						30
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験：教科書・小六法・ノート・配布プリントは持ち込み可 定期試験実施後、模範解答を示し、誤答の多い設問について解説する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」「社会的養護の意義」 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する / 社会的養護の意義について学ぶ	
	【予習】ミーティングID: 976 2244 2375 パスコード: yougo1	90分
	【復習】 演習 授業の全体像について確認する	90分
第2回	「児童家庭福祉と社会的養護 子どもと家庭を取り巻く環境 / 児童養護問題（時代の変化と社会的養護のニーズ）」 10月8日4・5限社会的養護	
	【予習】ミーティングID: 918 2599 1931 パスコード: yougo23 児童家庭福祉と社会的養護について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう> 演習	90分
第3回	「社会的養護の歴史の変遷」 日本における社会的養護の歴史 / 欧米諸国における社会的養護の歴史と現状 / 子ども観の変遷	
	【予習】 演習 社会的養護の歴史の変遷について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の歴史の変遷について、授業内容を把握し、理解を深める / 第3章 <まとめてみよう>	90分
第4回	「児童の権利擁護と社会的養護」 基本的人権と子どもの権利 / 「児童の権利に関する条約」 / 権利擁護	
	【予習】ミーティングID: 928 8973 6253 パスコード: yougo45 児童の権利擁護と社会的養護について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童の権利擁護と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / 第4章 <まとめてみよう> 4限社会的養護の歴史	90分
第5回	「社会的養護の制度と法体系」 社会的養護に関する法律 / 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準	
	【予習】社会的養護の制度と法体系について、テキスト第5章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】第5回学びの振り返りと感想 社会的養護の制度と法体系について、授業内容を把握し、理解を深める / 第5章 <まとめてみよう>	90分
第6回	「社会的養護の仕組みと実施体制」 社会的養護の体系 / 施設養護 / 家庭養護 / 相談機関と支援体制	
	【予習】ミーティングID: 998 7321 5791 パスコード: yougo67 社会的養護の仕組みと実施体制について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の仕組みと実施体制について授業内容を把握し理解を深める / 第6章 <まとめてみよう> 次の動画を見て、社会的養護のあり方について考えてみよう	90分
第7回	「施設養護の特質と基本原則」 施設養護とは（基本原理） / 施設養護の展開過程 / 施設養護のインケアの実際	
	【予習】施設養護の特質と基本原則について、テキスト第7章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】施設養護の特質と基本原則について、授業内容を把握し、理解を深める / 第7章 <まとめてみよう>	90分
第8回	「施設養護の実際」(1): 児童養護系施設 乳児院 / 母子生活支援施設 / 児童養護施設	
	【予習】ミーティングID: 910 0086 4914 パスコード: yougo89 児童養護系施設における施設養護の実際について、テキスト第8章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童養護系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第8章 <まとめてみよう>	90分
第9回	「施設養護の実際」(2): 障害児系施設 その1 ~ 肢体不自由児・重症心身障害児 ~ 障害児入所施設 / 児童発達支援センター	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第10回	「施設養護の実際」(2): 障害児系施設 その2 ~ 知的障害児 ~ 障害児入所施設 / 児童発達支援センター	
	【予習】ミーティングID: 996 4660 4112 パスコード: yougo1011	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分

第11回	「知的障害者のための施設」 知的障害の理解 / 知的障害者のための施設と支援	
	【予習】知的障害者のための施設における支援について、参考文献等で確認する	90分
	【復習】知的障害者のための施設における支援について、授業内容を把握し、理解を深める	90分
第12回	「施設養護の実際」(3)：治療・行動系施設 情緒障害児短期治療施設 / 児童自立支援施設	
	【予習】ミーティングID: 916 4596 9234 パスコード: yougo1213 治療・行動系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「里親養育の基本原則と実際」 里親制度 / 養子縁組 / ファミリーホーム"	
	【予習】里親養育の基本原則と実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】里親養育の基本原則と実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「社会的養護とソーシャルワーク」 社会的養護にかかわる専門職 / 社会的養護にかかわる専門機関	
	【予習】ミーティングID: 968 9574 0552 パスコード: yougo1415	90分
	【復習】社会的養護とソーシャルワークについて、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分
第15回	「社会的養護の動向と方向性」 社会的養護の施策の動向 / 社会的養護の課題	
	【予習】社会的養護の動向と方向性について、テキスト第15章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の動向と方向性について、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分

授業科目名	社会福祉			科目コード	C113-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉	担当教員名	村上 満						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	保育実習指導 相談援助						
関連科目	子ども家庭福祉 日本国憲法 保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	「社会福祉の理念・概念」「社会福祉の対象理解」「社会福祉の法制度」「社会福祉の実践方法」を柱として、それぞれの各論を説明しながら、社会福祉全体について現実を踏まえて授業を進める。その際、テキストを基本としながら、最新の資料や参考文献等を随時提示していく。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について独自に考察できるよう授業を組み立てていく。								
学習目標	「人々の幸せを目指す社会的努力」としての社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法を理解する。 保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。 社会福祉を自分の身近な問題として捉えることができるとともに、特に保育や子育てをめぐる生活課題について具体的に取り上げることができる。								
キーワード	ノーマライゼーション、ソーシャルワーク、保育ソーシャルワーク、相談援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育と社会福祉』橋本好市・宮田徹編 みらい 参考書：『保育福祉小六法』みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法について理解できるとともに、特に保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。								
LO-2	該当しない								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】社会福祉を自分の身近な問題として捉えるだけでなく、その社会的背景や解決すべき方策について論理的に考察し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】社会福祉は生活に極めて密着した学問であることを的確に把握できるとともに、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等に関心を持って過ごすことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】バイステックの原則を理解しながら、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることが、保育者として持つべき資質であると理解して過ごすことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		20						100
LO-1	20								20
LO-2									
LO-3	20		10						30
LO-4	20								20
LO-5	20		10						30
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1回目 社会福祉とは	
	【予習】保育と社会福祉：テキストの16ページから25ページまでを読んでみることに、我が国の社会福祉の現状について興味を持つ。	20分
	【復習】保育と社会福祉：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから25ページまでを改めて読んでみることに、我が国の社会福祉の現状について、レジュメを確認する。	30分
第2回	社会福祉の考え方と役割(1)：社会福祉の意味・定義(社会福祉の概念・構造や基本的な考え方について、その理念・目標、範囲など)	
	第2回の講義に参加する 2020年5月18日(月)10:50 AM 【予習】社会福祉の意味・定義：テキストの16ページから36ページまでを読んでみることに、我が国の社会福祉の現状から社会福祉の考え方と役割について興味を持つ。	30分
	【復習】社会福祉の意味・定義：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから36ページまでを改めて読んでみることに、我が国の社会福祉の現状から社会福祉の考え方と役割について、レジュメを確認する。	50分
第3回	社会福祉の考え方と役割(2)：保育と社会福祉の関係(保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について)	
	第3回の講義に参加する 2020年5月25日(月)10:50 AM 【予習】保育と社会福祉の関係：テキストの16ページから38ページまでを読んでみることに、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について興味を持つ。	30分
	【復習】保育と社会福祉の関係：保育の意味と社会福祉を学ぶ意義とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから38ページまでを改めて読んでみることに、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について、レジュメを確認する。	50分
第4回	社会福祉の歴史(1)：欧米の社会福祉の歴史(イギリス・アメリカ・スウェーデンにおける社会福祉の歴史)	
	第4回の講義に参加する 2020年6月1日(月)10時50分～ 【予習】欧米の社会福祉の歴史：テキストの42ページから48ページまでを読んでみることに、我が国の社会福祉だけでなく、海外の社会福祉について興味を持つ。	30分
	【復習】欧米の社会福祉の歴史：海外の社会福祉、特にイギリス、アメリカ、スウェーデンの歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの42ページから48ページまでを改めて読んでみることに、我が国の社会福祉の現状だけでなく、海外の社会福祉について、レジュメを確認する。	50分
第5回	(2)：日本の社会福祉の歴史(戦前と戦後における社会福祉の展開、新しい社会福祉の理念と新しい展開、慈善事業、社会事業、戦後の福祉施策の流れ)	
	第5回の講義に参加する 6月8日(月)10時50分～ 【予習】日本の社会福祉の歴史：テキストの48ページから53ページまでを読んでみることに、我が国の社会福祉について興味を持つ。 パスワード：558744	40分
	【復習】我が国の社会福祉の歴史：我が国の社会福祉の歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの48ページから53ページまでを改めて読んでみることに、我が国の社会福祉の歴史について、レジュメを確認する。	50分
第6回	社会福祉の法と実施運営体制(1)：我が国における社会保障の概念と体系(社会保険・公的扶助)の概念と体系について	
	第6回の講義に参加する 6月15日(月)10:50～ 【予習】社会保障の概念と体系：前回の日本の社会福祉の歴史をふまえたながら、テキストの56ページから68ページまでを読んでみることに、我が国における社会保障の概念と体系について興味を持つ。	40分
	【復習】社会保障の概念と体系：我が国における社会保障の概念と体系について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの56ページから68ページまでを改めて読んでみることに、我が国における社会保障の概念と体系について、レジュメを確認する。	50分
第7回	社会福祉の法と実施運営体制(2)：社会福祉の制度・法体系(日本国憲法・社会福祉法、高齢者福祉・障がい者福祉の法制度)	
	第7回の講義に参加する 6月22日(月)10時50分～ 【予習】社会福祉の制度・法体系：前回の我が国における社会保障制度をふまえたながら、テキストの72ページから84ページまでを読んでみることに、我が国における社会福祉の制度・法体系について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉の制度・法体系：我が国における社会福祉の制度・法体系、特に高齢者、障がい者福祉制度について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの72ページから84ページまでを改めて読んでみることに、我が国における社会福祉の制度・法体系について、レジュメを確認する。	60分
第8回	社会福祉の法と実施運営体制(3)：社会福祉施設の実施機関と行財政(国・都道府県、市町村の福祉行政機関、福祉の計画・財源について)	
	第8回の講義に参加する 6月29日(月)10:50～ 【予習】社会福祉施設の実施機関と行財政：前回の我が国における社会福祉の制度・法体系をふまえたながら、テキストの86ページから96ページまでを読んでみることに、我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉施設の実施機関と行財政：我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの86ページから96ページまでを改めて読んでみることに、我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について、レジュメを確認する。	60分
第9回	社会福祉の法と実施運営体制(4)：社会福祉の施設(社会福祉施設の概要、社会福祉施設の運営)	
	第9回の講義に参加する 7月6日(月)10:50～ 【予習】社会福祉の施設：前回の我が国における社会福祉の実施機関と行財政をふまえたながら、テキストの98ページから104ページまでを読んでみることに、我が国における社会福祉の施設、特に社会福祉施設の概要と社会福祉施設の運営について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉の施設：我が国における社会福祉の施設について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの98ページから104ページまでを改めて読んでみることに、我が国における社会福祉の施設、特に社会福祉施設の概要と社会福祉施設の運営について、レジュメを確認する。	60分
第10回	児童家庭福祉：子どもの人権と児童福祉の理念(児童家庭福祉の実施と動向、保育施策の動向)	
	第10回の講義に参加する 7月13日(月)10時50分～ 【予習】子どもの人権と児童福祉の理念：前回の我が国における社会福祉の実施機関(特に児童家庭福祉に関する実施機関)をふまえたながら、テキストの106ページから119ページまでを読んでみることに、我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について興味を持つ。	60分
	【復習】子どもの人権と児童福祉の理念：我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの106ページから119ページまでを改めて読んでみることに、我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について、レジュメを確認する。	60分

第11回	社会福祉の専門職と倫理：社会福祉専門職の専門性（社会福祉の専門職、社会福祉専門職の専門性と倫理）	
	第11回の講義に参加する 7月20日（月）10時50分～ 【予習】社会福祉専門職の専門性：前回の我が国における子どもの人権と児童福祉の理念をふまえながら、テキストの122ページから137ページまでを読んでみることに により、我が国における社会福祉専門職の専門性について興味を持つ。	60分
	【復習】社会福祉専門職の専門性：我が国における社会福祉専門職の専門性について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの122ページから137ページまでを改 めて読んでみることににより、我が国における社会福祉専門職の専門性について、レジュメを確認する。	60分
第12回	相談援助の意味と方法：相談援助・ソーシャルワークの意味（相談援助・ソーシャルワークの視点、相談援助・ソーシャルワークの動向）	
	第12回目の講義に参加する 7月27日（月）10時50分～ 【予習】相談援助・ソーシャルワークの意味：前回の我が国における社会福祉専門職の専門性をふまえながら、テキストの140ページから155ページまでを読んでみる ことににより、我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について興味を持つ。	60分
	【復習】相談援助・ソーシャルワークの意味：我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの140ページ から155ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について、レジュメを確認する。	60分
第13回	福祉サービスの利用支援と第三者評価：措置制度から契約・利用制度へ（福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決）	
	13回目の講義に参加する 8月3日（月）10時50分～ 【予習】措置制度から契約・利用制度へ：前回の我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味をふまえながら、テキストの158ページから184ページまでを読 みることにより、我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度について興味を持つ。	60分
	【復習】措置制度から契約・利用制度へ：我が国における契約・利用制度について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの158ページから184ページまでを改 めて読んでみることににより、我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度について、レジュメを確認する。	60分
第14回	地域の福祉の意味と推進方法：地域福祉の理念（地域福祉の担い手、地域福祉の方法）	
	第14回目の講義に参加する 8月6日（木）16時30分～ 【予習】地域福祉の理念：前回の我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度をふまえながら、テキストの186ページから1 95ページまでを読んでみることににより、我が国における地域福祉の担い手、地域福祉の方法について興味を持つ。	60分
	【復習】地域福祉の理念：我が国における地域福祉の理念について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの186ページから195ページまでを改めて読 みることにより、我が国における地域福祉の担い手、地域福祉の方法について、レジュメを確認する。	60分
第15回	まとめ：他分野との連携とネットワーク、社会福祉と保育士のこれから（社会福祉と主な関係分野との連携、社会福祉専門職としての保育士のあり方）	
	第15回目の講義に参加する 8月8日（土）13時10分～ 【予習】まとめ：これまでの学習内容を確認しながら、他分野との連携とネットワーク、社会福祉と保育士のこれからについて、テキストの198ページから218ペ ージまでを読んでみることににより、我が国における社会福祉と主な関係分野との連携、社会福祉専門職としての保育士のあり方について興味を持つ。	60分
	【復習】まとめ：我が国における他分野との連携とネットワークや社会福祉と保育士のこれからについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの198ページ から218ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会福祉専門職としての保育士のあり方について、レジュメを確認する。	60分

授業科目名	子ども家庭支援論			科目コード	C113-30				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験	児童相談所職員として、育児相談及び乳幼児の発達支援に携わった7年間の勤務経験をもとに、乳児期の育ちや保育方法、家庭支援等に関する知識を教授する。また、現所属みどり野幼稚園長の経験を活かして解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会的養護		後継科目						
関連科目	社会福祉 子ども家庭福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解したうえで、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の基本知識を身につける。また、子育て支援体制や子育て家庭の現状を知り、ニーズに応じた多様な支援内容についての理解を深める。								
学習目標	子育て家庭を取り巻く社会状況を知り、保育所等による支援の必要性を理解する。 子育て家庭への支援における、基本的な視点や援助方法を習得する。 多様な子育て家庭のニーズに応えるための、具体的支援方法と関係機関との連携について理解する。								
キーワード	子育て支援 保育所等の特性を生かした支援 地域 社会資源 連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育と子ども家庭支援』 石動瑞代 編(みらい) 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレーベル館)、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省(フレーベル館)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 家庭の機能や意義及び子育て家庭を支援する際の基本原理について理解し、説明することができる。								
LO-2	【技能】 保育所・幼稚園等の特性を生かした家庭支援技術を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子育て家庭が抱える現代的課題をふまえて、必要な家庭支援について論理的に考察し、説明することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子育て家庭をめぐる社会資源についての確に把握し、子育て家庭に対する支援方法を具体的に検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 事例研究・グループワークを通して、自分の意見を他者にわかりやすく伝えると同時に、他者の意見を受容し、自己覚知や自らの意見形成に反映させることができる。また、子育て家庭における保護者の心情等を共感的に理								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		40			10			100
LO-1	20								20
LO-2	10		20						30
LO-3	10		10						20
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は、授業中の課題への取り組み態度とする。 課題に対しては、口頭及び紙面でコメントを行う。試験については、紙面で説明する。								



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	現代の社会状況と家族の実態	
	【予習】現代社会における家族像について、自分の意見をまとめておく。	40分
	【復習】教科書第1章、2章の内容を読み、講義内容とあわせて、ノートにまとめる。	100分
第2回	子どもの発達と家族の発達 - 家庭支援の視点	
	【予習】教科書第3章～第5章の内容を読む。	50分
	【復習】講義内容と教科書の内容を関連づけて、ノートに整理する。	100分
第3回	保育所等における家庭支援の実際 - 保育所の特性をいかす	
	【予習】教科書第9章の内容を、一読する。	40分
	【復習】保育所の特性をいかした援助技術についてまとめる。	120分
第4回	保育所等における家庭支援の実際 - 連絡帳のポイント	
	【予習】課題プリントを仕上げてくる。	80分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 講義中に配布された課題プリントを仕上げる。	120分
第5回	保育所等における家庭支援の実際 - 保育参加・懇談会・おたより	
	【予習】教科書第9章の該当部分を一読する。	40分
	【復習】課題プリント（おたより）を仕上げる。	120分
第6回	保育所における家庭支援の実際 - トラブルをめぐって	
	【予習】配布プリントを読んでおく。	40分
	【復習】家庭支援における「トラブル対処」と「発生予防」で重要なポイントを、ノートにまとめてくる。	100分
第7回	子どもの発達と地域社会のかかわり - 多様な子育て支援	
	【予習】自分が居住する地域の、子育て支援施策について調べる。 教科書第7章、第10章を読んでおく。	120分
	【復習】課題プリントを仕上げる。	100分
第8回	親子支援活動の計画	
	【予習】あらかじめ親子活動の案を考えてくる。	80分
	【復習】グループで決めた親子活動案の詳細を検討する。 担当する役割を確認し、必要な準備をする。	150分
第9回	親子支援の実際 - 行事を通しての親子・地域支援	
	【予習】リハーサルを実施する。	60分
	【復習】行事における親子活動(模擬)について、振り返りシートを完成させる。	60分
第10回	親子支援の実際 - 子育て支援センターでの親子活動	
	【予習】グループ内で、打ち合わせやリハーサルを行う。	80分
	【復習】子育て支援センター等での親子活動(模擬)について、振り返りシートを完成させる。	60分



第11回	家庭支援の留意点 - 価値観・倫理観	
	【予習】配布プリントを参考に、自分の価値観・倫理観について考える。	40分
	【復習】事例の課題プリントを完成する。	100分
第12回	家族との個別面接における基本態度 - 基本的配慮事項	
	【予習】これまで学んだ面接技術について、確認しておく	60分
	【復習】個別面接の基本的態度をノートにまとめる。	100分
第13回	事例研究 児童虐待・障害が疑われる事例	
	【予習】事例の課題プリントを完成する。	60分
	【復習】特別な配慮を要する家庭への支援についてポイントをまとめる。	100分
第14回	事例研究 異文化の家族に対する援助事例	
	【予習】課題プリントを仕上げてくる。	60分
	【復習】異文化の家族支援について、配慮のポイントをまとめる。	100分
第15回	保育士等が行う家庭支援のまとめ	
	【予習】これまで学んだ家庭支援の内容を整理する。	180分
	【復習】定期試験に向けて、学習する。	240分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの理解と援助 教育相談					
関連科目	子ども家庭支援の心理学								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達等の側面から心理学的知見の基礎を学ぶ。また子どもの学びの過程を理解した上で、よりよい発達を促すために保育者としていかなる援助をすべきかを考える。さらに、障がいを持つ子ども、不適切な養育を受けた子どもの発達についても理解を深め、乳幼児期の発達の多様性と可塑性を学ぶ。								
学習目標	1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達をとらえる視点について理解する。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護と教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。 3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的知識を習得し、保育における人の相互的関りや体験、環境の意義を理解する。								
キーワード	発達心理学 発達過程 学びの過程 乳幼児期の発達								
テキスト・ 参考書等	青木紀久代編(2019)「保育の心理学」 みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識が習得できている								
LO-2	〔技能〕 子どもの発達支援に必要な技能を学べている								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕 学習した知識・技術を結び付けて考え、実践的課題に関連付けた思考や表現ができる								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 授業への意欲・関心をもって主体的に学べている								
LO-5	〔人間性・社会性〕 グループ作業での仲間との協働、協力を積極的に図ることができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		50	20			20	10		100
LO-1		50							50
LO-2			10						10
LO-3			10			10			20
LO-4						10			10
LO-5							10		10
備考	その他Aは、授業中のワークシートやコメントシート、Bは授業中の発表								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 発達を理解する意義 第1回授業に参加する 不安怖さ楽しさ食欲睡眠楽しみ 【予習】パスワードSinri1	
	シラバス,スライドを見て授業内容を確認	20分
	【復習】オリエンテーションを振り返り、発達を理解する意義について復習 復習問題	40分
第2回	子どもの発達と環境 T1-3第2回授業に参加する	
	【予習】1-3パスワード: Sinri1-3-2 1-4パスワード: Sinri1-4-2 教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】本日の課題 課題1: 振り返りクイズに回答する。	30分
第3回	初期経験の重要性と生涯発達の視点 1-3第3回授業に参加する	
	【予習】1-3パスワード: Sinri1-3-3 1-4パスワード: Sinri1-4-3 教科書pp.28-38を読んで授業内容を確認しておく。	90分
	【復習】 課題1: 以下のサイトを参考にしながら、第3回課題をWordで完成させて課題提出4にアップロードして提出してください。	90分
第4回	子どもの発達過程: 身体・運動発達 1-3第4回授業に参加する	
	【予習】1-3パスワード: Sinri1-3-4 1-4パスワード: Sinri1-4-4 事前学習: 教科書第4章pp.58-71を読んで授業内容を確認しておく。	90分
	【復習】今日の課題:	90分
第5回	子どもの発達過程: 社会情動的発達 アタッチメント、情動調整 5月29日1-3第5回授業に参加する	
	【予習】1-3パスワード: Sinri1-3-5 1-4パスワード: Sinri1-4-5 事前学習: 教科書第8章 pp.124-139 を読んで授業内容を確認しておく。	90分
	【復習】ストレンジシチュエーション安定型 ストレンジシチュエーション回避型 今日の課題	90分
第6回	子どもの発達過程: 社会情動的発達 自己意識、他者理解、情動調整、自己制御の発達 6月3日1-3第6回授業に参加する	
	【予習】1-3パスワード: Sinri1-3-6 1-4パスワード: Sinri1-4-6 事前学習: 教科書第3章 pp.40-57 を読んで授業内容を確認しておく。	30分
	【復習】課題: WEBシラバスのアンケートに答える、自由記述の欄に、本日の学びと感想を書くこと。 復習用に利用してください。第6回授業スライド	90分
第7回	子どもの発達過程: 社会性発達 6月10日1-3第7回授業に参加する	
	【予習】1-3パスワード: Sinri1-3-7 1-4パスワード: Sinri1-4-7 事前学習: 教科書第5章 pp.72-79 を読んで授業内容を確認しておく。	90分
	【復習】本日の課題 WEBシラバスの授業アンケートに答える。自由記述1には、本日学習したポイントを書き込むこと。(重要キーワードの箇条書きでもいい。)自由記述3には、本日の感想と自分なりの学びを記述すること。	90分
第8回	子どもの発達過程: 小テストおよび認知の発達 1-3 6月17日3限に参加	
	【予習】1-3パスワード: Sinri1-3-8 1-4パスワード: Sinri1-4-8 第8回授業の最初に小テストを実施します。小テスト範囲は、レジュメ資料の第5回及び第6回分。授業回数でいうと第5回～第7回で解説した分です。	90分
	【復習】課題1. WEBシラバスのアンケートに答える。 課題2. 今日の授業のスライドを見直して復習しておくこと。 第8回授業スライド「認知発達」	90分
第9回	子どもの発達過程 言語の発達 6月24日 1-4 第9回授業へ参加	
	【予習】1-4パスワード: Sinri1-4-9 1-3パスワード: Sinri1-3-9 事前学習: 教科書第7章 pp.88-103 を読んで授業内容を確認しておく。	90分
	【復習】 課題1: WEBシラバスのアンケートの回答。自由記述には以下を回答すること。 (5) 本日学習した言語発達についての重要キーワードを書き込む。	90分
第10回	障害と発達アセスメント、発達障がいの理解と支援 7月1日1-4第10回授業参加	
	【予習】1-4パスワード: Sinri4-10 1-3パスワード: Sinri3-10 事前学習: 教科書pp.104-120を読んでおくこと。	90分
	【復習】課題1 以下のリンク「富山県発達障害支援ハンドブック2020乳幼児版」を開いて読む。1ページから12ページまでを読み、添付の課題用紙の書式に従ってWordで内容をまとめて課題提出4に提出する。	90分

第11回	障害と発達アセスメント、発達障がいの理解と支援 その2	
	2020年7月8日第11回授業に参加 【予習】第10回の【復習】欄に貼り付けた富山県発達障害支援ハンドブック乳幼児版、学童期版、成人期版の3つを読んでおく。	90分
	パスワード: Sinri11 【復習】課題 以下のYoutube「君が僕の息子について教えてくれたこと」を視聴し、添付のレポート用紙をダウンロードしWord文書にてレポートを作成する。 書式、提出方法、提出期限はレポート用紙に記入されているのでそれを守ること。	90分
第12回	虐待による臨床的問題と発達支援	
	2020年7月15日 第12回授業に参加 【予習】パスワード: Sinri12 事前学習：教科書pp.120-121及びpp.135-139を読んでおくこと。	90分
	【復習】マールトリートメントと脳（ケーヨン2018年7月記事及び2020年2月記事） 厚労省令和2年2月体罰によらない子育てのためのガイドライン 叩かない子育て 検索結果一覧	90分
第13回	子どもの学びの過程と特性 学びに関する発達理論 学習理論、動機付け	
	【予習】パスワード: Sinri13 事前学習：教科書pp.80-87を読んで授業内容を確認しておくこと。事前学習：教科書第10章 pp.160-171 を読んで授業内容を確認しておく。	90分
	【復習】本日の課題 WEBシラバスのアンケートに答える。自由記述欄には、以下答える。 (5) みどり野幼稚園の保育観察で見たある場面を一つ選び、そこで子どもたちがどのようなことを学んでいたのだと考えられますか。	90分
第14回	乳幼児期の学びに関わる理論 遊びを通じた学び	
	2020年7月29日 第14回授業に参加する 【予習】パスワード: Sinri14 事前学習：教科書第9章 pp.140-159 を読んで授業内容を確認しておく。	90分
	【復習】試験前に復習しておくための小テスト一覧です。問題をどんどん解いて試験準備すること。試験問題はここから出します。 遺伝と環境 身体運動発達	90分
第15回	乳幼児期の学びを支える保育/ 期末試験	
	【予習】事前学習：教科書第11章 pp.172-185 を読んで授業内容を確認しておく。	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分

授業科目名	子ども家庭支援の心理学			科目コード	C121-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育の心理学		後継科目	子どもの理解と援助 教育相談					
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	生涯発達の見点から人の発達のプロセスや初期経験の重要性を学ぶ。また、親子関係や家族関係等について発達的な観点からの理解、および、子育て家庭をとりまく現代の社会的状況や問題についての理解と関心を深め、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。								
学習目標	1.生涯発達に関する心理学の基礎知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。2.家族・家庭の意義や機能を理解するとともに親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。3.子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。4.子どもの精神保健とその課題について理解する。5.子どもと子育てに関する現代的な課題に関心を持ち子ども、保護者への心理学的理解が深まる。								
キーワード	生涯発達 初期経験 家族関係発達 子育て家庭 子育てをめぐる課題 子どもの精神保健 保護者理解								
テキスト・ 参考書等	青木紀久代「子ども家庭支援の心理学」(みらい) 参考書 草野いづみ「みんなで考える家族・家庭支援論」(同文書院)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕子ども家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得ができる								
LO-2	(技術)子ども家庭支援に必要な基礎的心理技術を習得できている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕学修した知識や技術を、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考することができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業への意欲・関心をもって主体的に学んでいる								
LO-5	〔人間性・社会性〕子ども、保護者、仲間を尊重する視点をもち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	10	20			30			100
LO-1	40	10				10			60
LO-2						10			10
LO-3			20						20
LO-4						10			10
LO-5									
備考	Aは授業後のコメントシートやWEBシラバスアンケートへの振り返りの提出とその内容								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 生涯発達の視点 ・エリクソンのライフサイクル論他 時間: 2020年10月1日 09:10 AM 【予習】バスコード: Sinri1	20分
	シラバスを見て授業内容を確認 【復習】オリエンテーションを振り返り、プリントを見直す	90分
	課題: WE Bシラバスへのコメント	
第2回	乳幼児期から学童期前期の発達 ・「となりのトトロ」から学ぶ メイ、サツキ 子ども家庭支援の心理学授業に参加する 【予習】バスコード: Sinri2	90分
	保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り 【復習】授業で使った教科書、プリントの見直し WE Bシラバスへのコメント ユニセフ子どもの幸福度報告(世界)サイト ユニセフ子どもの幸福度報告(日本)サイト	90分
	学童期後期から青年期の発達 ・「千と千尋の神隠し」から学ぶ 千尋	
第3回	子ども家庭支援の心理学第3回授業に入る 【予習】バスコード: Sinri3	90分
	保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り 教科書に目を通す 【復習】授業で使った教科書、プリントの見直し 本日課題 全員 WE Bシラバスへのアンケート提出	90分
	思春期・青年期 成人期から老年期の発達 DVD教材をもとに	
第4回	子ども家庭支援の心理学第4回授業参加 【予習】バスコード: Sinri4	90分
	保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り、教科書を読む 【復習】授業で使った教科書、プリントの見直し 本日課題 全員: WE Bシラバスへコメント	90分
	家族・家庭の意義と機能/親子関係・家族関係の理解 ・家族の発達段階、ジェノグラムから見える家族関係	
第5回	第5回授業に参加 【予習】バスコード: Sinri5	90分
	教科書の該当ページを読む 【復習】授業で使った教科書やプリントの見直し 課題: 全員: 小テスト1を提出(11/12日中)	90分
	子育てを取り巻く社会状況 少子化、非婚化、ワンオペ育児、アウェイ育児、男性育休取得率の問題など	
第6回	第6回授業に参加 【予習】バスコード: Sinri6 教科書の該当箇所を読む	90分
	【復習】課題 全員: WE Bシラバスのアンケートに答える 学籍番号tc20c028-036の人 課題レポート提出 期限: 11月20日金曜18時まで 提出場所: F511嶋野研究室前BOX	90分
	子育ての経験と親としての育ち ・子どもが生まれることで起こる心身の変化、家族の変化、 ・「ママたちが非常事態」視聴から	
第7回	第7回授業に参加 【予習】バスコード: Sinri7 教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使った教科書、プリントの見直し #7授業スライド 子育てエッセイ: 親としての成長	90分
	2年生教育実習指導との合同授業 ・2年生の教材実演発表に参加(対面授業) 教室とグループ一覧表	
第8回	【予習】なし	90分
	【復習】コメントシートの提出	90分
第9回	ライフコースと仕事・子育て ・ワークライフバランスを考える、父親の子育て・20年間での幼児の生活の変化を読み取る 第9回授業に参加 【予習】バスコード: Sinri9 教科書の該当箇所に目を通す p.114-124	90分
	【復習】授業で使った教科書やプリントの見直し、 課題 小テスト2 Google Form 提出 WEBシラバスアンケート提出	90分
	子育てを取り巻く社会状況 ・こどもの貧困、ひとり親家庭の現状、DV, 虐待の連鎖が起きる社会背景と現状と対策	
第10回	第10回授業に参加 【予習】バスコード: Sinri10	90分
	教科書の該当箇所に目を通す 【復習】授業で使った教科書やプリントの見直し、WE Bシラバスへのコメント 第10回授業スライド YouTube育児介護休業法	90分

第11回	多様な家族とその理解 ・ひとり親、外国籍家族、里親、LGBTQ+	
	第11回授業に参加 【予習】バスコード: Sinri11	90分
	教科書の該当箇所に目を通す 【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し、WEBシラバスへのコメント	90分
第12回	なくそう！子どもの貧困全国ネットワーク：貧困率の推移	
	子どもの生活・生育環境とその影響 ・マルトリートメントが及ぼす子どもへの影響とその回復を知る。 DVD視聴：NHKプロフェッショナル「傷ついた親子に幸せを～小児神経科医 友田明美の仕事」	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
第13回	【復習】課題レポート「虐待やマルトリートメントをなくすために親子に寄り添い続けるプロフェッショナル友田明美先生から学んだこと」提出 レポート書式	90分
	特別な配慮を要する家庭 ・病気、障害、貧困、傷つき体験、DV、虐待など 目黒区虐待死事件から学ぶ	
	第13回授業に参加 【予習】バスコード: Sinri13	90分
第14回	予習課題：目黒区虐待死事件「結愛」ちゃんの母の獄中手記に関する記事2つを以下のリンクから読んでから授業に参加すること。 【復習】厚労省児童虐待防止対策の抜本的強化について	90分
	発達支援の必要な子どもがいる家庭 ・発達障害について ・医療的ケア児について 内多勝康「医療的ケアの必要な子どもたち」を題材に	
	第14回授業に参加 【予習】バスコード: Sinri14	90分
第15回	教科書の該当箇所に目を通す 【復習】授業で使用したプリントや資料の見直しと整理	90分
	子どものこころの健康にかかわる問題 子どもの心の問題を家族との関係を読み取ることと、保育者の役割	
	第15回授業に参加 バスコードは予習欄 【予習】バスコード: Sinri15	160分
第15回	教科書の該当箇所に目を通す	
	【復習】授業で使用したプリントや資料の見直しと整理、WEBシラバスへのコメント #15授業スライド 小テスト5（テスト対策練習問題記述）	90分

授業科目名	教育相談			科目コード	C121-31				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	教育相談は、幼児、児童及び生徒の自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支える教育活動である。幼児、児童、生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切にとらえ、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識含む）を身につける。								
学習目標	1.保育教育相談の意義と理論を理解する。 2.保育教育相談の方法：教育相談を進める際に必要な基礎的知識と技法を理解し使えるようになる。 3.保育教育相談の展開：教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組や連携の必要性を理解する。								
キーワード	教育相談 保護者支援 カウンセリングマインド 相談技術 コミュニケーション技術 園内体制と連携 外部機関との連携								
テキスト・ 参考書等	教科書： 高山静子「保育者の関わりの理論と実際 教育と福祉の専門職として」エイデル研究所								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕教育相談の意義や方法、心理学的な基礎知識などを理解している。								
LO-2	〔技能〕相談支援に必要な技術を身に付けている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕学んだ知識・技能、経験をもとに、人の話をよく聴き、自分の考えを伝える具体的な場面での応用ができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業に対する関心・意欲があり、自ら課題を見つけて学ぶ態度が見られる。								
LO-5	〔社会性・人間性〕グループワークや発表を、グループの仲間と協力し合い、積極的に行うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	20		20			60			100
LO-1	20								20
LO-2			10			20			30
LO-3			10			20			30
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他 Aは毎授業最後に提出する振り返りシートの記述内容、表現、グループワークへの参加態度、発表スキル、自分自身の意見表現等から評価する。								



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 教育相談の意義と理論：教育相談とは何か？ 保育・幼児教育における教育相談の特徴、関わりの原則	
	【予習】実習中に見聞きした保護者支援の場面を思い出ししておく。	15分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第2回	教育相談の方法：相談関係を構築するためのコミュニケーション技法	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第3回	教育相談の方法：聴く技法 非言語コミュニケーションを中心に	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第4回	教育相談の方法：聴く技法 言語コミュニケーションを中心に ロールプレイ	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第5回	教育相談の方法：話す技法	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第6回	教育相談の方法：アサーショントレーニング	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第7回	教育相談の方法：伝える技法 Eメッセージ 対立の解消プログラム（ピース・トーク）	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第8回	教育相談の方法：わかりやすく伝えるためのグループワーク	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第9回	教育相談の方法：肯定的な見方、考え方、伝え方を鍛える	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第10回	教育相談の方法：イライラ、怒りの感情コントロール技法	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分

第11回	教育相談の展開 園内の教育相談体制で支援する 園内連携事例	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第12回	教育相談の展開 : 外部機関との連携 「保育士に知っておいてほしい精神疾患と医療との連携」特別講師 森昭憲先生(富山県リハビリテーション病院・子ども支援センター小児科部長兼精神科部長)	
	【予習】森先生に聞きたいことアンケートに答える	30分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第13回	教育相談の展開 発達障害者の事件から早期の発見、早期の支援の重要性を学ぶ「奥田交番襲撃事件」より	
	【予習】指定されたリンクから事例を読んでくる	60分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第14回	教育相談の展開 : 重篤事例で連携の重要性を理解する 野田市虐待死事件報告書を題材に	
	【予習】野田市児童虐待死亡事例検証報告書(公開版)の以下のページを読んでから授業に出席すること。 p.1 p.3~5 p.57~63	60分
	【復習】レポート課題提出	60分
第15回	教育相談の展開 : 園内教育相談体制、園外の専門機関との連携で支援する(園内外の連携事例)	
	【予習】事例を読んでくる	30分
	【復習】レポート課題提出	60分

授業科目名	子どもの保健			科目コード	C123-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験	看護師・介護支援専門員として大学病院・在宅・施設等で勤めていた経験を活かし、保育士、介護福祉士等のそれぞれの資格取得に必要な基礎知識と技術を実践的に解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの健康と安全					
関連科目	保育の心理学      子どもの食と栄養								
資格等 取得との関連	保育士資格      幼稚園教諭2種免許								
授業の概要	子どもの健康と保健の意義を学び、健康に関する現状を統計に基づき課題を把握し、保育士として関係機関との連携方法を理解する。心身の発達や保健活動の実際と、保護者との関係について理解する。疾病の予防・対応を学び、心身の不調の早期発見や適切な具体的な対応を理解する。講義、意見交換から自ら考える学習を目指します。								
学習目標	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。子どもの身体発達や生理機能及び運動機能並びに精神発達と保健について理解できる。子どもの疾病とその予防法及び適切な対応、保健活動の計画及び評価について理解できる。保育士として必要な知識・対応について考察できる。								
キーワード	保健活動      発育・発達      児童虐待      健康状態の観察      子どもの疾病								
テキスト・ 参考書等	テキスト：「授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト」2019初版 第2刷 診断と治療社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解)子どもの保健について理解し、試験で正しく答えられる。子どもの健康状態・対応を疾病等の根拠から説明できる。								
LO-2	(技能)子どもの健康状態の把握のための正確な技術を身につけている。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力)専門職として子どもの健康を取り巻く状況を理解し、保健活動について考察・発表できる。								
LO-4	(関心・意欲・態度)最新の疾病・対応や保険制度の知見の把握に努め、意欲的に授業に参加し養護について学びを深める。								
LO-5	(人間性・社会性)子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として根拠と思いやりを持って養護できるように取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20			20			100
LO-1	10		5			10			25
LO-2	10		5						15
LO-3	10								10
LO-4	15		5			5			25
LO-5	15		5			5			25
備考	・定期試験：学習資料あり      ・レポート：随時単元により実施      ・その他A：授業態度 、ノート(授業中に記録、おさらいテスト等の自己学習を記載)								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1回授業に参加する 2020年5月7日 04:30 PM オリエンテーション 保健活動の意義と目的	
	【予習】パスワード: Kodoho1 体調確認記録継続 WHOパワボ課題を提出しておく。5/1迄 レポート課題第2回発表(返信封筒で郵送) ノートの準備	30分
	【復習】 資料ファイルの作成 ノートに人体各部のの名称、主な骨の名称自己学習。期末に回収)	60分
第2回	時間: 2020年5月14日 04:30 PM 第2回授業に参加する	
	【予習】パスワード: Kodoho2 テキストP14～18を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第3回	第3回授業に参加する 2020年5月21日 04:30 PM 子どもの身体発育と運動機能の発達 1-3	
	【予習】パスワード: Kodoho3 テキストP28～30を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第4回	子どもの身体発育と運動機能の発達4-6 生理機能の発達と生活習慣 第4回授業に参加する5月28日 04:30 PM	
	【予習】パスワード: Kodoho4 テキストP29～48を読む	0分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	0分
第5回	生理機能の発達と生活習慣 時間: 2020年6月4日 04:30 PM <a href="https://zoom.us/j/96862165435?pwd=dWE5ZkRlRQ3YzR2hYQWhicnZDajFrUT09">https://zoom.us/j/96862165435?pwd=dWE5ZkRlRQ3YzR2hYQWhicnZDajFrUT09</a>	
	【予習】テキストP31～45を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第6回	時間: 2020年6月11日 04:30 PM 第6回授業に参加する	
	【予習】パスワード: Kodoho6 テキストP20～26・51～57を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 1から6回の復習	120分
第7回	時間: 2020年6月18日 04:30 PM 第7回授業に参加する 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	
	【予習】テキストP60～63を読む パスワード: Kodoho7	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第8回	時間: 2020年6月20日 10:45 AM 第8回授業に参加する	
	【予習】パスワード: Kodoho8 テキストP60～63を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第9回	2020年7月6日 02:45 PM 第9回授業に参加する パスワード: Kodoho9	
	【予習】テキストP74～78を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 感染症の課題作成、次回提出 2020年7月9日 04:30 PM 2年生9回授業に参加する	120分
第10回	時間: 2020年7月13日 02:45 PM 第10回授業に参加する パスワード: Kodoho10	
	【予習】テキストP81～89を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 2年: 対面 7/17(金)4限	120分

第11回	新生児の病気、新生児期にわかる先天性の病気の特徴と対応 時間: 2020年7月20日 04:30 PM 第11回授業に参加する	
	【予習】テキスト P 91 - 96を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 2 : 対面 7/23 (木) 5限	120分
第12回	アレルギー疾患の特徴と適切な対応 時間: 2020年7月27日 02:30 PM 第12回授業に参加する	
	【予習】テキスト P 98 - 104を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第13回	対面授業 慢性疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキスト P 106 - 116を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第14回	対面授業 保護者との情報共有と家族の支援 試験の説明	
	【予習】テキスト P 119 - 127を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 期末試験対策課題	165分
第15回	子どもの健康診断と関連機関との連携 2020年8月3日 02:45 PM 第15回授業に参加する	
	【予習】テキスト P 129 - 136を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 期末試験対策課題 2020年8月6日 04:30 PM 2年15回に参加する	165分

授業科目名	子どもの健康と安全			科目コード	C123-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの保健		後継科目						
関連科目	子どもの家庭支援の心理学    子どもの食と栄養    乳児保育								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育環境や援助を保健的観点から、関係する各種ガイドライン等から、具体的に理解する。障害、感染症、アレルギー、事故、災害の最新の知見を学び、子どもの健康及び安全を守るための具体的な対応を実践的に身につける。保健指導を計画的に実践して、組織的体制づくりを理解する。小グループで課題達成に向け、事故の役割を理解し積極的に授業参加できるように展開する。								
学習目標	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策、感染症対策について、具体的に理解する。子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する。保育における保健的対応の基本的な考えを踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応について、具体的に理解できる。子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について、具体								
キーワード	安全な保育環境 事故災害防止 感染症対策 アレルギー対策 保健計画								
テキスト・ 参考書等	テキスト：子どもの健康と安全 診断と治療社    *前期の「子どもの保健」テキスト・資料の持参を適宜指示する								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解)子どもの健康と安全についてガイドライン等を理解し、試験で正しく答えられる。子どもの状況や対応を保健計画反映し保育士としての役割を理解・実践できる。								
LO-2	(技能)子どもの健康状態の把握、生命維持のための正確な技術を身につけている。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力)専門職として各種ガイドラインを理解し、保健活動について考察・発表できる。								
LO-4	(関心・意欲・態度)最新の知見と現状分析の把握に努め、意欲的に授業に参加し安全確保について学びを深める。								
LO-5	(人間性・社会性)子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として他職種や関連機関と連携して養護できるように取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50	10	15	25			100
LO-1			20	5	5	5			35
LO-2				5		15			20
LO-3			15		5				20
LO-4			5		5	5			15
LO-5			10						10
備考	A：授業の取組、課題ノート（おさらいテストなど、15回目回収する）								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	対面 オリエンテーション 子どもの健康と保育の環境	
	【予習】テキストを読む P1-8	15分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・ノート整理	25分
第2回	遠隔 個別対応と集団全体の健康 健康及び安全管理 衛生管理 時間: 2020年10月15日 10:30 AM	
	【予習】テキストを読む P12 - 25 *ハサミ・のり用意	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第3回	対面 体調不良や傷害時の対応 保健的対応の基本 3歳未満児への対応	
	【予習】テキストを読むP36 - 45	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第4回	遠隔 体調不良や傷害時の対応 救急対応 保健的対応の基本 時間: 2020年11月5日 10:45 AM 第4回授業に参加する	
	【予習】テキストを読む P74 - 86	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 レポート完成	25分
第5回	保健的対応の基本 3歳未満児への対応 実習からの学びから、レポート発表	
	【予習】実習の振り返り	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第6回	感染症の予防と対応	
	【予習】テキストを読む P59 - 69	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第7回	世界の子どもの感染症調査	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第8回	遠隔 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応 2020年11月26日 10:45 AM 第8回授業に参加する	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第9回	感染症 子どもへの対応	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第10回	予防接種 障害のある子どもへの適切な対応	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分

第11回	障害のある子どもへの適切な対応      発達障害児の生活の構造化を作成	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第12回	障害のある子どもへの適切な対応      アレルギー（エビペン）      保育における保健計画及び評価      職員間の連携・協働と組織的取組 子どもを中心とした家庭・専門機関・地域との連携	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第13回	災害の備えと危機管理      E館      プロジェクト	
	【予習】震災・災害関係の報道等の調査	20分
	【復習】・発表準備	25分
第14回	E館      プロジェクト      発表	
	【予習】発表準備	20分
	【復習】・レポート作成	60分
第15回	救命救急の対応      まとめ      課題の提示	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	60分



授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-20				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	大掛 恵美子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの食と栄養					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く食の現状と課題を理解し、子ども一人ひとりの心身の状態や発達過程を踏まえ、主に乳幼児期の食生活の意義について理解する。さらに栄養と食品に関する基本的知識を身につける。								
学習目標	子どもの食と栄養に関する基本的知識を習得する 乳幼児期の食事が果たす役割の大切さを理解する								
キーワード	子どもの食と栄養 発達過程 乳幼児 食生活の意義 栄養の基本的知識								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『子どもの食と栄養 演習ブック』 松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得し、子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食に関わる実践力を備えている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	出席カードの質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3									
LO-4						20			20
LO-5									
備考	その他：Aは、出席カードの質問、感想や授業態度などを総合して評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	子どもの食と栄養の概要説明をし、子どもの健康と食生活の意義について解説する	
	【予習】テキストp.8～20を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.13【演習課題】を解いて授業内容を整理し、最近の子どもを取り巻く現状について考えてみる	30分
第2回	子どもの食生活をめぐる現状について解説する 5月11日3限授業 5月11日4限授業	
	【予習】テキストp.22～34を読んで要点を理解する <3限>ミーティングID: 875 3806 9980 パスワード: Kosyoku1-3 <4限>ミーティングID: 841 0633 6936 パスワード: Kosyoku1-4	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第3回	栄養に関する基本的知識、炭水化物について解説する 5月18日3限授業 5月18日4限授業	
	【予習】テキストp.38～47を読んで要点を理解する <3限>ミーティングID: 828 5050 9402 パスワード: Kosyoku1-3 <4限>ミーティングID: 815 0569 6035 パスワード: Kosyoku1-4	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第4回	脂質とたんぱく質の種類と機能について解説する 5月25日3限授業 5月25日4限授業	
	【予習】テキストp.47～56を読んで要点を理解する ミーティングID: 873 5925 6718 パスワード: Kosyoku1-3 ミーティングID: 852 3541 6417 パスワード: Kosyoku1-4	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第5回	ビタミン、ミネラルと水分の機能について解説する	
	【予習】テキストp.58～61を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.62～63【演習課題】をやる。課題1に提出のこと。提出期限：6月8日(月)	30分
第6回	栄養素の消化と吸収について説明する	
	【予習】テキストp.64～69を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.70【演習課題】をやる	30分
第7回	日本人の食事摂取基準の意義とその活用、食事バランスガイドについて解説する	
	【予習】テキストp.72～84を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.85【演習課題】をやる	30分
第8回	献立作成と調理の基本について解説する	
	【予習】テキストp.86～91を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.92【演習課題】をやる	30分
第9回	乳児期の食生活について解説する	
	【予習】テキストp.102～106を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第10回	産後期の栄養について理解する	
	【予習】テキストp.108～112を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.113【演習課題】をやる	30分

第11回	幼児期の心身と食生活の特徴について解説する	
	【予習】テキストp.114～118を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第12回	幼児期の間食の意義と栄養上の問題について解説する	
	【予習】テキストp.120～125を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.126【演習課題】をやる	30分
第13回	学童期・思春期の食生活、妊娠・授乳期の食生活について解説する	
	【予習】テキストp.94～100、p.128～136を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.101、p.137【演習課題】をやる	25分
第14回	食物アレルギーとその対応について解説する	
	【予習】テキストp.202～214を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.207、p.215【演習課題】をやる	30分
第15回	これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】テキストで期末試験範囲を読み、学習内容の問題点を考えておく	10分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	40分

授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-21				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	大掛 恵美子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの食と栄養		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	「子どもの食と栄養」で学んだ食と栄養に関する基本的知識に基づき、発育・発達時期の異なる食事や調理、食育の重要性、子どもの家庭における栄養指導について学ぶ。さらに食にかかわる保育実践や子ども集団全体の食事と栄養について理解を深め、柔軟に活用できる実践力を身につける。								
学習目標	子どもの食事活動を計画し、保育実践の場で活かせる指導力を育むこと。 調理の実習では身支度をしっかり整え、安全面や衛生面に気をつけて行うこと。 毎回のまとめとしてレポートを必ず提出すること。								
キーワード	発達・発育時期の食事 調理 食育 栄養								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『子どもの食と栄養 演習ブック』 松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房 食関係参考資料：								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得している								
LO-2	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術を身につけており、家庭支援においてもその技術を応用できる								
LO-3	レポートから論理的な考察が見られ、自らを省察し、実践的に問題解決方法を見極めることができる								
LO-4	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる保育実践力を備えている								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	60								60
LO-2			15						15
LO-3			15						15
LO-4						10			10
LO-5									
備考	その他：Aは、授業時の積極性、質問や授業態度などを総合して評価する レポートにはコメントをつけて返却する								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の全体概要について説明する 調理実習の実習心得と調理の基本について解説する 育児用粉乳の調乳・授乳方法を実際に体験する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.102～107を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第2回	離乳食の実習(1) 離乳時期(離乳形態)の異なるベビーフードを味わい、物性や栄養成分の違いから特徴を比較する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.108～113を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第3回	離乳食の実習(2) 離乳食を調理し、調理方法、量や味付けなど特徴を学ぶ	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.108～113を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第4回	幼児期の実習(1) 幼児期の昼食を調理、盛付をし、量や工夫等について学ぶ	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.114～119を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第5回	保育実習を終えてプレーストリーミングの手法を用いて「乳幼児の食」についてグループで意見を出し合い、討議する 11月12日2限授業	
	【予習】2週間の保育実習を終えて「乳幼児の食」について体験したことを書き出してみる ミーティングID: 963 7394 3739 パスワード: Kosyoku-5	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第6回	幼児期の実習(2) 子どもと一緒に楽しむ間食(おやつ)、食物アレルギー対応のおやつを実習する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキスト「間食の意義と与え方」p.120～127、「食物アレルギーへの対応と食事」p.202～207を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】配布プリントの各項目をテキストを参考に仕上げる	30分
第7回	食育基本法と第3次食育推進基本計画の概要を解説し、保育所・幼稚園における食育の目的と内容を考えてみる 食関係参考資料:	
	【予習】テキストp.138～148を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.142,p.149【演習課題】を解いて授業内容を整理する	30分
第8回	食育の内容と計画、食育のための環境づくり、食育を通じた家庭や地域への支援について解説する	
	【予習】テキストp.150～169を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.157,p.170【演習課題】を解いて授業内容を整理する	30分
第9回	食育媒体(食育カルタなど)を各班で作成する 子どもを取り巻く食の問題について:	
	【予習】図工セットを持参する	15分
	【復習】富山県内市町村の保育所における食育の取組について調べてみる	20分
第10回	家庭や児童福祉施設における食事と栄養について説明し、そのなかで保育士の果たす役割について考える	
	【予習】テキスト「家庭における食事と栄養」p.172～174、「児童福祉施設における食生活」p.176～184を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分

第11回	正月料理の起こりや材料の縁起について解説し、正月料理を実習する	
	【予習】我が家の正月料理や雑煮について家族に聞いておく。	15分
	【復習】正月料理を実際につくってみる	30分
第12回	妊娠期の食事を実習し、各期の特徴を理解する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.94～101を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】配布プリントの妊娠期の栄養と食生活における留意点についてテキストを参考に仕上げる	30分
第13回	子どもの疾病と障がいのある子どもの食生活について解説する 食中毒について解説する	
	【予習】テキストの「障がいのある子どもの食生活」p.186～192、「疾病および体調不良の子どもへの対応」p.196～200を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第14回	富山の郷土料理を実習し、地域の伝統食を知る。	
	【予習】富山の郷土料理にはどのような料理があるか調べてみる	15分
	【復習】家庭で実際に郷土料理を作り、その他の伝統食について調べる	30分
第15回	郷土料理や和食の特徴について最近の情報から解説する これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】学習してきた内容について振り返り、問題点を考えておく	15分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	40分

授業科目名	子どもの理解と援助			科目コード	C125-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 家庭支援		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学		後継科目	教育相談					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子ども理解に基づく援助の意義について、発達の観点、環境と学びの観点、および保育者の基本的姿勢の観点から理解する。 また、子ども理解の方法として、観察、記録、家庭連携、保育者同士の情報共有の視点を学習し、理解を深める。 理解に基づく具体的援助については、さまざまな場面の事例を自分で、グループで多角的に検討することを通してその基本								
学習目標	1. 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義を理解する。 2. 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。								
キーワード	子ども理解 発達の観点 環境と学びの観点 共感的理解 観察 記録								
テキスト・ 参考書等	教科書 : 藪中征代・玉瀬友美編著(2020)「子どもの理解と援助」萌文書林 教科書 : 鯨岡峻・鯨岡和子(2009)「エピソード記述で保育を描く」ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 子ども理解についての基本的考え方、理解に基づく援助の意義や子ども理解の具体的方法、態度の基本を理解している。								
LO-2	〔技能〕 子ども理解に基づく援助に必要な基本的な技術、他者への共感的な態度を身に付けている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕子どもの遊びや生活場面など実践的事例から、子ども理解に基づく具体的援助を考え、意見を表明し、実践してみることができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業に対して関心、意欲を持ち、自ら課題を見つけ行動し主体的に学ぶ姿勢を持つ。								
LO-5	〔社会性・人間性〕グループの仲間と協力し合い、グループディスカッション、ワーク、発表を積極的に行うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	20		20			60			100
LO-1	20								20
LO-2			10			20			30
LO-3			10			20			30
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、毎授業後の振り返りシートの内容、レポート発表、グループ活動への参加態度およびグループ発表のスキルから評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 自己理解・他者理解ワーク（質問紙と物語づくり） 保育における子ども理解の意義	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認 教科書 第1章 教科書 序章を読む。	15分
	子ども家庭支援の心理学期末テスト回答（表） 【復習】オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り 教科書 第1章、教科書 序章を読み復習する。 #1授業スライド	30分
第2回	自己理解・他者理解ワーク（エゴグラム） 子どもに対するかかわりと共感的理解	
	【予習】教科書 第2章を読む。教科書 p48エピソード7「どうしたらいいのかなあ」を読む。	15分
	【復習】提出課題 次の課題用紙を使い、 を作成してWEBシラバス第2回 課題1へ送信する。 エゴグラムの自分の結果を見てエゴグラム解説を参考に読んで気づいたことを記入する。	30分
第3回	自己理解・他者理解ワーク（自分を肯定的にリフレーム） 子どもの生活や遊び	
	【予習】教科書 第3章、教科書 p78エピソード16「『じぶんで』と『いっしょに。』」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、 WEBシラバスアンケート提出 #3授業スライド	30分
第4回	子どもの生活や遊び	
	【予習】教科書 第4章 p p51-60を読む。教科書 p29エピソード2「おかあちゃん、きはらへん」、p97エピソード1「Kちゃんの気持ち」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書 と を読み返し復習。 #4授業スライド	30分
第5回	保育における人的環境としての保育者と子どもの発達（1） 「おかあちゃん、きはらへん」 DVD[屋外のままごと（けんか）]	
	【予習】教科書 第4章 p p60-66教科書 p29エピソード2「おかあちゃん、きはらへん」、p97エピソード1「Kちゃんの気持ち」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書 , を読み返し復習。 #5授業スライド	30分
第6回	自己理解ワーク「4人の体験」 子ども相互のかかわりと関係づくり 教科書 事例「キャーッと叫んで走る」2歳と3歳の比較 事例 3歳「3人のお医者さん」とDVD4歳「お医者さんごっこ」の比較	
	【予習】教科書 第5章を読む。教科書 p44エピソード6「ごめんなあ...まだ好きじゃない」p52エピソード8「全部ばくのオモチャ！」p59エピソード10「先生おだんごつくって」を読む。	15分
	【復習】自己理解ワーク「4人の体験」スライド、#6授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書を読み返し復習する。	30分
第7回	自己理解・他者理解ワーク「何を大切とするか」（価値観ゲーム） 発達における葛藤やつまずき	
	【予習】教科書 第6章を読む。	15分
	【復習】#7授業スライド自己理解ワークスライドの見直し、活動の振り返り用紙提出。 教科書 p44エピソード6「ごめんなあ...まだ好きじゃない」p59エピソード10「先生おだんごつくって」を読む。	30分
第8回	4歳児のいざござ場面のDVD「ずるい ずるい ずるい」を見てディスカッション 発達における葛藤やつまずきと保育者の援助	
	【予習】教科書 第7章を読む。教科書 p143エピソード2「押したんちがうもん」を読む。	15分
	【復習】授業ワークシートの見直し、活動の振り返り。教科書を読み返して復習。	30分
第9回	ロールレタリング1 保育の環境の理解と構成 絵本「ちょっとだけ」 絵本「ちょっとだけ」	
	【予習】教科書 第8章を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り #9自己理解他者理解ワークスライド	30分
第10回	自己理解・他者理解ワーク（ロールレタリング2） 絵本「おこだでませんように」 環境の変化や移行	
	【予習】教科書 第9章を読む。教科書 p100エピソード2「新しい家族の誕生」、p102エピソード3「お姉ちゃんになる...」を読む。	15分
	【復習】#10授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書読み返し復習。 課題：保育実習で、気になる子どもを保育者がどのようにクラスの仲間として参加できるような配慮を行っているか、という観点から。物的環境、人的環境という2点から観察してること。	30分



第11回	自己理解・他者理解ワーク（ロールレタリング3） 子ども理解の方法1 子ども理解のための観察・記録・省察・評価	
	【予習】課題：保育実習で、気になる子どもを保育者がどのようにクラスの仲間として参加できるような配慮を行っているか、という観点から、物的環境、人的環境という2点から観察してくること。 教科書 第10章を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書のワークを行う。	30分
第12回	自己理解・他者理解ワーク（ロールレタリング4） 子ども理解の方法2 子ども理解のための保護者との情報共有	
	【予習】教科書 第12章を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書のワークを行う。	30分
第13回	集団における経験と育ち DVD視聴 NHKプロフェッショナル「保育士野島千恵子の仕事」	
	【予習】教科書 第6章を読む。	15分
	【復習】課題 DVD視聴後のレポート提出 授業スライド、教科書の見直し、	30分
第14回	子ども理解の方法3 子ども理解のための職員間の対話 自己理解・他者理解ワーク（質問紙）	
	【予習】教科書 第11章を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書のワークを行う。	30分
第15回	発達の連続性と就学への支援 自己理解・他者理解ワーク（物語づくり）	
	【予習】教科書 第15章を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書のワークを行う。	30分

授業科目名	教育課程論			科目コード	C131-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	なし	後継科目	教育方法論						
関連科目	保育原理 教育原理 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	カリキュラムの基礎理論を知り、計画・評価の意義や保育の過程の循環が保育の質向上を図ることを理解する。また、保育における計画の構造を知り、全体計画と指導計画及びその他の計画をマネジメントする力を身に付ける。								
学習目標	教育課程の役割・機能・意義を理解する。 教育課程編成の基本原則及び保育実践に即した計画の編成方法を理解する。 園全体の計画を総合的にマネジメントする意義と方法を理解する。								
キーワード	カリキュラム 指導計画 PDCA 質の向上 カリキュラム・マネジメント								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『教育・保育カリキュラム論』（中央法規） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館）『幼保								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼稚園教育要領等の性格や教育課程編成の目的、社会的役割、機能を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。また、カリキュラムの基本原則についての確に述べることができる。								
LO-2	【技能】 指導計画の作成手順をふまえて、ねらいと内容を設定することができる。子ども理解につながる保育記録作成に努める。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 一連の保育の過程と関連づけながら指導計画を評価し、改善案を考えることができる。カリキュラム評価の基礎的な考え方ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 教育課程が、地域社会や家庭・園環境と密接な関連があることを理解し、マネジメントの重要性について述べることができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 保育事例等の討議に積極的に参加する。自らの意見を他者に表明するとともに、他者の意見を受容し、自らの意見に反映させることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	20	20			10			100
LO-1	30	10							40
LO-2			10						10
LO-3	10	5	10						25
LO-4	10	5							15
LO-5						10			10
備考	その他Aは受講態度（グループ参加態度含む）とする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	カリキュラムの意義について 保育所保育指針及び幼稚園教育要領における「カリキュラム」の位置づけ	
	【予習】保育所保育指針、幼稚園教育要領で「カリキュラム」に関する記述部分を読んでおく。	30分
	【復習】講義内容をノートをとる。 要領、指針等の重要語句を覚える。	60分
第2回	教育に関するカリキュラムの種類<教育課程、全体的な計画、指導計画(長期・短期)>とその内容	
	【予習】教科書の該当部分を読む	40分
	【復習】カリキュラムの種類とそれぞれの特徴について、整理してまとめる。 教科書の重要語句を覚える。	80分
第3回	全体的な計画の根拠となる法令の確認 部分指導案の書き方の理解	
	【予習】 保育の計画の基本原則を確認しておく。	40分
	【復習】計画策定の基本やカリキュラムマネジメントの意味を理解する。 年齢に応じた指導計画の作成について知る。	60分
第4回	全体的な計画の内容 社会・地域・家庭の状況に応じた計画の変更・実施	
	【予習】全体的な計画と指導計画の基本原則を確認しておく。	40分
	パスコード:akeshiba 【復習】レポート用紙様式 レポート課題 提出 10月19日 17:00まで 5階石動研究前に提出 データで送信したい場合は、第4回の課題提出1に上記時刻まで提出	120分
第5回	保育の過程(計画、実践、省察・評価、改善)について 保育の評価について 記録の重要性	
	【予習】教科書該当部分を読む。	30分
	【復習】演習内容をまとめる。 講義内容をノートにまとめる。	90分
第6回	保育の評価について 省察と改善	
	【予習】これまでの実習日誌を読み、自分の記録の課題についてまとめてくる。	120分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリント(エピソード理解)を仕上げる。	120分
第7回	指導計画の作成と展開 縦断的な視点をもつ	
	【予習】課題プリント(エピソード理解)を仕上げる	120分
	【復習】教科書該当部分を読み、演習課題を仕上げる。	120分
第8回	指導計画の作成と展開 年間指導計画～月間指導計画へ 月間指導計画～週案へ	
	【予習】教科書第4章 74～47までを読む。過去の配布資料で、計画の種類と特徴を確認しておく。	60分
	【復習】教科書の演習課題及び配付された課題プリントを仕上げる。	60分
第9回	指導計画の作成と展開 日案から週案へ 週案から日案へ	
	【予習】教科書該当部分を読む	30分
	【復習】教科書及び講義中の資料について、日案と週案との関連をマーク付けする。 講義内容をノートにまとめる。	90分
第10回	遠隔授業 指導計画の作成 長期と短期の指導計画 時間:2020年12月10日 04:15 PM	
	【予習】2つの活動の指導計画案を考えておく。 パスコード:kyouiku	40分
	【復習】課題プリントを仕上げる。 課題プリント	120分

第11回	小テスト実施 カリキュラム・マネジメントの実際	
	【予習】配布プリントを読んでおく。	240分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリントを仕上げる。	120分
第12回	小学校との連携 ～ 生活と発達との連続性をふまえた計画 第13回で行います	
	【予習】保育所保育指針・幼稚園教育要領で、「小学校の連携」に関する記述を読む。	30分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリントを仕上げる。	80分
第13回	指導計画の作成と展開 実習指導計画の作成 部分・一日	
	【予習】実習指導計画案を作成する。	40分
	【復習】実習指導計画を完成する。	80分
第14回	指導計画の作成と展開 実習指導計画の作成 小テスト（15分程度）実施	
	【予習】掲載が遅れてすみません！ 絵本A 絵本B	120分
	【復習】課題プリントを仕上げる。 自らの指導計画を再構成する。	100分
第15回	これまでの学習のまとめ 作成した実習指導計画が、他の様々な計画とどのような関連を持つか考える。	
	時間: 2021年1月23日 09:00 AM 【予習】試験に関する項目を教科書や指針で確認しておく。 質問等を考えておく パスワード: kateiron15	40分
	【復習】カリキュラムマネジメントの意義や重要性についてレポートを含め、試験の準備をする。 絵本の指導案を準備する。授業評価アンケートを行う 試験について	240分

授業科目名	教育方法論			科目コード	C131-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法		担当教員名	高木 三郎					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	教育課程論		後継科目	なし					
関連科目	教育原理、保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭 2 種免許、保育士資格								
授業の概要	幼児期にふさわしい教育の方法について、遊び活動、生活活動、課題活動、行事活動に分けて、事例を取り上げて理解を深める。また、小学校の教育との接続についても考える。その他、保護者支援の方法、地域連携の方法、評価のあり方、ICTの活用法等についても理解を深める。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育の在り方、環境構成、援助の在り方を理解する。</li> <li>2 小学校教育との接続を考慮した指導について特徴を理解する。</li> <li>3 自分の教育方法を改善していく営みを理解する。</li> <li>4 保護者や地域との連携の必要性と方法を理解する。</li> </ol>								
キーワード	幼稚園教育要領、保育所保育士指針、小学校学習指導要領、								
テキスト・ 参考書等	テキスト：豊田和子（編）『実践を創造する幼児教育の方法』みらい社 参参考書：「幼稚園教育要領解説」文部科学省、「保育所保育指針解								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	個々の幼児が成長の喜びと充実感をもって経験していけるような保育の方法について考えることができる。また、小学校の教育との接続についても考えることができる。								
LO-2	保育場面に応じた適切な援助や教材活用ができる技術を有している								
LO-3	現代の保育所・幼稚園・小学校の教育方法の課題について、その背景などについて多角的に把握し、学びを深めることができる。								
LO-4	「よりよい教育（保育）方法」に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	子どもたちに愛情ある支援をし、子どもたちの人間性を育むことができる								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50	20		30			100
LO-1			30						30
LO-2				20					20
LO-3						20			20
LO-4			20						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は平常点（出席及び受講態度等） 提出を求めるレポートについては、コメントをつけて返却する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業の目的、評価などについて 幼児期にふさわしい教育の方法とは	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	90分
	【復習】授業の全体像を確認する。 幼児期にふさわしい教育方法の基本を整理する。	90分
第2回	遊び活動の指導方法	
	【予習】幼稚園教育要領・保育所保育指針における「総則」部分での遊びに関する記述を調べる。	90分
	【復習】遊びのなかではくまれる学びを整理する。	90分
第3回	生活活動の指導方法	
	【予習】保育実習や教育実習で見られた生活活動を整理する。	90分
	【復習】生活活動の指導方法について整理する	90分
第4回	課題活動の指導方法	
	【予習】保育実習や教育実習で見られた課題活動を整理する。	90分
	【復習】課題活動の指導方法を整理する	90分
第5回	行事活動の指導方法と援助	
	【予習】保育所・幼稚園にどのような行事活動があるか調べる。	90分
	【復習】行事活動の指導方法と援助のあり方についてまとめる。	90分
第6回	幼小接続の考え方を理解する。	
	【予習】幼稚園教育要領の該当箇所を調べる。	90分
	【復習】幼稚園教育において育みたい資質能力と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をまとめる。	90分
第7回	幼小接続のための指導方法 特に協同的な学びの指導法を理解する。	
	【予習】幼稚園教育要領の該当部分を確認しておく	90分
	【復習】協同的な学びの指導方法を整理する	90分
第8回	保護者支援の必要性とその方法 特にコミュニケーションの取り方を理解する。	
	【予習】幼稚園教育要領における関係部分を確認しておく。	90分
	【復習】保護者とのコミュニケーションの取り方についてまとめる	90分
第9回	保護者支援の必要性とその方法 お便りの作成について理解を深める。	
	【予習】お便りの作成例について、調べる。	90分
	【復習】お便り作成のポイントを整理し、作成してみる。	90分
第10回	地域連携の必要性とその方法 特に地域行事の教育的意義を理解する。	
	【予習】地域の行事にどのようなものがあるか調べる。	90分
	【復習】地域行事の教育的意義をまとめる。	90分

第11回	地域連携の必要性とその方法 行事を活用した指導法を考える。	
	【予習】 行事を取り入れた指導事例を集める	90分
	【復習】 行事を活用した指導法の事例をまとめ、その留意点等をまとめておく。	90分
第12回	評価について 幼児教育における評価の特質を理解する。	
	【予習】 評価にはどのようなものがあるか調べる。	90分
	【復習】 幼児教育における評価の特質をまとめる。	90分
第13回	評価について 指導要録の書き方を理解する。	
	【予習】 指導要録の記入例を調べる	90分
	【復習】 指導要録を実際に書いてみる。	90分
第14回	幼児教育におけるICTの活用法を理解する。 特にドキュメンテーションの意義と作成方法を理解する。	
	【予習】 幼稚園教育要領の関係部分を調べる。	90分
	【復習】 ドキュメンテーションの意義と作成ポイントをまとめておく	90分
第15回	省察とカンファレンスの意義を理解する。	
	【予習】 省察とカンファレンスの意味を調べる	90分
	【復習】 自分自身の課題と対応策についてまとめておく	90分

授業科目名	保育内容総論			科目コード	C133-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	梅本 恵						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現						
関連科目	保育内容（健康）指導法 保育内容（言葉）指導法 保育内容（音楽表現）指導法 保育内容（造形表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	保育内容が、乳幼児の遊びや生活として総合的に展開される過程を乳幼児の姿と関連付けながら学び、環境を構成し実践するために必要な知識と基本的な保育者の関わりの方法を修得する。特に、乳幼児が遊びの中でどのような経験をしているのかを5領域のねらい及び内容とのつながりの中でとらえ、乳幼児が遊びを通して育つことを理解する。								
学習目標	保育・幼児教育の基本を踏まえた保育所・幼稚園・こども園における保育内容の展開について理解する。 遊びや生活を総合的に展開していくために必要な環境構成と保育者の関わりについて理解する。								
キーワード	遊び 環境構成 保育者の関わり ねらいと内容 養護と教育								
テキスト・ 参考書等	参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育・幼児教育の基本を理解し、保育のねらい及び内容について基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	【技能】保育内容を総合的に展開するために必要な環境構成に関する基本的な技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育・幼児教育の基本を踏まえた遊びや生活の指導の仕方・保育者の関わり方を理解している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】配布プリントや資料を基に、問題意識を広げながら学習を深めることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループワークなどに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					10	10	10	100
LO-1	30								30
LO-2	10					10			20
LO-3	20								20
LO-4	10						10		20
LO-5								10	10
備考	その他A：遊びの展開図 B：授業で提示された事例への対応 C:グループワークへの取り組み姿勢 授業で配布されたプリント、資料などを活用し、ノートを作成すること。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価等についての説明）	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	20分
	【復習】授業の全体像を確認する。	20分
第2回	「遊び」からとらえられる保育内容 子どもにとっての遊びとは 遊びの定義と実際	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。	45分
第3回	保育における5領域のねらい及び内容の関連性 遊びを通して乳幼児が経験することを5領域から考察する。	
	【予習】	0分
	【復習】提出課題1 添付した資料（子どもの遊びの写真）を見て、ワークシートを完成させる。 提出期日：11月6日(金) 授業時間に提出	120分
第4回	保育・幼児教育の基本と保育内容 『指針』『要領』『教育・保育要領』に基づく保育の基本を理解する。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の「総則」を読む。	45分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。	45分
第5回	「育みたい資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（1） 実際の乳幼児の遊ぶ姿から、「育みたい資質・能力」を読み取る。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の該当箇所を読む。	45分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	45分
第6回	「育みたい資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（2） 写真と事例から「育ってほしい姿」を理解する。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。	45分
第7回	保育における環境構成（1） 環境構成とは何か 環境構成の必要性について学ぶ。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の「環境を通じた保育」について述べている部分を探し、読む。	45分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。	45分
第8回	補講 3組：4限（E703・704） 4組：3限（E703・704） 保育における環境構成（2）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。	45分
第9回	保育における環境構成（3） 乳幼児が豊かな経験ができる遊びの環境構成について考察する。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを整理し、要点を押さえる。	90分
第10回	養護と教育の一体的展開 事例を通して、養護と教育が一体的に展開する過程を理解する。	
	【予習】『指針』の養護に関する部分を読み、不明な点を確認する。	60分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。	45分

第11回	保育における記録と子ども理解 様々な記録に触れ、子ども理解の方法を知る。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。	45分
第12回	保育の実施に関して留意すべき事項（1） 保育の場におけるジェンダーを問い直す	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。 提出課題：授業で示した2例について、どのような言葉をかけるか考えて、本日授業アンケートの「問7」に記入してください。 締め切り：12月28日(月)17:00	90分
第13回	保育の実施に関して留意すべき事項（2） 性の多様性を視点に保育環境と保育者の関わりを問い直す 提出課題：授業で示した2例について、どのような言葉をかけるか考えて、本日授業アンケートの「問7」に記入してください。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。	45分
第14回	多様な保育の展開（1） 気になる子どもの保育、多文化共生の保育、地域交流と保育等の事例から、テーマにかんするグループ討議を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】グループ討議の振り返りを行い、発表の準備をする。	90分
第15回	補講 3組：2限 E703・704 4組：4限 C301 多様な保育の展開（2） グループ討議の結果を発表し、意見を交換する。	
	【予習】発表の準備をする。	30分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。	45分

授業科目名	子どもと健康			科目コード	C133-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	大森 宏一						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもの運動 体育講義 生涯スポーツ	後継科目	保育内容(健康)指導法						
関連科目	教育課程論								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	領域「健康」のねらいと内容について理解するとともに、健康な子どもの心身の発達と自ら健康で安全な生活を営む力を身につけていくための保育者の役割の基礎を学びます。								
学習目標	集団援助の方法を学び実践できるようにする。運動遊びのレパトリーを増やし、さまざまなプログラムを発達に応じて指導できるようになる。運動遊びの楽しさを理解できるようになる。 遠隔授業の場合においては、そこでできる可能な子どもの遊びのスキルアップを行う。								
キーワード	健康 食育 運動発達 運動遊び 基本的な生活習慣 安全 保育者の援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：保育者を目指すあなたへ 子どもと健康 みらい 参考書：倉、大森編者「子どもが育つ運動遊び」みらい 保育所保育指針、幼稚園教育要領								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所保育指針及び幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらい・内容について理解している。幼児期の運動遊びの大切さを理解し説明できる。								
LO-2	【技能】乳幼児の心と体の健やかな育ちに必要な保育を構想し、展開する技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育における現代的な課題(体力の2極化など)を「健康」の関連からとらえ、論理的に考察することができる。模擬保育や実習時の事例の振り返りから実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】子どもの健康と子どもが育つ環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努めることができる。自分自身の健康に対して高い関心を持つことができさらに向上させようとしている。								
LO-5	【社会性・人間性】ディスカッションやグループ活動に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40	40		20				100
LO-1		20	20						40
LO-2		10			10				20
LO-3			10						10
LO-4		10			5				15
LO-5			10		5				15
備考	小テストは演習授業のため、授業内において技能テストとして行う。レポートはノートの提出の内容で評価する。 成果発表は、授業内において 授業態度(グループへの関与)と 企画・立案・運営はプログラムの参加、協力と取り組み方をもって評価とする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、計画、評価、模擬保育等についての説明）、	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を確認する。	15分
	【復習】模擬保育についてグループのメンバーを確認するとともにメンバーとの共同作業の時間を確認する。	30分
第2回	健康とはなにかをWHOの定義やウエルネス、SDGSなどの観点をもとに考える	
	【予習】テキスト第1章、保育所保育指針第3章、幼稚園教育要領第2章を読む。 準備する物があるので用意すること	15分
	【復習】様々な健康についての定義を考え自分なりの健康観を考える。領域「健康」はどのような保育内容を含んでいる領域なのか、具体的に考える。	30分
第3回	運動機能の発達について	
	【予習】子どもの発育発達について復習しておくこと	15分
	【復習】からだの健康について、整理する。発育発達についてまとめ年齢に応じた運動遊びのプログラムを考える。機能快について、ノートに記述しておくこと。	30分
第4回	発達について 神経系の発達及び感覚器の発達について	
	【予習】テキスト第5章を読む。	15分
	【復習】運動遊び 体育 スポーツについて整理しておくこと	30分
第5回	深部感覚について 子どもの投運動遊びの支援について	
	【予習】テキスト第11章を読む	15分
	【復習】キャッチボールができるまでの運動遊びについてまとめること あやとりの遊び方をノートに記述すること	30分
第6回	子どもの事故防止と安全管理 指導計画について（運動遊び） 上肢の運動、手首の回内回外運動、について	
	【予習】テキスト第6・14章を読む。 制作にあたって必要な道具をそろえること。また運動できる服装のこと。シューズは不要です。	15分
	【復習】リスクとハザードについて整理しておく。 本日の内容をノートに記述しておくこと	30分
第7回	具体的な援助方法について 未満児から年長児にかけての鬼ごっこの援助について	
	【予習】第6回までの内容を整理しておく。運動遊びを種類ごとにノートに整理しておく。	30分
	【復習】未満児と年長児の援助の違いをノートに整理しておくこと	15分
第8回	幼児期運動指針について及び指導計画について	
	【予習】60分間の指導計画を個別に作成しておくこと	15分
	【復習】保育実践に向けた保育計画を再構築しておくこと	30分
第9回	模擬保育の実践 子ども役と保育者役に分かれて模擬保育を行う で保育者役の場合は 子ども役となる	
	【予習】指導計画の作成と模擬保育の準備	15分
	【復習】模擬保育の振り返りをノートへ記述する	30分
第10回	模擬保育の実際	
	【予習】指導計画の作成と模擬保育の準備	15分
	【復習】模擬保育の振り返りをノートへ記述する	30分

第11回	投運動の発達に即した遊びの支援について      じゃんぶする遊びの支援について	
	【予習】投げる遊びの教材を工夫し、数多く作っておくこと。	15分
	【復習】様々な投げるあそび教材をノートに記述すること      ゴムとび遊びの遊び方をノートに記述すること	30分
第12回	運動あそびの実際と保育者の役割 現代の子どもの遊びについて、その援助方法と考え方について 腕を振る、回す、肩甲骨を動かす動きについて      身近なものを使ったリズムジャンプ遊びについて	
	【予習】子どもの体力低下と、遊びの減少傾向について予習する	15分
	【復習】子どもの遊びの減少と体力低下について、まとめてノートに記述する	30分
第13回	運動あそびの実際と保育者の役割 様々な遊び教材を楽しめるようになるための運動機能の理解について	
	【予習】投げる運動遊びの動作について何度の練習して身につけておくこと	15分
	【復習】投げる遊びの教材研究をすること	30分
第14回	保育現場における身近な遊び教材を使った援助方法について	
	【予習】子どもがやりたくなる運動遊びの環境設定を考える	15分
	【復習】あそびの援助方法について、本日の内容をノートに記述すること	30分
第15回	まとめ 投げる教材を発達に合わせて総合的に指導できるようにする。	
	【予習】前期の授業を振り返り、「健康」と保育者の役割についてまとめる。	15分
	【復習】ノートとレポートを提出すること	30分

授業科目名	保育内容（健康）指導法			科目コード	C133-21				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	大森 宏一						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもと健康	後継科目	なし						
関連科目	教育課程論、保育内容総論								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	乳幼児期の子どもの「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力」および、「遊びや生活を通して育む保育のあり方」について考えます。運動遊びの模擬保育を実践したり、幼児の生活習慣の形成に役立つ教材について研究するなど、具体的な場面を設定しながら必要な環境の構成や援助等の学びを深めたい。伝承遊びの方法などを演習する。								
学習目標	現代の子どもを取り巻く生活環境の実態や乳幼児期の子どもの発達過程を理解し、それをふまえた運動遊びの指導や生活習慣形成のための環境構成や援助の方法などの実践力を身に付けます。また運動会の企画・立案・運営を通して保育の実践力を身に付けます。さらに伝承遊びの実技ができるようになる。								
キーワード	健康 食育 運動発達 運動遊び 基本的な生活習慣 安全 保育者の援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：近藤幹生監修徳安敦編著 「生活事例からはじめる保育内容健康」青踏社 参考書：倉、大森編者「子どもが育つ運動遊び」みらい 保育所保育指針、幼稚園教育要領								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼児期の運動遊びの大切さ運動会の在り方を理解し自分なりの運動遊びの考えを伝えることができる。								
LO-2	【技能】 乳幼児の心と体の健やかな育ちに必要な保育を構想し、展開する技術を身につけている。伝承遊びについて実技を行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育における現代的な課題(体力の2極化など)を「健康」の関連からとらえ、論理的に考察することができる。運動会の実践や模擬保育などの実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの健康と子どもが育つ環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努めることができる。自分自身の健康に対して高い関心を持つことができさらに向上させようとしている。								
LO-5	【社会性・人間性】 ディスカッションやグループ活動に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	10		30	30			100
LO-1		20							20
LO-2			10		20				30
LO-3		10			10				20
LO-4						10			10
LO-5						20			20
備考	模擬保育の終了時に反省会を行い発表した学生へ口頭でのコメントを行う。ミニツペーパーでの内容について授業中にコメントを行う。 その他：A LO-4 ミニツペーパーによる関心度から考慮する。LO-5 授業態度(グループへの関与)と 企画・立案・運営への参加度とする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、計画、評価、運動会等についての説明）、	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を確認する。	15分
	【復習】運動会の役割について確認しておく。	30分
第2回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（1）	
	【予習】さまざまな鬼ごっこについて調べておく。伝承遊びの技を調べておく。	15分
	【復習】鬼ごっこの進め方と方法を整理しておく。伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第3回	投運動について・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（2）	
	【予習】子どもの運動機能の発達について調べておく(投運動)。伝承遊びの反復練習をする。	15分
	【復習】投運動について整理しておく。伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第4回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（3）	
	【予習】運動会の役割の確認と運営についてグループで確認しておく。	15分
	【復習】伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第5回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割(4)	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認しておく。	15分
	【復習】伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。担当する運動種目の実施にあたり、必要なものを製作・準備する。	30分
第6回	マット運動あそびについて。運動会の実践と保育者の役割（5）プログラム進行の確認、準備	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認しておく。	15分
	【復習】マット運動あそびの補助方法、遊びの種類を整理しておく。担当する運動種目の実施にあたり、改善点に対応し、必要なものを準備する。	30分
第7回	跳び箱運動遊び・運動会の実践と保育者の役割（6）	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認しておく。	15分
	【復習】跳び箱運動遊びの補助方法および内容を整理しておく。運動会の準備をする	30分
第8回	運動会の実践	
	【予習】運動会の意義とあり方について自分の意見をまとめておく。	15分
	【復習】実践した後の反省感想をレポートにまとめる	30分
第9回	運動遊びの教材研究と企画・運営 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考える	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	30分
第10回	運動遊びの教材研究と実践 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考える	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	20分

第11回	運動遊びの教材研究と実践 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考える	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	20分
第12回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考える	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	20分
第13回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考える	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	30分
第14回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考える	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	30分
第15回	まとめ	
	【予習】乳幼児が「健康」であるために、体を動かして遊ぶことや基本的な生活習慣を身につけることの必要性について考えをまとめる。	15分
	【復習】子どもに寄り添い、共感し守り、育てることについてまとめて整理しておく。子どもの健康について、自分なりの考えを整理する	30分



授業科目名	子どもと人間関係			科目コード	C133-30				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	教育課程論 保育内容総論	後継科目	なし						
関連科目	子どもと健康 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	現代の乳幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身に付ける。特に、領域「人間関係」の指導の基盤となる基礎理論を学び、他者との関係や集団との関係の中で幼児期の人と関わる力が育つことを理解する。								
学習目標	<p>幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。</p> <p>乳幼児期における「人とかかわる力」の発達を、関係論的視点で理解する。</p> <p>保育の特性を生かして、乳幼児期の「人と関わる力」を育む視点について理解する。</p>								
キーワード	人とかかわる力 共感性 個と集団 自立心 道徳性 規範意識 協同性 遊び 保育者の役割								
テキスト・ 参考書等	<p>テキスト：『対話的・深い学びの保育内容 人間関係』（萌文書林）、その他適宜プリントを配布。</p> <p>参考図書：『幼稚園教育要領解説』文部科学省（フレーベル館）、『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児期の人とかかわる力の発達を理解し、筆記試験で正しく回答できる。								
LO-2	【技能】 保育場面における子どもの経験と幼児教育において育みたい資質・能力を関連づけて理解することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会の状況と幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」の内容を、関連づけて考えることができる。保育事例を的確に読みとり、保育者の支援内容や方法を検討することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 現代社会における人との関わりの課題を把握し、乳幼児期に必要な保育の内容・方法について、具体的に考察することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 様々な事例を通して、子どもの思いを尊重し、信頼関係の構築に努めることの重要性を理解し、自らの対人態度の基盤とする。グループワークに積極的に参加し、自らの意見をわかりやすく伝えると同時に、他者の意見を受								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	10		10						20
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	<p>その他 A は、授業態度。</p> <p>提出課題に対しては、口頭及び紙面によるコメントを行う。テストについては、紙面等で説明する。</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 自らの人とのかかわりを見つめる	
	【予習】	0分
	【復習】本日講義内容（提示された項目）についてシートにまとめる。 幼児期から現在までの、印象的な人とのかかわりをエピソードでたどる（課題シートの完成）	60分
第2回	現代における人間関係の特徴を捉え、人とかかわる力の育ちについて考える	
	【予習】現代における人間関係の特徴を、3～5個のキーワードで考える。	15分
	【復習】現代社会の人間関係とその背景をまとめる。 現代社会の中で「人とかかわる力」を育むにはどうしたらよいかを文章にまとめてくる。	30分
第3回	領域「人間関係」の変遷を知り、乳幼児に必要とされる保育内容について理解する。	
	【予習】領域「人間関係」の内容を読んでおく。	10分
	【復習】領域「人間関係」の中で、特に強調している事項について、その時期の社会状況と関連付けて整理する。	20分
第4回	乳児期における人とのかかわり 共感性の発達、 集団保育 の視点で考える。	
	【予習】保育所保育指針の保育課程によって人間関係の育ちの道筋を確認する。	10分
	【復習】講義やテキストの内容を参考に、以下の課題レポート（併せてA4 1枚程度）を作成する。 教科書第2章の、1から4までの各項目を読んで、それぞれコメントを簡単に書いてください。	40分
第5回	幼児期における人とのかかわり 仲間入り・いざこざ 幼児期における友達とのかかわりの発達過程を理解する。	
	【予習】配付プリントを再読する。 これまでの実習体験から、いざこざに関わった経験をまとめておく。	15分
	【復習】事例について、読み取ったことをまとめる。 仲間入り・いざこざの発達の意味をまとめる。	30分
第6回	幼児期における人とのかかわり 規範意識・協同性	
	【予習】事前課題について、要点をまとめてくる。	15分
	【復習】事例について、読み取ったことをまとめる。 幼児期の規範意識・協同性の発達過程を知る。	30分
第7回	いざこざ・ケンカを通しての育ち 遊びの中で育つ人とのかかわり 遊びを通して育まれる人との関わりの姿を捉え、援助の方法を考える。	
	【予習】テキスト第5章を読んでおく。	20分
	【復習】課題シートの完成 「DVD1から3」のコメントとシートの下欄「教科書の実習生の事例」欄に、教科書p131から133までの、事例2・3・4について、登場する子どもの姿や心情理解を中心にコメントを書く。	20分
第8回	人とのかかわりを育てる保育の実践 かかわりをつくる【模擬保育】	
	【予習】人とのかかわりをつくる“遊び”を考え、指導計画を作成してくる。	60分
	【復習】人とのかかわりをつくる“遊び”の内容と配慮点を、ノートにまとめる。	30分
第9回	人とのかかわりを育てる保育の実践 個と集団をいかす【模擬保育】	
	【予習】保育所保育指針等の中で、個と集団の関係について述べられている部分をさがし、ノートに書きだす。 集団での活動計画に、個人への配慮の記載を加える。	15分
	【復習】模擬保育についての感想を書く。	30分
第10回	人とのかかわりを育てる保育の実践 地域との交流、行事とおして	
	【予習】地域交流や行事が、人とかかわる力にどのように影響しているのかを考え、文章にまとめておく。 人とかかわる力の発達と保育との関連を考えたいうえでの、疑問点をあげる。	20分
	【復習】課題シートを完成させる。	30分

第11回	人とかかわりを育てる保育者の役割	
	【予習】実習事例をもとに、人とかかわりを育てる保育者の役割を自分なりにあげてみる。 テキスト第3章の4, 6を読む。	20分
	【復習】授業の中で確認した保育者の役割を、実習中のエピソードと関連づけて、課題シートを完成する。	30分
第12回	人とかかわりが難しい子への支援 事例研究（実習における事例をもとに話し合う）	
	【予習】実習の中で出会った人とかかわりが難しい子のエピソードメモをつくる。 テキスト第3章の7 を読んでおく。	20分
	【復習】グループで分担し、発表資料をつくる。	20分
第13回	人とかかわりが難しい子への支援 事例研究（事例での学びを発表する）	
	【予習】発表の準備をする。	20分
	【復習】様々なテーマの中で、1～2個のテーマにしぼり、発表内容から学んだことをまとめる。	30分
第14回	職場における保育者の人間関係	
	【予習】 配布資料の課題を考えておく。	20分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。 課題シートを完成させる。	25分
第15回	乳幼児期の人とかかわりを育む保育内容（まとめ）	
	【予習】これまでのノートを整理し、テキストと関連付けながら読んでおく。	20分
	【復習】これまでの学びをふりかえり、課題レポートの作成を行う。	40分

授業科目名	子どもと環境			科目コード	C133-40				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	梅本 恵						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	子どもは「もの・ひと・こと」とのかかわりを通じて成長・発達する。子どもがどのように環境にかかわっているのかを学び、そのかかわりが領域「環境」に示された経験となるためにはどのような環境の構成と援助が必要であるかを学ぶ。授業においては、直接体験することを重視し、グループワークなど多様な方法で学びを深められるようにすすめる。また、教材研究と作成、それに基づく模擬保育を通じて保育実践力を習得できるようにする。								
学習目標	子どもを取り巻く環境と、子どもの発達にとっての意義を理解する。 幼稚園教育要領に示された保育・幼児教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。 子どもが周囲の環境に自ら関わるために必要な保育者の援助と保育の方法を身に付ける。								
キーワード	領域「環境」 身近な自然 身近な情報 自然体験学習 模擬保育								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『事例で学ぶ保育内容 領域環境』 無藤隆・福元真由美 2021 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所保育指針と幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容について、用語を理解している。								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において子どもが自ら環境に働きかけられるような保育環境を構成し、保育を展開する技術を習得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもが育つために必要な環境について理解し、資源の活用や適切な教材作成ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】模擬保育に意欲的に取り組み、自らの課題を明確にし、保育実践力の向上に取り組む。								
LO-5	【人間性・社会性】グループワークに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30		20	10	30	10		100
LO-1		30							30
LO-2				10		20			30
LO-3				10	10				20
LO-4						10			10
LO-5							10		10
備考	その他 A：ワークシートの作成と振り返り B：グループワークへの取り組み姿勢 子どもの目線で日々周囲の環境をとらえ、感性を磨いてください。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行います。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価の仕方等について） テキストから「お気に入り写真」を見つけ、理由を考える。	
	【予習】	0分
	【復習】授業の全体像を確認する。 「お気に入り写真」と選んだ理由を授業アンケート（問5）に記入する。	30分
第2回	子どもにとっての環境とは 子どもにとって環境とはどのような意味をもつか、子どもが育つために必要な環境とは何かを考える。	
	【予習】テキスト第2章を読み、不明な部分を把握する。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを整理し、要点を確認する。	30分
第3回	自然に親しみ、生き物や植物に触れる（1） 富山市ファミリーパークでの学外授業に向けた事前学習 園内散策コースと「子どもが経験すること」をワークシートにまとめる（グループ活動）。	
	【予習】	0分
	【復習】ワークシートを完成させる。	30分
第4回	自然に親しみ、生き物や植物に触れる（2） 富山市ファミリーパークでの自然体験学習	
	【予習】作成したワークシートの内容をグループ内で確認、共有しておく。 必要な物を準備しておく。	30分
	【復習】	0分
第5回	自然に親しみ、生き物や植物に触れる（3） 富山市ファミリーパークでの自然体験学習	
	【予習】	0分
	【復習】ワークシートに「気づき」「子どもが経験すること」を書き加える。	60分
第6回	子どもと環境とのかかわり（1）身近な自然、動植物	
	【予習】自然体験学習のワークシートを完成、提出する。	60分
	【復習】授業で配布されたプリントを整理し、要点を確認する。	30分
第7回	子どもと環境とのかかわり（2）文字や標識・数量や図形	
	【予習】テキスト第6章を読み、不明な部分を把握する。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを整理し、要点を確認する。	30分
第8回	子どもが自ら環境にかかわるための教材研究・作成 第6・7回授業を踏まえて、フィールドビンゴを作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】フィールドビンゴと教材研究カードを完成させる。	30分
第9回	模擬保育（1）	
	【予習】「保育者」をする人は、指導案を見直し、準備を十分にしておく。 「子ども」をする人は、年齢ごとの発達の特徴を押さえておく。	60分
	【復習】模擬保育の振り返りを行い、改善策を具体的に明らかにする。	30分
第10回	模擬保育（2）	
	【予習】「保育者」をする人は、指導案を見直し、準備を十分にしておく。 「子ども」をする人は、年齢ごとの発達の特徴を押さえておく。	60分
	【復習】模擬保育の振り返りを行い、改善策を具体的に明らかにする。	30分

第11回	子どもと環境とのかかわり(3)もの・道具	
	【予習】テキスト第5章を読み、不明な部分を把握する。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第12回	子どもと環境とのかかわり(4)身近な情報・地域	
	【予習】テキスト第7章を読み、不明な部分を把握する。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第13回	小テスト 子どもが地域に親しむための資源の活用と教材研究 地域の施設、行事などを調べ、子どもに向けて発信する資料を作成する。	
	【予習】保育所保育指針に示された領域「環境」についてよく読み、小テストの準備をする。 自らの地域の行事や施設について調べておく。	90分
	【復習】子ども向けの資料を完成させる。	30分
第14回	子どもが親しむ地域の施設・行事についての発表	
	【予習】資料を整え、発表の準備をする。	30分
	【復習】小テストの結果を踏まえ、理解度を把握する。	30分
第15回	学びのまとめ	
	【予習】	0分
	【復習】授業のプリント等を整理しなおし、欠落等がないか確認する。	30分

授業科目名	子どもと言葉			科目コード	C133-50				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	梅本 恵						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論	後継科目	保育内容(言葉)指導法						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	領域「言葉」の指導の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的な知識を修得する。人間にとっての「言葉」の意義や機能を理解し、乳幼児が言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を豊かにするための教材や実践に関する知識を修得する。								
学習目標	人間にとっての言葉の意義や機能と乳幼児の言葉の獲得過程を理解する。 言葉に対する感覚を豊かにする実践について、乳幼児の発達のと合わせて理解する。 乳幼児にとっての児童文化財の意義を理解し、児童文化財についての基礎的な知識を修得する。								
キーワード	発達と言葉 言葉に対する感覚 言葉遊び 絵本 パネルシアター								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『事例で学ぶ保育内容<領域>言葉』 無藤隆 監修/宮里暁美 編 2019 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』及び『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、用語を理解し、試験で正しく答えることができる。								
LO-2	【技能】児童文化財の意義を理解し、教材を準備・作成する技術を修得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】言葉の感覚を豊かにする実践について理解し、乳幼児の発達に合わせて構想・展開し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】現代社会における乳幼児の育ちと言葉をめぐる課題を把握し、乳幼児期に必要な保育の内容と方法を踏まえた保育実践力の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他者との協働を図る。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		10	10		10	10		100
LO-1	30								30
LO-2				10		10			20
LO-3	20								20
LO-4	10		10						20
LO-5							10		10
備考	その他A：絵本リスト その他B：グループ活動などの取り組み姿勢 授業で配布されるプリント・資料を整理しておくこと。図書館などで意識的に絵本に触れておくこと。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等についての説明)	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	15分
	【復習】授業の全体像を確認する。	30分
第2回	○保育実践の中での絵本(1) 子どもにとっての絵本の意義、絵本の役割、発達過程に合わせた絵本の選択について学ぶ。	
	【予習】乳児向けの絵本を2冊選び、読んでおく。	30分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	15分
第3回	保育実践の中での絵本(2) 指導案に基づき、絵本の読み聞かせ実習を行う。	
	【予習】指導案を完成させておく。	60分
	【復習】絵本の読み聞かせ実習の反省から、指導案の手直しをする。	30分
第4回	乳幼児期の発達と言葉 新生児期から乳児期を中心に、言葉の獲得過程と大人の役割について学ぶ。	
	【予習】テキスト第2章を読み、不明な点を押さえておく。	45分
	【復習】配布された資料を整理し、理解を深める。	45分
第5回	豊かな言葉の経験を広げる保育実践(1) 保育実習 -1で心に残ったエピソードを記述する。 射水市大島絵本館見学のオリエンテーション	
	【予習】実習日誌を読み返す。	15分
	【復習】11/11(水)4限保育実習指導 でエピソード記述を完成させます。 記述するエピソードを事前に選んでおいてください。	30分
第6回	補講 射水市大島絵本館での学外授業 絵本の原画展鑑賞、絵本の閲覧、絵本の手作り体験	
	【予習】移動手段、オリエンテーションの内容をもう一度確認しておく。	30分
	【復習】	0分
第7回	補講 射水市大島絵本館での学外授業 絵本の原画展鑑賞、絵本の閲覧、絵本の手作り体験	
	【予習】	0分
	【復習】「絵本リスト」「手作り絵本の紹介」を完成させて、11/16(月)授業時に提出してください。 完成した手作り絵本を、11/16(月)授業に持参してください。	90分
第8回	豊かな言葉の経験を広げる保育実践(2) エピソード記述を基にグループ討議を行う。エピソード記述から、子どもがどのような言葉の経験をしているのかを考察する。 グループ討議後、班員からの意見を受けて振り返りシートを作成、提出してください。提出課題2	
	【予習】絵本リスト、手作り絵本を完成させて持参してください。 絵本リスト 提出課題1	0分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	30分
第9回	領域「言葉」のねらいと内容 『指針』『教育要領』に示された、保育に関わるねらい及び内容、配慮点を理解する。	
	【予習】『保育所保育指針』の領域「言葉」に関する部分を読んでおく。	45分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	45分
第10回	○「言葉に対する感覚」とは 保育実践ジャーゴンについて	
	【予習】『保育所保育指針』の領域「言葉」に関する部分を読んでおく。	30分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	30分



第11回	言葉に対する感覚を豊かにする乳幼児の遊びの実際 わらべうた・言葉遊びの実習、教材研究を行う。	
	【予習】言葉遊び・わらべうた遊びにはどんなものがあるか調べておく。	45分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	45分
第12回	言葉を育て、想像する楽しさを広げる「児童文化財」とは 児童文化財の種類と特徴、子どもにとっての意義を理解する。 パネルシアターの材料を販売します（不織布1730円、布1020円）。お釣りのないように!	
	【予習】	0分
	【復習】パネルシアターの作成計画を立て、準備を始める。	30分
第13回	保育実践の中でのパネルシアター（1） 保育実践におけるパネルシアターの活用の仕方、作成したパネルシアターの教材研究を行う。 4組は2限に変更です（E504・505講義室）。お間違いなく。	
	【予習】パネルシアターを冬期休業中に作成しておく。 パネルシアター 提出課題 3	180分
	【復習】パネルシアター上演の練習をする。 教材研究を踏まえて、演じる対象年齢を明確にし、発達に合わせた展開を考えてください。	120分
第14回	学びの振り返り エピソード記述発表者は準備をお願いします。 3,4組合同、2限、E703・704で行います。	
	【予習】これまで配布されたプリントを整理し、不明な点を押さえておく。	45分
	【復習】定期試験に向けて、準備をする。	90分
第15回	保育実践の中でのパネルシアター（2） パネルシアターを上演し、見せ合う。（グループ活動） グループごとに所定の講義室に集まり、会場を設営してください。	
	【予習】パネルシアター上演のための準備をしておく。	45分
	【復習】友だちの意見を参考にしながらパネルシアター上演の振り返りを行う。	45分

授業科目名	保育内容（言葉）指導法			科目コード	C133-51				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	梅本 恵						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもと言葉	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』に示された領域「言葉」のねらいと内容についての理解を深める。保育現場で取り組まれている豊かな言葉を育む保育実践について学び、保育者の言葉かけやかかわりについて考察する。さらに、教材研究・指導案の作成と模擬保育を実施し、保育の実践力を身に付ける。また、言葉をめぐる現代的な課題を通して、保育者の役割についても考察する。								
学習目標	乳幼児が発達過程に合った言葉の経験ができるよう、遊びを展開する技術と言語かけや援助の方法を具体的に身に付ける。 乳幼児を取り巻く現代的な言葉の課題をとらえ、保育者の役割についての理解を深める。								
キーワード	伝え合う言葉 文字環境 言葉遊び 保育者の言葉かけ 模擬保育								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『事例で学ぶ保育内容＜領域＞言葉』 無藤隆 監修/宮里暁美 編 2019 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】幼稚園教育要領と保育所保育指針に示された領域「言葉」のねらい及び内容について理解し、発達過程に即して具体化できる。								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において乳幼児が豊かな言葉の経験ができるような、保育構想力、展開技術を習得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育における現代的な課題を領域「言葉」との関連からとらえ、論理的に考察し、適切な言葉で表現できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】模擬保育等に意欲的に取り組み、自らの課題を明確にしなが保育実践力の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】豊かな感受性と共感性をもって、乳幼児への言葉かけができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	20			20	20	20	100
LO-1		20							20
LO-2						20			20
LO-3			20						20
LO-4							20		20
LO-5								20	20
備考	その他A：ワークシート(1日の流れの中での話、言葉遊び、絵本読み聞かせ計画) B:ワークシート(模擬保育等での実践と振り返り) C:エピソード記述 レポート課題の告知は授業で行う。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価の仕方等についての説明） 保育の基本と領域「言葉」 4/6(火)4限：3組 4/7(水)2限：4組	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第2回	伝え合う言葉（1） 事例から子どもたちが言葉で伝え合う過程について考える。	
	【予習】テキスト第3章 §1・2を読み、不明な部分を把握する。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第3回	伝え合う言葉（2） 保育場面における話し合いとそれを支える環境構成について学ぶ。 注意！4組は1限に実施	
	【予習】テキスト第5章を読み、不明な部分を把握する。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第4回	絵本の世界で遊ぶ（1） 絵本の世界で子どもが経験することについて考える。 補講：1限 合同で実施	
	【予習】遊びを展開したい絵本を選び、持参する。	15分
	【復習】授業で配布されたプリントを整理し、理解を深める。	30分
第5回	絵本の世界で遊ぶ（2） 選んだ絵本を基に、遊びの展開図を作成する。	
	【予習】絵本を選び、展開できるごっこ遊びを考えておく。	15分
	【復習】遊びの展開図を完成させる。	30分
第6回	小テスト おはなし（素話）の基本的理解と展開方法	
	【予習】小テストに向けて準備をする（保育所保育指針）。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントを整理し、理解を深める。	30分
第7回	言葉に対する感覚を豊かにする遊び（1） 実践と教材研究	
	【予習】言葉や標識・記号・文字等を使った遊びにはどんなものがあるか調べておく。	30分
	【復習】授業を振り返り、ポイントを再度確認する。	30分
第8回	言葉に対する感覚を豊かにする遊び（2） 実践と教材研究	
	【予習】4回目～7回目の授業を振り返り、模擬保育で取り組む活動を考える。	15分
	【復習】言葉遊びの体験を振り返り、指導案等に生かす。	30分
第9回	園(所)での1日の生活の流れの中での絵本や言葉遊び 全日実習指導案に沿って言葉遊び等を計画する。 注意！4組は1限に実施	
	【予習】言葉遊びの体験を振り返り、実習時に取り組みたい遊びを考えておく。	30分
	【復習】	0分
第10回	模擬保育（1）	
	【予習】「保育者」をする人は、指導案を見直し、準備を十分にしておく。 「子ども」をする人は、年齢ごとの発達の特徴を押さえておく。	60分
	【復習】模擬保育の振り返りを行い、改善策を具体的に明らかにする。	30分

第11回	模擬保育（2）	
	【予習】「保育者」をする人は、指導案を見直し、準備を十分にしておく。 「子ども」をする人は、年齢ごとの発達の特徴を押さえておく。	60分
	【復習】模擬保育の振り返りを行い、改善策を具体的に明らかにする。	30分
第12回	保育者の言葉かけ（1） 保育実習時のエピソード記述を作成する。	
	【予習】実習日誌を読み返し、エピソードを複数選んでおく。	30分
	【復習】エピソード記述を完成させる。	60分
第13回	保育者の言葉かけ（2） エピソード記述を発表し合い、子どもの言葉、保育者の言葉かけ、やり取りを視点に検討する。 授業後、エピソード記述等提出	
	【予習】エピソード記述を見直ししておく。	30分
	【復習】仲間からのコメントを整理し、考察を深める。	30分
第14回	文字との出会いと保育環境 子どもと文字との関わりの実際を知り、文字環境を構成する基本的視点を理解する。	
	【予習】テキスト第6章を読み、不明な部分を把握する。	60分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、整理する。	30分
第15回	現代社会と言葉をめぐる問題 幼児期の文字指導等について幼児教育の基本を踏まえて検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】提出課題：「幼児期の文字指導について」のレポートを完成させる。	60分

授業科目名	子どもと音楽表現			科目コード	C133-60				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	難波 純子						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽表現技術、保育内容総論	後継科目	保育内容(音楽表現)指導法						
関連科目	子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	領域「表現」の指導に関する、子どもの表現活動を豊かに展開するために必要な知識や技術を習得することを目的とする。様々な表現活動を結びつける教材研究や、表現体験を取り入れることによって、子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養うための環境構成と保育の展開について学ぶ。								
学習目標	子どもの「表現の芽ばえ」を発見し、表現を読み取りより豊かな表現の育ちを支えられるよう自らの創造性、感性、表現力を磨く。また、音楽表現を軸として、子どもの興味や関心に沿った教材や、環境構成と保育の展開方法を習得する。								
キーワード	子どもの表現 表現の芽生え								
テキスト・ 参考書等	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育における領域「表現」のねらい及び内容について理解している。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現ができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】音楽表現活動や統合的な表現の意義について考え、感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることができる。また、人前で表現力を発揮することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽表現に関心をもち、演習や発表などに主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの演習などに積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			50						50
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考	なし								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	音を感じよう！音リスト作成	
	【予習】15回分のシラバスを読み、この授業の内容について理解する。	30分
	【復習】自宅周辺の身近な音についてじっくり聴く機会をもち、心地よく生活するための音環境について考える。	20分
第2回	「表現するとは何か」について理解する。 保育所保育指針1歳以上3歳未満児の領域「表現」のねらいと内容について理解を深める。	
	【予習】保育所保育指針解説の領域「表現」のねらいと内容について、特に1歳以上3歳未満児の部分を読んでおく。	30分
	【復習】保育所保育指針解説の領域「表現」のねらいと内容について、1歳以上3歳未満児の部分を読み返す。	30分
第3回	わらべうたについて知る。	
	【予習】日本のわらべうたには、どのようなものがあるか調べておく。 親や祖父母に、子どもの頃どのようなわらべうたで遊んだか尋ねてみる。	20分
	【復習】地域によるわらべうた遊びの特徴についてまとめておく。	20分
第4回	0,1,2歳児向けの手遊びについて知る。 さまざまな手遊びを体験し、自分一人でも人前で披露できるようにする。	
	【予習】0,1,2歳児向けの手遊びにはどのようなものがあるか、本やインターネットの動画などで調べておく。	30分
	【復習】0,1,2歳児向けの手遊びを人前でもできるように、友人や家族の前で披露する。	20分
第5回	保育実習 -1で見てきた子どもの姿について、領域「表現」のねらい、内容と照らし合わせてレポートを作成する。	
	【予習】実習で見てきた子どもの姿について、自身の実習記録を見返して、保育所保育指針と照らし合わせておく。	30分
	【復習】自分の実習記録を読み返して、子どもの姿について振り返る。	20分
第6回	身近な素材で遊ぼう（造形表現とのコラボレーション） 音の出る仕組みを知る	
	【予習】音の出る仕組みについて調べておく。	0分
	【復習】さまざまな楽器に触れ、音の出るしくみについて振り返る。	0分
第7回	言葉と音楽表現（オノマトペ）	
	【予習】日本語のオノマトペにはどのようなものがあるのか調べておく。	30分
	【復習】オノマトペが盛り込まれた絵本を探してみる。	60分
第8回	絵本と表現遊び（音・色・形とイメージ）	
	【予習】園児向けの音・色・形を楽しめる絵本を探しておく。	60分
	【復習】音・色・形を楽しめる絵本を声をだして読む。	20分
第9回	曲づくりの理論について 音で遊ぼう（造形表現とのコラボレーション） 制作した音具を持参して曲づくり	
	【予習】曲のなりたち、曲づくりにおける理論について調べておく。 音具を用いた曲づくりの構想を練る。	60分
	【復習】さまざまな楽譜を見て、曲づくりの理論について振り返る。	30分
第10回	音で遊ぼう（造形表現 とのコラボレーション） 図形楽譜をもとにグループで音具を用いた曲発表	
	【予習】音具を用いた曲の練習。	30分
	【復習】友人が発表していた曲を再現してみる。	20分

第11回	音で遊ぼう（造形表現 とのコラボレーション） 動画を見て振り返る。 ICTを活用した音楽表現について。 YouTubeに動画をアップする方法。	
	【予習】YouTubeに動画をアップする方法を調べておく。	60分
	【復習】他の班の動画を見て、音具を用いた曲について振り返る。	30分
第12回	生活や遊びの中での音楽表現 表現の芽ばえウォッチング（探求）事例紹介	
	【予習】実習先の子どもたちが、生活や遊びの中でどのような表現活動を行っていたか振り返る。	30分
	【復習】子どもの探求の意味について、振り返る。	30分
第13回	音楽レクリエーション（施設実習でできる音楽活動） ・タンバリンで自己紹介 ・トーンチャイムで音のキャッチボール	
	【予習】施設実習でどんなレクリエーションをするか考えておく。	30分
	【復習】施設実習での活動で何ができるか振り返る。	30分
第14回	保育の場における豊かな表現ができる環境とは	
	【予習】幼稚園教育要領 領域「表現」ねらいと内容を読み込んでおく。	30分
	【復習】幼稚園教育要領 領域「表現」ねらいと内容、内容の取扱いを理解し、読み返す。	30分
第15回	総括「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」	
	【予習】「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」について、これまで学んだことをレポートとしてまとめる。	90分
	【復習】「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」について、振り返る。	30分

授業科目名	保育内容（音楽表現）指導法			科目コード	C133-61				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	難波 純子 大村 禎子						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	子どもと音楽表現、音楽表現技術、	後継科目	なし						
関連科目	保育内容（造形表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	乳幼児期に育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されたねらい及び内容について表現と関連させて理解を深め、幼児の発達に即し、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な保育の展開方法について学ぶ。								
学習目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。								
キーワード	子どもの表現								
テキスト・ 参考書等	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育における領域「表現」のねらい及び内容について理解している。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現ができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】音楽表現活動や統合的な表現の意義について考え、感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることができる。また、人前で表現力を発揮することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽表現に関心をもち、演習や発表などに主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの演習などに積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			50						50
LO-2					10				10
LO-3					20				20
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児の表現の姿と関連づけて理解する。	
	【予習】領域「表現」のねらい及び内容について、保育所保育指針を読んでおく。	30分
	【復習】領域「表現」のねらい及び内容について、保育所保育指針を読み返す。	30分
第2回	幼児の発達や学びの過程を理解し、表現活動において育みたい資質・能力について具体的に考える。	
	【予習】幼児の発達や学びの過程について、『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』を読んでおく。	60分
	【復習】幼児の発達や学びの過程について、『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』を読み返す。	60分
第3回	表現活動と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体的に関連づけることを通し、幼児の表現における評価の考え方を理解する。	
	【予習】『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』等の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の部分を読んでおく。	30分
	【復習】『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』等の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の部分を読み返す。	30分
第4回	事例から幼児の心情・認識・思考及び動き等を考察し、幼児が経験し身に付けていく表現の内容と指導上の留意点を理解する。	
	【予習】これまで実習先で出会った子どもたちの姿を思い出すために、自分の実習記録を見返し振り返っておく。	60分
	【復習】今回紹介した、テキストp.40-43の3つの事例と動画から、幼児の心情・認識・思考・動きを考察する。	30分
第5回	幼児期の表現活動と、小学校の様々な教科との学びの連続性について理解し、具体的な実践を考える。	
	【予習】「小学校音楽科」の学習指導要領をwebで検索し、読んでおく。	60分
	【復習】「幼児期の音楽表現活動」と「小学校音楽科」との連携・接続を考える。 豊かな表現につながる言葉掛けや環境構成の重要性、さらに幼児が想いや意図をもって表現することができるような、指導上の留意点は何か？について考える。	30分
第6回	インクルーシブ保育における表現活動の可能性について、具体的な事例を通して理解し、保育構想への活用を考える。	
	【予習】インクルーシブ保育の意味について調べておく。	20分
	【復習】インクルーシブをめざした音楽表現活動を、3・4・5歳児合同の縦割り保育で実施するとしたら、どのような楽器や曲を使って実践しますか。15分から20分程度の活動で保育を構想してみましょう。	60分
第7回	保育実践研究の論文や国内外における音楽メソッドを参照し、音楽表現における保育実践の動向についての知見を深め、保育構想の向上に取り組む。	
	【予習】『最新・幼児の音楽教育』p.56-72を読んでおく。	30分
	【復習】オルフ、コダーイ、ダルクローズ、それぞれの音楽教育が幼児教育においてめざしたものは何か。アンケート【問7】に書き込む。	30分
第8回	指導案作成の構造を理解し、音楽的なねらいについて具体的に考えるとともに、様々な教材研究を行う。 ○モデル指導案『はらべこあおむし』絵本劇場 ○ジャンケン列車の実践	
	【予習】指導案の構想を練る。	60分
	【復習】指導案に関するテキストを読み返し、ねらいと内容の構造について復習しておく。	30分
第9回	3歳から5歳児の音楽表現の指導案を作成して模擬保育を行い、その振り返りを通して保育の改善について考える。	
	【予習】3歳から5歳児の音楽表現の指導案を作成する。	60分
	【復習】実践した上で保育の改善点について、振り返る。	30分
第10回	3歳から5歳児の音楽表現の指導案を作成して模擬保育を行い、その振り返りを通して保育の改善について考える。	
	【予習】3歳から5歳児の音楽表現の指導案を作成する。	30分
	【復習】実践した上で保育の改善点について、振り返る。	30分

第11回	実習先での音楽表現活動について振り返り、その活動においての子どもの育ちについて考える。	
	【予習】リトミックとは何かについて、理解しておく。	20分
	【復習】指導案に関するテキストを読み返し、ねらいと内容の構造について復習しておく。	30分
第12回	リトミック1回目を体験し、保育実践をイメージした上で、保育者の援助について考える。	
	【予習】リトミックとは何かについて、理解しておく。	60分
	【復習】リトミック実践における保育者の援助について、振り返る。	60分
第13回	リトミック2回目を体験し、保育実践をイメージした上で、保育者の援助について考える。	
	【予習】リトミックとは何かについて、理解しておく。	60分
	【復習】リトミック実践における保育者の援助について、振り返る。	30分
第14回	表現活動における情報機器及び教材の活用法について事例を通して学び、実際に体験することを通し、保育構想に活用できるアイデアを考える。	
	【予習】保育における情報機器及び教材の活用法について、どのようなものがあるか調べておく。	60分
	【復習】情報機器及び教材の活用法について、授業で知ったもの以外の保育構想のアイデアを書き留めておく。	30分
第15回	ドキュメンテーションやポートフォリオ等の作成を通して保育を振り返り、幼児の心情や思考についての理解を深め保育構想の向上に取り組む。	
	【予習】保育構想力を高められるよう、自身の実習記録を見返しておく。	30分
	【復習】具体的な指導場面を想定した保育を構想する力が身についたか、振り返る	20分

授業科目名	子どもと造形表現			科目コード	C133-70				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術 保育内容総論		後継科目	造形表現技術 保育内容(造形表現)指導法 子どもと遊び					
関連科目	音楽表現技術 音楽表現技術								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形作品の制作と鑑賞活動や五感を通じた総合的な表現活動に取り組み、体験を通して各自が楽しみながら題材の特性や意義を学びます。乳幼児の造形表現指導において、発達過程や特性を踏まえ保育者が行う援助の方法や在り方について考えていきます。								
学習目標	乳幼児の表現の姿や発達過程を理解する。造形表現の基礎的な知識・技能や様々な表現活動との関連性を学ぶことを通し、乳幼児の表現を支えるための感性を豊かにする								
キーワード	感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「幼児造形の基礎」樋口一成 編著 萌文書林(継続使用) 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の造形表現における発達過程や特徴を理解する。造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現及び統合的な表現活動に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に着けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的・統合的な造形表現に必要な技能を身に着け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動や統合的な表現の意義、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作をすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形や統合的な表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、表現活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10						10
LO-2				20					20
LO-3				20					20
LO-4			10	10		15			35
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形活動の発達段階	
	【予習】 幼児が絵を描く姿の観察とその絵を鑑賞し、レポートを作成する。 レポート提出	90分
	【復習】	0分
第2回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形表現の特徴・様式。 ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	保育実習 - 1 に向けて 教材制作 0,1,2歳児を対象とする手作り教材を制作する。	
	【予習】 0,1,2歳児を対象とする手作り教材について調べる。	30分
	【復習】	0分
第4回	保育実習 - 1 に向けて 実演 0,1,2歳児を対象として、スケッチブックシアターを使って自己紹介をする。	
	【予習】 実演の練習をする。	40分
	【復習】 授業での実演を振り返り、実習に向けた実演練習をする。	40分
第5回	鑑賞 1 美術館見学（美術館の役割と利用方法、作品鑑賞における心構え・マナー） 3,4回は連続して実施。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	鑑賞 1 美術館見学（企画展・常設展 作品鑑賞）	
	【予習】	0分
	【復習】 作品鑑賞についてのレポートを作成する。 レポート提出	90分
第7回	素材と表現：自然素材を使って・季節の変化と材料 どんぐり、まつぼっくり 作品提出	
	【予習】 遊びや製作に使用する材料を屋外で収集する。	60分
	【復習】 保育実習 - 1 で見学した作品や展示方法・環境に関するレポートを作成する。 レポート提出	90分
第8回	素材と表現：自然素材を使って・季節の変化と材料 落ち葉 作品提出	
	【予習】 拾った落ち葉を新聞紙にはさみ、押し葉を作る。	30分
	【復習】	0分
第9回	素材と表現：自然素材を使って・季節の変化と材料 落ち葉、小枝、木の実など 作品提出	
	【予習】 製作に使用する追加材料を準備する。	15分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、表現活動を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第10回	表現について考える : 見えないものを描く 聴覚・味覚・嗅覚・触覚・から感じたことを表現する。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】 振り返りワークシートに取り組む。	30分

第11回	表現について考える : 音をさがす グループ活動 さまざまな素材と関わりながら音を見つける ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音を楽しむ音具の製作」 材料との出会いと音の発見	
	【予習】音具に使いたい、材料を準備する。	30分
	【復習】	0分
第13回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音を楽しむ音具の製作」 音具完成 作品は保育内容(音楽表現) で使用する。	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】	0分
第14回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音楽表現」授業で作った曲を図形楽譜として表す。	
	【予習】	0分
	【復習】各グループの音具と図形楽譜の鑑賞	20分
第15回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェ作品の解体とワークシート記入	
	【予習】	0分
	【復習】レポート作成: 合同授業での取り組み「表現」について	60分

授業科目名	保育内容（造形表現）指導法			科目コード	C133-71				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	中山 里美						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	造形表現技術 子どもと造形表現	後継科目	子どもと遊び						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	グループによる模擬保育体験と製作活動を中心に行います。造形表現活動を通して、乳幼児が生き生きと参加できるねらいの設定、題材の工夫や展開方法、適切な援助や働きかけについて考えていきます。								
学習目標	領域「表現」のねらい及び内容について、造形表現活動を通して理解を深める。乳幼児の発達や学びの過程を踏まえ、具体的な指導場面を想定した指導と保育を構想する方法を身に付ける。								
キーワード	感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「幼児造形の基礎」樋口一成 編著 萌文書林（継続使用） 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児における造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形の指導計画を立てることができる。造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に付けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身に付け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児における造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えて計画したり、実践したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動・模擬保育や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10	10					20
LO-2				20					20
LO-3			10	10					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他Aは、授業に取り組む姿勢、態度。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 造形表現指導における保育者の役割	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	模擬保育 指導計画について・活動形態・環境と援助について	
	【予習】「幼児造形の基礎」P42～48を読み、活動の目的や題材の選定、指導計画や指導案の作成におけるポイントや留意事項を確認する。	30分
	【復習】	0分
第3回	模擬保育 身近な材料を使った造形作品や玩具の製作	
	【予習】	0分
	【復習】製作した作品の材料、製作方法、留意点等をワークシートにまとめる。 ワークシート提出	45分
第4回	模擬保育 指導計画作成と材料や教材の準備 1題材の設定	
	【予習】造形活動の参考となる資料や作品を準備する。	40分
	【復習】	0分
第5回	模擬保育 指導計画作成と材料や教材の準備 2指導計画の作成	
	【予習】	0分
	【復習】グループで検討した指導計画の指導案を作成する。	60分
第6回	模擬保育 指導計画作成と材料や教材の準備 3指導計画の検討と準備	
	【予習】試作のための材料と資料を準備する。	30分
	【復習】	0分
第7回	模擬保育 グループA - 模擬保育	
	【予習】	0分
	【復習】模擬保育実施後の考察や感想をまとめる。 指導案提出	30分
第8回	模擬保育 グループB - 模擬保育	
	【予習】	0分
	【復習】模擬保育実施後の考察や感想をまとめる。 指導案提出	30分
第9回	模擬保育 事後研究（相互、自己評価）	
	【予習】	0分
	【復習】保育実習・ に向け、新たな造形活動の計画を立て、指導案を作成する。	150分
第10回	模擬保育 評価・展示方法について	
	【予習】実習で取り組んだ活動や実習園の作品展示環境等をまとめる。 レポート提出	60分
	【復習】	0分

第11回	行事と造形（七夕）：素材の特性を生かした七夕飾りの製作をする。	
	【予習】	0分
	【復習】オリジナルの七夕飾りを完成させる。展示し、相互鑑賞する。 作品提出	60分
第12回	紙の造形 - 紙工作の技法 切る・ちぎる・折る・曲げる	
	【予習】	0分
	【復習】配布されたプリントを参考にして試作する。	60分
第13回	紙の造形 - メッセージカードの製作 仕掛けづくり	
	【予習】	0分
	【復習】作りたいカードのデザインを考える。	40分
第14回	紙の造形 - メッセージカードの製作 装飾	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	紙の造形 - メッセージカードの製作 完成 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】メッセージカードを相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分



授業科目名	子どもと遊び			科目コード	C133-80				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	中山 里美 石動 瑞代 梅本 恵 難波 純子 大森 宏一					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育内容総論		後継科目						
関連科目	子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	園生活における行事が、子どもが自ら環境に働きかけ、人と交流しながら活動する“遊び”の延長線上にあることを理解する。また、子どもの系統的発達をふまえた遊びの選定・展開によって、行事を教育的価値の高い活動へと導く方法を身に付ける。								
学習目標	1) 遊びの連関性によって、行事が展開される過程を理解する。 2) 5領域の総合的展開によって、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を理解する。 3) 模擬保育を通して、5領域の総合的展開をはかる指導方法を身に付ける。								
キーワード	子どもの遊び 主体的・対話的で深い学び 系統的発達 継続的活動(プロジェクト) 協同性								
テキスト・ 参考書等	『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレーベル館)、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省(フレーベル館) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省編(フレーベル館) その他適宜参考資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】子どもの遊びに見られる系統的発達を理解する。子どもの興味・関心から生まれる継続的な遊びが、行事として園生活に取り込まれていることを理解する。								
LO-2	【技能】模擬保育を通して、ねらい・内容に沿った遊びを総合的に指導する方法を身に付ける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの系統的な発達を支える活動や環境を選択し、モノや人との関わりを深めるための援助を展開する方法を指導計画にまとめることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの経験から5領域にわたる総合的な育ちを捉え、対話的で深い学びへと向かうプロセスを見通すことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】模擬保育に協同的に参加し、適切な評価を行うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		30	10			100
LO-1			20						20
LO-2					30				30
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は、授業の参加態度とする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	遊びの継続性と行事における学び（5領域の総合的展開による生活体験での学び）	
	【予習】	0分
	【復習】 授業内容をノートにまとめる。レポート課題に取り組む。	60分
第2回	子どもの運動遊びと運動会	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	運動遊びの選定と展開（発達に応じた種目の検討及び運動量、経験できる動き）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	運動会の運営について（空間、時間、用具等の環境設定、集団の動き、役割分担など）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	模擬運動会の実施	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	模擬運動会の振り返り	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	子どもの発達と劇遊び（絵本やお話の世界で遊ぶことの意味）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	劇遊びの題材の選定と遊びの展開（遊びの展開図の作成）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	劇遊びと人間関係（ごっこ遊び、子どもが主体となる話し合い）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	劇遊びと言語表現（言葉のおもしろさ、やり取りする楽しさ）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	劇遊びと身体表現（歌を作る、リズム遊び）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	0分
第12回	劇遊びと製作活動（子どもとともにつくる環境構成）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	0分
第13回	劇遊びの脚本としてまとめる（第7回から10回までの授業をふまえて）	
	【予習】	0分
	【復習】模擬保育の準備をする。	0分
第14回	劇遊びの模擬保育	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポート（模擬保育の振り返り）を作成する。	0分
第15回	劇遊びの模擬保育、振り返り	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成（振り返りシート、まとめ課題）	0分

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	石動 瑞代 松居 紀久子						
実務経験	児童相談所職員として、乳児の発達相談にあたった7年間の勤務経験をもとに、乳児期の育ちや保育方法について基本的な知識を教授する。また、現付属みどり野幼稚園長として、幼児の育ちからみた乳児期の大切さについて解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	乳児保育						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	乳児保育が社会と密接な関係にあることをふまえ、乳児保育の意義について学びます。また、乳児期の発達の特徴に応じた具体的保育方法や運営体制について考えます。基本的な乳児保育の技能の基礎となる知識・理論を身につけていきます。								
学習目標	乳児保育をめぐる社会状況を理解し、乳児保育の意義について理解する。 乳児期の発達の特徴を理解し、発達に応じた環境や保育方法について考えることができる。 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。								
キーワード	乳児 三歳児神話 生命の保持 情緒の安定 発育・発達を踏まえた保育 職員の連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『見る・考える・創りだす 乳児保育』 CHS子育て文化研究所（萌文書林） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編（フレーベル館）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳児期の発達の特徴について理解し、試験で正しく回答することができる。また、乳児の生活・遊びを支援するために必要な基礎的事項について説明できる。								
LO-2	【技能】 乳児の生活や遊びを支える教材を、適切に選択・活用する方法を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 乳児保育をめぐる社会状況をふまえて、乳児保育の意義を自らの視点で考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等の把握に努め、乳児の発達支援技術の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】 乳児の主体性を尊重した保育援助や関わりを考えることができる。他者と協働しながら、遊びや生活の生活支援の方法を検討できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40	45	5		10			100
LO-1		40	15						55
LO-2				5					5
LO-3			10						10
LO-4			20						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は授業態度とする。 提出課題に対しては、口頭及び紙面によるコメントを行う。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児とは何か オリエンテーション 石動	
	【予習】 郵送された資料に目を通しておく。	5分
	【復習】 課題シートを完成させる。	10分
第2回	第2回授業に参加する 2020年5月12日 01:15 PM	
	【予習】 パスワード: Nyu2 乳幼児の健康について検索しておく。	15分
	【復習】 日々の健康管理を実践する	30分
第3回	3歳未満児の生活と環境 松居 Zoomミーティングに参加する https://zoom.us/j/95418390743?pwd=UWFiVllycWFWMkIK1YrTXplWWhZz09 ミーティングID: 954 1839 0743	
	【予習】 生活環境を整えるための準備を検索する。	15分
	【復習】 授業から興味を持ったことを整理する。	30分
第4回	乳児保育の社会的役割 石動 子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題、乳児保育の意義について 時間: 2020年5月26日 01:10 PM	
	【予習】 第1回の講義で提示されたテーマについて、自分の意見をまとめる パスワード: Nyu4	15分
	【復習】 乳児保育の社会的役割について、整理してまとめておく。 石動担当授業を通して考えた、3歳児までの子育てについての自分なりの考えをまとめてレポートとする。 用紙は 課題レポート用紙等に手書きでもよいし、別添の様式で作成してもよい。提出は、次回登校日。プリンタがない場合は、ウェブシラバス課題4に提出しても	45分
第5回	3組6/2(火)2限 4組6/5(金)2限 松居 3歳未満児の発達理解と保育 運動機能の発達と保育環境	
	【予習】 教科書の該当部分を読んでくる。	15分
	【復習】 3歳未満児の運動発達について、整理してまとめる	20分
第6回	6/9 3組 6/12 4組 松居 3歳未満児の発達理解と保育 認知機能の発達と保育環境 DVD おむつ	
	【予習】 乳児の発達について学習する。	50分
	【復習】 課題内容を、再確認する。	10分
第7回	6/16 3組 6/19 4組 松居 3歳未満児の生活と環境 排泄と食事	
	【予習】 排泄及び食事に関する商品について調べてくる。	30分
	【復習】 3歳未満児の生活を支える用具や環境についてまとめる。	15分
第8回	時間: 2020年6月20日 09:00 AM 第8回授業に参加する	
	【予習】 パスワード: Nyuji8 3歳未満児の睡眠や衣類、衛生に関する商品について調べてくる。	30分
	【復習】 3歳未満児の睡眠や衣類、衛生に関する商品についてまとめる。	15分
第9回	3歳未満児の運動機能発達 3組 6月30日 4組 7月2日	
	【予習】 教科書の該当部分を読んでくる。	15分
	【復習】 発達表のポイントを整理する	30分
第10回	3歳未満児の精神的な発達 3歳未満児の遊びと環境 人とのかかわりを基本とする遊び 3組 7月7日 4組 7月9日	
	【予習】 人とのかかわりの発達について、確認する。	15分
	【復習】 人とのかかわりを基本とする遊びのメニューを増やす(課題シート記入)	30分

第11回	3歳未満児の遊びと環境 コミュニケーション 自然とのかわり 3組 7月14日 4組 7月16日	
	【予習】乳児にふさわしい手遊びを考える。コミュニケーション人形の案を考える。自然との関わりが3歳未満児の発達に与える影響について考えてくる。	20分
	【復習】コミュニケーション人形を完成する。	30分
第12回	3歳未満児の遊びと環境 ものとのかわりを基本とする遊び（保育教材の活用など） 3組 7月21日 4組 7月23日	
	【予習】歌遊びや絵本など、3歳未満児にふさわしいと思われる教材を調べてくる。	30分
	【復習】3歳未満児の遊びを促す保育教材についてまとめる。	30分
第13回	3歳未満児の発達に応じた援助や関わりポイントを一覧表として作成する（生活面での発達と援助を中心に）。 遠隔 7月22日（水）4限 補講です	
	【予習】課題シートの運動や認知についての記載を整理しておく。生活と環境（松居先生の授業）で学習した内容を確認しておく。 パスコード: Nyuji13	30分
	【復習】発達の一覧表を作成する。 提出期限 8月7日（金）17時まで 提出先 石動研究室前	30分
第14回	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮、3歳以上児への移行時期の配慮 発達支援・生活支援を振り返る（確認テスト 30分） 3組 7月28日+8月4日 4組 8月4日*8月6日	
	【予習】確認テストの準備をする。 1 - 4 説明用 安全教科書	30分
	【復習】子どもの発育・発達と生活や遊びとの関連を整理して理解する。望ましい保育士の援助や配慮を再確認する。	30分
第15回	乳児保育の実際 保育の環境、ディリープログラムと職員の連携 安心・安定・安全な生活のために 3組 7月28日+8月4日 4組 8月4日+8月6日 お知らせ 夏休みの課題	
	【予習】教科書の該当部分を読んでおく	15分
	【復習】これまでの学びをまとめる。課題を仕上げる 提出締め切り 8月7日（金）	60分

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-11				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	乳児保育	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	実習での体験等を中心に、乳児保育における援助の目的や方法、保育者のあり方について、グループワーク中心に考察し、理解を深めていきます。また、親子関係や幼児期以降の発達にも目を向け、乳児保育をテーマ別に深く学んでいきます。								
学習目標	乳児保育の実際を理解する。 実際の保育場面に即した、乳児保育の関わりや方法、配慮について、考察することができる。 発達理論や保護者支援など、多面的な視点で乳児保育を考える。								
キーワード	認知発達と遊びの関係 応答的保育 親子関係 保育実践のふりかえり								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『見る・考える・創りだす 乳児保育』 CHS子育て文化研究所（萌文書林） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編(フレーベル館)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼児期を見通した乳児の発達を理論的に理解し、筆記試験で正しく回答することができる。								
LO-2	【技能】 乳児保育の知識をふまえ、発達に合わせた教材を製作することができる。乳児への応答的保育の内容を理解し、場面による具体的な応答方法や態度を習得する。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 実習経験と乳児保育に関する知識を関連付けて考察し、適切な保育内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 「親子関係」の視点で、乳児期の保育をとらえ、必要な支援や留意点を考察することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 自らの実習経験を他者に的確に伝えると同時に、他者の経験に耳を傾け、自らの学びにつなげようとする。他者と協働し、互いに学び合った内容を、わかりやすく発表する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	10	40			10			100
LO-1	20	10							30
LO-2			20						20
LO-3	10		10						20
LO-4	10								10
LO-5			10			10			20
備考	その他 A は 授業態度 提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、定期テストは模範解答を示す。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児保育の教材活用について	
	【予習】前期の授業をふまえて製作した教材の、利用方法をまとめ、発表の準備をする。	10分
	【復習】自分が製作した教材及びその活用法を評価する。他の学生の教材を見て学んだことを文章にまとめる。	30分
第2回	乳児保育の記録 乳児の姿をとらえる、 保育者の意図をとらえる	
	【予習】乳児保育 で学んだ知識及び実習関連の科目で学んだ「記録の方法」に関する知識を、確認しておく。これまでの実習記録で、保育者の意図を捉えた部分を確認しておく。	15分
	【復習】講義ノート（記録の視点）について、まとめる。	20分
第3回	乳児保育の記録 保育環境の構成 子どもの発達と保育者の援助	
	【予習】乳児の保育室の特徴についてまとめる。	20分
	【復習】他者の意見もふまえて、乳児の発達と物的・人的環境との関わりについて考える。	20分
第4回	乳児保育の実際 実習の振り返り 生活を支える環境と援助	
	【予習】実習経験などをふまえて、乳児の生活を支える環境と保育者の援助について、気づきをまとめる。	20分
	【復習】他者の意見もふまえて、乳児の保育室の環境構成のポイントをまとめる。	20分
第5回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（グループワーク）	
	【予習】3歳未満児実習で学んだ内容を、テーマごとにまとめる。	20分
	【復習】グループで話し合いを基にした、発表資料をつくる。	25分
第6回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表資料の作成）	
	【予習】グループ発表の準備をする。	30分
	【復習】自分のグループの発表準備を通して、新たに得た気づきをまとめる。 授業アンケートの記載 (1)(2)(3) はグループ活動の評価 (7)の自由記述は、自分がグループで果たした役割について書く	15分
第7回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表準備）	
	【予習】グループの発表資料完成及び発表内容の決定に向けて準備する。	10分
	【復習】実習で得た乳児保育についての学びをまとめる。	30分
第8回	乳児保育の実際 実習の振り返り（発表） 乳児保育の保育者のあり方（第14回予定分）	
	【予習】発表内容を自分の言葉でまとめておく。 課題シートの完成	15分
	【復習】他班の発表資料を確認し、学びを確認する。 3組発表資料 4組発表資料	30分
第9回	乳児の発達と保育 発達理論と保育課題（ピアジェとヴィゴツキー 感覚運動期や発達の最近接領域と足場づくり）	
	【予習】	0分
	【復習】ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」と「足場作りのポイント」についてまとめる。 課題シートを仕上げる。	30分
第10回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 愛着をめぐって 小テスト実施	
	【予習】小テストのための学習準備をする。	40分
	【復習】小テストの問題内容を再度、確認しておく。	20分



第11回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 気質・障害をめぐって	
	【予習】教科書(基礎理論) 乳幼児期の心身の発達 3 人間関係の発達 を読んでおく。	15分
	【復習】講義の内容をノートにまとめる。	20分
第12回	乳児保育における子どもの発達・親の発達1 - 親子をつなぐ遊び	
	時間: 2021年1月7日 02:45 PM	
	【予習】パスコード: 323654 家庭ですすめたい乳児の遊びを調べる<次回の予習>。	20分
	【復習】発表シートを完成する。	20分
第13回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 遊びの紹介発表	
	時間: 2021年1月13日 10:45 AM	
	【予習】小テストについて お知らせ パスコード: Nyu13	20分
	【復習】親子をつなぐ遊びの概要と、紹介のポイントをまとめる。 課題シート 課題1に提出してください。もし、できなければ、来週月曜日紙面でもOK	20分
第14回	乳児保育における保育者のあり方	
	【予習】乳児保育における保育者のあり方について、自分の意見をまとめる。	20分
	【復習】講義の内容をノートにまとめる。	20分
第15回	乳児保育で大切なこと(まとめ)	
	時間: 2021年1月23日 10:45 AM	
	【予習】これまでのノートの内容を、確認する。 パスコード: Nyu15	20分
	【復習】これまでの学びの内容をまとめ、定期試験に備える。 試験について	120分

授業科目名	特別支援論			科目コード	C135-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	河崎 美香						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	特別支援論						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	特別支援教育を支える理念や制度、歴史的変遷を踏まえて、それぞれの障害の種類、原因、主な特性について理解し、特別の支援を必要とする子どもの理解と保育の在り方について考察する。インクルーシブ保育に必要な知識の習得を通して、保育者としての資質の向上を目指す。								
学習目標	1 特別支援教育を支える理念等について理解する。 2 障害に関する基礎知識を習得する。 3 特別の支援を必要とする子どもを含めた保育展開における環境設定の工夫や具体的配慮ができる実践力を身につける。								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、インクルーシブ保育、特別支援学級、通級による指導、個別の教育支援計画、保護者支援、障害の受容、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、言語障害、情緒障害、発達障害、自閉症スペクトラム								
テキスト・ 参考書等	伊丹昌一編著 「インクルーシブ保育論」 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	乳幼児期における様々な障害に関する基礎知識と特別支援教育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、特別の支援を必要とする子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	特別の支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座を有している。								
LO-4	特別の支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と特別の支援を必要とする子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			20	30		100
LO-1			10				5		15
LO-2			10			5	5		20
LO-3			10			5	10		25
LO-4			10			5	5		20
LO-5			10			5	5		20
備考	その他のAは平常点(毎回の授業時の演習や小レポート及び受講態度等) Bは演習時の主体的参加や振り返りシートにより評価								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等について説明) 特別支援教育を支える理念、障害の概念、障害児保育の歴史の変遷について	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。 テキスト第1章 レッスン1(P2-P10)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、障害の概念と歴史の変遷について整理する 提出課題 Google formで提出してください。	90分
第2回	インクルーシブ保育 インクルーシブ保育という概念が生まれた経緯、インクルーシブ保育とは何か	
	【予習】テキスト第1章 レッスン2(P11-P21)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育について整理する 提出課題	90分
第3回	身体面の支援の必要な子どもの理解と援助 身体面の支援が必要な子ども理解、保育場面における援助等 Tokubetsu3	
	【予習】テキスト第2章 レッスン3(P24-P30)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、身体面の支援の必要な子どもの援助について整理する 演習・課題プリント 提出は へ	90分
第4回	感覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 感覚について、感覚面の支援が必要な子どもの理解、保育現場における援助等 Tokubetsu4	
	【予習】テキスト第2章 レッスン4(P31-P38)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、感覚面の支援の必要な子どもに対する援助について整理する 演習・提出課題 へ提出	90分
第5回	知的な面の支援の必要な子どもの理解と援助 知的障害のとらえ方、子どもの理解を助ける保育現場における援助等 Tokubetsu5	
	【予習】テキスト第2章 レッスン5(P40-P47)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、知的な面の支援の必要な子どもの援助について整理する 演習・提出課題 へ提出	90分
第6回	愛着・コミュニケーション面の支援の必要な子どもの理解と援助 愛着やコミュニケーションに課題のある子どもの理解と保育現場における援助等 Tokubetsu5	
	【予習】テキスト第2章 レッスン6(P48-P57)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、愛着形成や言語・コミュニケーションについて整理する 演習・提出課題 へ	90分
第7回	視覚面、聴覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 視覚面、聴覚面の支援の必要な子どもの理解、保育現場における援助、専門機関との連携 Tokubetsu5	
	【予習】視覚障害、聴覚障害について文献等を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、視覚障害、聴覚障害について学んだことを整理する 提出課題 へ	90分
第8回	行動面・学習面の支援の必要な子どもの理解と援助 ADHD、LDのある子どもの理解、疑似体験、保育現場における援助等 Tokubetsu5	
	【予習】テキスト第2章 レッスン7(P58-P64)を読む ボタンのたくさん付いた洋服を着てくる。手袋(スノー手袋か軍手)持参してください。	90分
	【復習】授業内容を確認し、疑似体験を通して学んだことを整理する 提出課題 へ	90分
第9回	情緒面の支援の必要な子どもの理解と援助 情緒面の支援の必要な子どもの理解、場面緘黙、保育現場における援助等 Tokubetsu5	
	【予習】テキスト第2章 レッスン8(P66-P72)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、情緒面の支援の必要な子どもの援助について整理する 提出課題 へ	90分
第10回	個別の指導計画の作成、保育計画の実践と評価 個別の指導計画とは何か、作成手順、保育計画の実践、評価 Tokubetsu5	
	【予習】テキスト第3章 レッスン9(P76-P87)を読む テキスト第3章 レッスン12(P111-P119)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、個別の指導計画の作成手順であるPDCAサイクルについて整理する 提出課題 へ	90分

第11回	特別の支援を必要とする子どもの内面の育ち 子どもの行動観察や保護者からの情報等によるアセスメント、目標設定、援助の実際 Tokubetsu5	
	【予習】前時までの授業内容を確認する	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する 提出課題 へ	90分
第12回	子どもの発達を促す生活や遊びの環境 子どもが分かりやすく居心地のよい環境設定、保育の場、発達支援の技法等 Tokubetsu5	
	【予習】テキスト第3章 レッスン10 (P88～P98)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、子どもにとって分かりやすく居心地がよい環境について整理する 提出課題 へ	90分
第13回	保護者や家族に対する理解と支援 特別の支援を必要とする子どもの保護者支援、障害受容、特別の支援を必要とする子どもを取り巻く家族の理解と支援 Tokubetsu5	
	【予習】テキスト第4章 レッスン13 (P126～P133)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、保護者の障害受容に関する文献を読む 演習・提出課題 へ	90分
第14回	地域の専門機関等との連携と小学校等との連携 地域の関係機関との連携、連携の実際、小学校との連携、引継ぎ書の作成 Tokubetsu5	
	【予習】テキスト第4章 レッスン14 (P134～P142)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、専門機関等や小学校等との連携について整理する 演習・提出課題 へ	90分
第15回	特別の支援を必要とする子どもをめぐる法整備、わが国のインクルーシブ保育の課題と展望 授業のまとめ	
	【予習】テキスト第4章 レッスン15 (P144～P152)を読む これまでの学習内容を確認し、まとめる。	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育の課題と展望について整理する 自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する。 本日の提出課題 へ	90分

授業科目名	特別支援論			科目コード	C135-21				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	嶋野 珠生 北川 忠						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	特別支援論	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	インクルーシブ保育に関わるさまざまな課題について、特に富山県内の支援現場での実践に基づいた理解を深め、保育現場での実践に基づく問題を提起し、それらの解決策をグループによる討議や調べ学習を通して探り、発表する。								
学習目標	1 インクルーシブ保育を支える理念や歴史の変遷を知り、インクルーシブ保育の重要性を理解する。 2 障害の種別や障害に応じた保育展開への理解を深め、具体的な援助方法、環境設定についての実践力を身につける。 3 子どもの将来を見据えた、保育の記録や計画の立案について理解する。 4 関係機関との連携など、援助を必要とする子どもの保育に関する実践的な内容や保護者支援の在り方を理解する。								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、障害児保育、個別の教育支援計画、個別の指導計画、インクルーシブ教育・保育、多様性、発達障害、自閉症スペクトラム、学習障害、注意欠陥多動性障害、特別な支援ニーズのある子ども、保護者支援、ベ								
テキスト・ 参考書等	教科書 尾崎康子他「よくわかるインクルーシブ保育」ミネルヴァ書房 教科書 浜谷直人他「多様性がいきるインクルーシブ保育」ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	インクルーシブ保育に関する基礎知識とインクルーシブ保育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、障害等支援を必要とする子どもが保育園・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	学修した知識や技術を、支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について応用して考え、自分なりの対応を試みることができる。								
LO-4	支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができるために、仲間と積極的に共同的な学びがで								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		40			10	10		100
LO-1	10		5						15
LO-2	10		10						20
LO-3	10		15						25
LO-4	10		10			5	5		30
LO-5						5	5		10
備考	その他 A は平常点（出席及び受講態度等） Bは演習時の主体的参加や振り返りシートにより評価								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション インクルーシブ保育とは 特別支援教育とは（嶋野） 連載「障害のある子と生きる家族が伝えたいこと」 かるがもCPキッズHP	
	【予習】教科書 まえがき を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライドの見直し、教科書 pp4-7と40、教科書2まえがきを読み復習する。 第1回授業スライド	40分
第2回	インクルーシブ保育の園内保育体制（嶋野） 世界自閉症啓発デー4月2日	
	【予習】教科書 第 部第1章を読んでおく。 どの子どもも活動に参加する、排除しないとはどういうことなのか？考える。	30分
	【復習】授業スライドの見直し、教科書 pp20-21,26-27、教科書 第 部第1章を読み復習する。 #2授業スライド	40分
第3回	インクルーシブ保育を実践する上での保育者の専門性（嶋野） NHKニュース2021/4/9ぼくは勉強がしたい（学習障害について） ダウン症児を育てるママに希望を	
	【予習】教科書 第 章第1部を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。 #3授業スライド インクルーシブ教育動画	40分
第4回	インクルーシブ保育の対象の理解（1）（嶋野） 特別な支援ニーズのある子どもとは 外国籍、性的マイノリティ、貧困、虐待	
	【予習】教科書 pp.14-17 教科書 第 部第3章読んでおく。 AERA2021/4/5 「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」が映画化 東海テレビCM LGBT	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。 韓国のインクルーシブ保育（奥田さん作成） #4授業スライド	40分
第5回	インクルーシブ保育の対象の理解（2）（嶋野） 特別な支援ニーズのある子どもとは 発達障害	
	【予習】教科書 pp.8 - 13 教科書 第 部第2章読んでおく。 AERA2020/7/11大反響発達障害のCM 当事者ラッパーGOMESSが託した思い	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。 イギリスのインクルーシブ保育スライド（竜川さん、佐伯さん） #5授業スライド	40分
第6回	富山県内の発達障害児者への支援の現状（北川）	
	【予習】	30分
	【復習】授業のスライド、資料を見直して復習。	40分
第7回	日本におけるインクルーシブ保育の展開（嶋野） 倫理的考え方、合理的配慮	
	【予習】教科書 p40、p32-37読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。	50分
第8回	「療育現場での実践」（北川）	
	【予習】	60分
	【復習】授業のスライド、資料を見直して復習。	60分
第9回	インクルーシブ保育を実現する保育の工夫1（嶋野）	
	【予習】教科書 p80-93 読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。 アメリカのインクルーシブ保育（奥井さん作成） ハンガリーのおインクルーシブ保育（田村さん、吉野さん作成）	50分
第10回	「『ひとりじゃないよ』に込められた想い」（北川）	
	【予習】『ひとりじゃないよ』3冊を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、「ひとりじゃないよ」冊子を読み返し復習する。	40分

第11回	インクルーシブ保育を実現する保育の工夫2 (嶋野) 保育環境の構成(吉野さん作成) 環境としての保育者(奥井さん作成)	
	【予習】教科書 p94-108を読んでおく。	30分
	【復習】#11授業スライド、ワークシート、教科書の見直しをして復習。	50分
第12回	「ペアレントトレーニングを学んでみましょう」(北川)	
	【予習】『ひとりじゃないよ』3冊を読んでおく。	30分
	【復習】授業資料を見直し復習する。	50分
第13回	「支援者(保育士)を目指すあなたへのメッセージ」(北川)	
	【予習】	30分
	【復習】授業スライド、資料を見直す。	50分
第14回	子どもたちが集団の中で育ちあうインクルーシブ保育の実際 (嶋野) 教科書 実践事例から学ぶ(1)	
	【予習】保育実習で観察してくること。気になる子どもを保育者がどのようにクラスの仲間として参加できるような配慮を行っているか、という観点から。物的環境、人的環境という2点から見てくること。	30分
	【復習】授業スライド資料を見直す。	50分
第15回	子どもたちが集団の中で育ちあうインクルーシブ保育の実際 (嶋野) 教科書 実践事例から学ぶ(2)	
	【予習】教科書 実践事例 p.83-118 を読んでおく。	30分
	【復習】振り返りシート提出: 本日学んだ実践事例から、"子どもたちが集団の中で育ち合うために、子どもをまとめるのではなく、対話できる関係に子ども同士をつなぐのが保育者の役割である" という意味について、あなたの理解したことを200字程度で記述してください。	100分

授業科目名	社会的養護			科目コード	C135-30				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	明柴 聡史						
実務経験	保育所保育士、児童養護施設保育士、心理担当職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、基幹的職員								
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	社会的養護	後継科目							
関連科目	特別支援論 ・ 、子ども家庭支援論								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	子どもの権利擁護について理解を深め、社会的養護児童への理解と支援について考え、児童の心身の成長・発達を保障するための援助技能・知識を習得させ、児童観や倫理観を養う。								
学習目標	保育士として子どもの成長に向けての援助方法を理解する。								
キーワード	「子どもの権利擁護」「社会的養護の理念」「福祉施設の生活」「里親・里子」「心身の成長・発達保障」								
テキスト・ 参考書等	橋本好市・原田旬哉編著「保育と社会的養護実践」みらい 保育福祉小六法 みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会的養護の理念を理解し、施設等で生活する子どもに対する支援について学ぶ								
LO-2	成長に向けた援助内容、方法、子どもの最善の利益を理解する								
LO-3	施設における児童観・児童福祉施設観を養う								
LO-4	子どもの心身の成長・発達を理解する								
LO-5	社会人としてのリーダー性、協調性、自主性などを考える								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			40			20			60
LO-2			25						25
LO-3			5						5
LO-4			5						5
LO-5			5						5
備考	Aは通常授業の中で評価(演習科目につき積極的な発言や姿勢を評価) 期末レポート50%、毎回のレポート30%								



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 実習事例提出	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	15分
	【復習】授業の全体像について確認する	30分
第2回	「実習事例検討」 実習事例（障害者支援施設等）のグループ討議	
	【予習】事例検討の流れについて確認しておく	15分
	【復習】事例検討を振り返り、まとめる	30分
第3回	子どもの権利を表現し、伝える	
	【予習】児童の権利に関する条約を咀嚼する	90分
	【復習】児童の権利を擁護する必要性について振り返る	90分
第4回	子どもの権利擁護について考える	
	【予習】小六法の中から権利に関する法律を探してみる	90分
	【復習】子どもの最善の利益について考える	60分
第5回	子どもの権利を表現し、伝える 「明日ママがいない」を見て考える	
	【予習】児童の権利に関する条約を咀嚼する	90分
	【復習】児童の権利を擁護する必要性について振り返る	90分
第6回	倫理綱領と苦情解決について考える Akeshiba Satoshiさんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】第6回予習 任意の3団体の倫理綱領を調べる	60分
	【復習】類似点について考え、苦情解決の仕組みの課題について考える	90分
第7回	児童虐待について考える Akeshiba Satoshiさんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスコード：akeshiba テキスト「心の傷を癒し、心を育むための援助」「虐待された子どもへの支援」「虐待への対応」を考える	60分
	【復習】虐待を受けてきた子どもへの支援について考える	60分
第8回	事後レポートフォーム 入所児童の心情について考える「日本の見捨てられた子どもたち」 Akeshiba Satoshiさんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。 第8回授業ZOOM	
	【予習】パスコード：akeshiba	60分
	テキスト「日常生活支援と諸施設の暮らし」「児童養護施設の暮らし」「乳児院と母子生活支援施設の暮らし」「里親家庭での暮らし」 【復習】入所児童の心情について振り返る 教科書P120～を読み、P126、P127についてレポートする。	90分
第9回	里親制度について考える「夢が持てない」 社会的養護 ZOOMはこちらから	
	【予習】テキスト「里親制度とは・里親養育の特徴」	60分
	ミーティングID: 965 3573 8329 【復習】里親の悩みについて考える	90分
第10回	授業後課題「日本の見捨てられた子ども」を観て フォーマル・インフォーマルな子育て支援について考える「こうのとりのゆりかご」	
	【予習】海外の赤ちゃんポストの現状を調べる	60分
	【復習】出生前診断の課題を保育士としての視点で考える	90分

第11回	フォーマル・インフォーマルな子育て支援について考える	
	【予習】海外の赤ちゃんボスの現状を調べる	60分
	【復習】出生前診断の課題を保育士としての視点で考える	90分
第12回	児童相談所について考える	
	【予習】児童相談所の現状、専門性は何か調べてくる	60分
	【復習】児童相談所の課題について考える 「きみはいい子」前半を見て	90分
第13回	障害のある子どもと大人への支援について考える	
	【予習】バリアフリーとユニバーサルデザインについて調べてくる	90分
	【復習】身近な生活の中で、バリアフリーを考える。	90分
第14回	障がいのある施設での支援について考える	
	【予習】被措置児童等虐待、障害者虐待について考える	90分
	【復習】これまでの人生と障害のある人とのかわり考える	90分
第15回	障がいのある施設での支援について考える	
	【予習】被措置児童等虐待、障害者虐待について考える	90分
	【復習】権利擁護を理解した保育士の在り方を理解する	90分

授業科目名	子育て支援			科目コード	C135-40				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	明柴 聡史						
実務経験	保育所保育士、児童養護施設保育士、心理担当職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、基幹的職員								
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	子ども家庭支援論	後継科目							
関連科目	子どもの理解と援助 教育相談								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所等児童福祉施設において保育士の専門性を生かした保護者支援を行う上で必要な保育相談支援の「意義」「基本」「内容」「方法と技術」「実際」について理解し、保護者に対する保育指導の力の基礎を養う。								
学習目標	保育相談支援の意義と原則について理解する。 保護者支援の基本を理解する。 保育相談支援の実際について学び、内容や方法を理解する。								
キーワード	子どもの最善の利益、保育ソーシャルワーク、多職種との連携・協働、子育て支援、計画と記録と評価								
テキスト・ 参考書等	テキスト：小原敏郎・三浦主博著「保育実践に求められる子育て支援」ミネルヴァ書房 参考書：厚生労働省編『保育所保育指針解説書』（フレーベル館）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育相談支援の意義、基本、方法と技術、実際等、保育相談支援の基礎知識を理解している。								
LO-2	【技能】 生活課題や社会資源の把握、相談援助の過程など、保育相談支援に必要なソーシャルワークの基本を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 ワークや事例検討を通して、保育相談支援の知識や技術について学びを深める。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保護者に対する保育指導を行う保育士になるための自己課題を把握し、保育指導実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 ワーク等に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。相談援助者に必要な心構えや態度、価値を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			50						50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	その他A20%は、授業参加態度及びワーク等の際に提出する「ふりかえりシート」等の評価。 期末レポートが50%、毎回のレポート等提出物30%								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	15分
	【復習】授業の全体像について確認する	30分
第2回	保育実践における子育て支援	
	【予習】子育て支援の現状について調べる	15分
	【復習】地域の子育て支援について調べてみる	30分
第3回	保育者の専門性と倫理	
	【予習】保育者の専門性とは何か考えておく	15分
	【復習】保育者に求められる倫理についてまとめてみる	30分
第4回	保育者の支援ニーズへの気づきと多面的な理解 生活課題の把握 ワーク 子どもの様子から生活課題を考える	
	【予習】生活課題の把握について、テキスト、参考文献等で確認する	30分
	【復習】生活課題の把握について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第5回	子ども・保護者が多様な他者と関わる機会・場の提供 社会資源の理解と活用 ワーク 社会資源を導き出そう	
	【予習】社会資源の把握について、テキスト第9章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】社会資源の把握について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第6回	子ども・保護者の状況・状態の把握と養育力の向上 苦情への対応	
	【予習】保育相談支援の実際について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実際について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第7回	子育て支援の計画と環境の構成 保育所の家庭支援	
	【予習】保育相談支援の実際について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実際について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第8回	支援の実践・記録・評価 面接技術の基本	
	【予習】保育相談支援の実際について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実際について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第9回	職員間・関係機関との連携・協働 インタビューとアセスメント ワーク 保育事例からインタビューとアセスメントを学ぶ	
	【予習】インタビューとアセスメントについて、テキスト第10章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】インタビューとアセスメントについて、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第10回	地域の保護者への支援 援助計画の意義と視点 ワーク 保育事例から援助計画を作成する	
	【予習】援助計画について、テキスト第11章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】援助計画の意義と視点について、授業内容を確認し、理解を深める	30分

第11回	「保育相談支援の進め方」(3): 実施、評価 援助の実施と評価 ワーク さまざまな立場からのふりかえり	
	【予習】相談援助の実施と評価について、テキスト第12章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】相談援助の実施と評価について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第12回	「保育所の日常場面における保育相談支援」 日常の保育におけるショート事例の検討	
	【予習】テキストの事例を読んでおく	30分
	【復習】保育所の日常場面における相談支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第13回	「保育所における特別な対応を要する家庭への支援」 児童虐待への対応事例	
	【予習】テキスト（児童虐待への対応事例）の事例を読んでおく	30分
	【復習】保育所における特別な対応を要する家庭への支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第14回	「児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援」 児童養護施設の実例	
	【予習】テキスト第16章（児童養護施設の実例）の事例を読んでおく	30分
	【復習】児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第15回	「障がい児施設等における保育相談支援」 障がい受容の実例	
	【予習】テキスト（障がい受容の実例）を読んでおく	30分
	【復習】障がい児施設等における保育相談支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分

授業科目名	音楽表現技術 (Aグループ)			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 大林 規子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)		後継科目	音楽表現技術、音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜(楽譜を読む)などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽(ピアノ)								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢(20%)、ソルフェージュ(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年3組グループ表 1年4組グループ表 おはながわらった 【予習】ぶんぶんぶん1ぶんぶんぶん2ぶんぶんぶん3 シラバスを読み、授業内容(練習曲)を把握する。 L: ぶんぶんぶん	10分
	【復習】ぶんぶんぶん楽譜 授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	第2回授業に参加する(4組Aグループ) 2020年5月8日 01:10 PM 第2回授業に参加する(3組Aグループ) 2020年5月8日 02:50 PM 【予習】4組 Aグループ パスワード: Piano1-4-2	30分
	3組 Aグループ パスワード: Piano1-3-2	
	【復習】L: ぶんぶんぶん	20分
第3回	第3回授業に参加する(Aグループ) 大村先生 (2020年5月15日 4組 1:10 PM、3組 2:50 PM) 第3回授業に参加する(Aグループ) 櫻井先生 (2020年5月15日 4組 1:10 PM、3組 2:50 PM) 【予習】パスワード: Piano3	30分
	L: メリーさんの羊 【復習】左の人型のマークから、授業アンケートに回答する。これをもって出席とする。	20分
	L: ちょうちょう	
第4回	第4回授業に参加する(Aグループ) 大村先生 (2020年5月22日 4組 1:10 PM、3組 2:50 PM) 第4回授業に参加する(Aグループ) 櫻井先生 (2020年5月22日 4組 1:10 PM、3組 2:50 PM) 【予習】パスワード: Piano4	30分
	L: きらきらぼし 【復習】左の人型のマークから、授業アンケートに回答する。これをもって出席とする。	20分
	L: メリーさんの羊	
第5回	第5回授業に参加する(Aグループ) 大村先生 (2020年5月29日 4組 1:10 PM、3組 2:50 PM) 第5回授業に参加する(Aグループ) 櫻井先生 (2020年5月29日 4組 1:10 PM、3組 2:50 PM) 【予習】パスワード: Piano5	30分
	L: これまでに演習したことを確認する 【復習】左の人型のマークから、授業アンケートに回答する。これをもって出席とする。	20分
	L: きらきらぼし	
第6回	今回から短大で対面授業を行います。 L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】 L: ちゅうりっぷ	30分
	【復習】 L: これまでに演習したことを確認する	20分
第7回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ちゅうりっぷ(プリントの楽譜)	
	【予習】 L: ぞうさん	30分
	【復習】 L: ちゅうりっぷ	20分
第8回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ぞうさん(テキスト)	
	【予習】 L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】 L: ぞうさん	20分
第9回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L: おつかいありさん(プリント)	30分
	【復習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
第10回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おつかいありさん(プリント)	
	【予習】L: おはながわらった(プリント)	30分
	【復習】L: おつかいありさん(プリント)	20分

第11回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おはながわらった(プリント)	
	【予習】L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】L: おはながわらった(プリント)	20分
第12回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L: おもいでアルバム(プリント)	30分
	【復習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
第13回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おもいでアルバム(プリント)	
	【予習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
	【復習】L: おもいでアルバム	20分
第14回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L: 実技発表に向け、課題曲を練習する。	20分
	【復習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
第15回	まとめ L: 実技発表	
	【予習】これまでの演習内容を確認し、楽典(音楽の決まりごと)について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。	10分



授業科目名	音楽表現技術 (Bグループ)			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 大林 規子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)		後継科目	音楽表現技術、音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜(楽譜を読む)などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽(ピアノ)								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢(20%)、ソルフェージュ(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年3組グループ表	
	1年4組グループ表	
	【予習】おはながわらった楽譜	10分
	おはながわらった	
	【復習】授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	第2回授業に参加する(4組Bグループ) 2020年5月8日 01:10 PM	
	【予習】4組Bグループ パスワード:Piano1-4-2	30分
	3組Bグループ パスワード:Piano1-3-2	
	【復習】L: おはながわらった テキストp.139	20分
第3回	第3回授業に参加する○大林先生○(Bグループ) 2020年5月15日(4組 1:10 PM、3組 2:50 PM)	
	第3回授業に参加する 玉井先生 (Bグループ) 2020年5月15日(4組 1:10 PM、3組 2:50 PM)	
	【予習】パスワード:Piano3	30分
	小鳥のうた楽譜	
	【復習】左の人型のマークから、本日の授業アンケートに必ず回答する。これをもって出席とする	20分
	L: こいのぼり テキストp.152	
第4回	第4回授業に参加する○大林先生○(Bグループ) 2020年5月22日(4組 1:10 PM、3組 2:50 PM)	
	第4回授業に参加する 玉井先生 (Bグループ) 2020年5月22日(4組 1:10 PM、3組 2:50 PM)	
	【予習】パスワード:Piano4	30分
	L: ぞうさん テキストp.161	
	【復習】左の人型のマークから、本日の授業アンケートに必ず回答する。これをもって出席とする	20分
	L: 小鳥のうた テキストp.152	
第5回	第5回授業に参加する○大林先生○(Bグループ) 2020年5月29日(4組 1:10 PM、3組 2:50 PM)	
	第5回授業に参加する 玉井先生 (Bグループ) 2020年5月29日(4組 1:10 PM、3組 2:50 PM)	
	【予習】パスワード:Piano5	30分
	L: にじのむこうに テキストp.176	
	【復習】左の人型のマークから、本日の授業アンケートに必ず回答する。これをもって出席とする	20分
	L: ぞうさん テキストp.161	
第6回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 にじのむこうに	
	【予習】 L: しゃぼんだま テキストp.158	30分
	【復習】 L: にじのむこうに テキストp.176	20分
第7回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 しゃぼんだま	
	【予習】 L: うみ テキストp.135	30分
	【復習】 L: しゃぼんだま テキストp.158	20分
第8回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 うみ	
	【予習】 L: とんでったバナナ テキストp.170	30分
	【復習】 L: うみ テキストp.135	20分
第9回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 とんでったバナナ	
	【予習】 L: サッチャン テキストp.155	30分
	【復習】 L: とんでったバナナ テキストp.170	20分
第10回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 サッチャン	
	【予習】 L: たなばたさま テキストp.165	30分
	【復習】 L: サッチャン テキストp.155	20分

第11回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 たなばたさま	
	【予習】 L : かわいいかくれんぼ テキストp.149	30分
	【復習】 L : たなばたさま テキストp.165	20分
第12回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 かわいいかくれんぼ	
	【予習】 L : 山の音楽家 テキストp.187	30分
	【復習】 L : かわいいかくれんぼ テキストp.149	20分
第13回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 山の音楽家	
	【予習】 L : おつかいありさん テキストp.141	20分
	【復習】 L : 山の音楽家 テキストp.187	20分
第14回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 おつかいありさん	
	【予習】 L : 犬のおまわりさん テキストp.132	20分
	【復習】 L : おつかいありさん テキストp.141	20分
第15回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 犬のおまわりさん	
	【予習】 これまでの演習内容を確認し、楽典（音楽の決まりごと）について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】 S : 自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。 L : 犬のおまわりさん テキストp.132	10分

授業科目名	音楽表現技術 (Aグループ)			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 大林 規子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)、音楽表現技術		後継科目	音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽(ピアノ等)・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽(ピアノ) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽(ピアノ)演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽(ピアノ)演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽(ピアノ)の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します(20%)、歌あそび(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年前期の音楽表現技術 での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68 こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53	20分
	【復習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	20分
	【復習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	
	【予習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第5回	【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 おかあさん やきいもグーチーパー	
	【予習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第6回	【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
第7回	【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	
	【予習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】	20分
第8回	【歌あそび】 コンコンクシャンのうた 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第9回	【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース 線路はつづくよどこまでも	
	【予習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】	20分
第10回	【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた ジングルベル	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分

第11回	【歌あそび】 こぶためきつねこ 【器楽・幼児の歌】 アイアイ ゆきのペンキやさん	
	【予習】【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第12回	【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に おもいでアルバム	
	【予習】【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第13回	【歌あそび】 まめまき 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら さよならぼくたちのほいくえん	
	【予習】【器楽・幼児の歌】 1年生になったら さよならぼくたちのほいくえん	60分
	【復習】これまでに習った曲を全て振り返る	90分
第14回	【器楽・幼児の歌】今までに演習したことを振り返る	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	90分
第15回	まとめ(実技発表テスト)	
	【予習】	90分
	【復習】	90分

授業科目名	音楽表現技術 (Bグループ)			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 大林 規子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)、音楽表現技術		後継科目	音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽(ピアノ等)・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽(ピアノ) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽(ピアノ)演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽(ピアノ)演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽(ピアノ)の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します(20%)、歌あそび(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年前期の音楽表現技術 での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68 こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53	20分
	【復習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	20分
	【復習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	
	【予習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第5回	【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 おかあさん やきいもグーチャー	
	【予習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第6回	【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
第7回	【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	
	【予習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】	20分
第8回	【歌あそび】 コンコンクシャンのうた 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第9回	【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース 線路はつづくよどこまでも	
	【予習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】	20分
第10回	【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた ジングルベル	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分



第11回	【歌あそび】 こぶためきつねこ 【器楽・幼児の歌】 アイアイ ゆきのペンキやさん	
	【予習】【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第12回	【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に おもいでアルバム	
	【予習】【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第13回	【歌あそび】 まめまき 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら さよならぼくたちのほいくえん	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	60分
第14回	【器楽・幼児の歌】今までに演習したことを振り返る	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	60分
第15回	まとめ(実技発表テスト)	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	60分

授業科目名	音楽表現特講			科目コード	C141-12				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 大村 禎子 大林 規子						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽表現技術、音楽表現技術	後継科目	なし						
関連科目	保育内容(音楽表現)指導法、子どもと音楽表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	器楽(ピアノ)と幼児の歌の演習を、それぞれの経験に合わせて学習します。								
学習目標	幼児の音楽表現活動や教材について学び、多様な音楽表現に取り組むことを目標とします。								
キーワード	器楽(ピアノなど) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や楽器演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 幼児の表現に関心をもち、歌唱や楽器演奏の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					40				40
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5									
備考	「その他A」の評価20点については、平素の授業に取り組む態度とする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	音楽表現技術 の学習をふまえ、2年次ではさらに幅広く音楽経験を行う授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	30分
	【復習】シラバスを読み、前期の授業内容（課題曲）をテキスト（楽譜）と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	
	【予習】レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
	【復習】レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	20分
第3回	レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	
	【予習】レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	20分
	【復習】レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
第4回	レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	
	【予習】レッスン： おかあさん テキスト p.138	20分
	【復習】レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	20分
第5回	レッスン： おかあさん テキスト p.138	
	【予習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
	【復習】レッスン： おかあさん テキスト p.138	20分
第6回	レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	
	【予習】レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	20分
	【復習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
第7回	レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	
	【予習】レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	20分
	【復習】レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	20分
第8回	レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	
	【予習】レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
	【復習】レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	20分
第9回	レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	
	【予習】レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	20分
	【復習】レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
第10回	レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	
	【予習】レッスン： たなばたさま テキスト p.165	20分
	【復習】レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	20分

第11回	レッスン： たなばたさま テキスト p.165	
	【予習】レッスン： 水あそび テキスト p.182	20分
	【復習】レッスン： たなばたさま テキスト p.165	20分
第12回	レッスン： 水あそび テキスト p.182	
	【予習】レッスン： うみ テキスト p.135	20分
	【復習】レッスン： 水あそび テキスト p.182	20分
第13回	レッスン： うみ テキスト p.135	
	【予習】レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
	【復習】レッスン： うみ テキスト p.135	20分
第14回	レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	
	【予習】レッスン： 実技発表に向けて とんぼのめがね テキスト p.172を練習してくる。	85分
	【復習】レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
第15回	レッスン： とんぼのめがね テキスト p.172 実技発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	造形表現技術			科目コード	C143-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	造形表現技術 子どもと造形表現 保育内容(造形表現)指導法 子どもと遊び					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	乳幼児における造形表現の特性やねらいを知るため、実技演習を中心に行い、表現することや創造することの価値を察知し、基本的な知識と豊かな感覚や技術を身につけます。材料の特性を生かした多面的な製作活動に取り組み、保育現場における「表現者」「鑑賞者」「援助者」としての心構えや在り方を学びます。								
学習目標	乳幼児の造形表現活動を豊かに展開するために必要となる、基礎的な知識や技術を実践的に習得する。造形表現活動に適した、用具及び素材や教材等の特性を理解し、それらの活用や作成に必要な知識や技術を身に付ける。								
キーワード	表現 感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「幼児造形の基礎」樋口一成 編著 萌文書林 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児における造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			15	55		30			100
LO-1			5	15					20
LO-2			5	15					20
LO-3			5	15					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 造形表現の意義 材料や用具の扱い方について 自己紹介スケッチブックについて	
	【予習】自分の名前の文字製作	60分
	【復習】	0分
第2回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みを知る。	
	【予習】	0分
	【復習】紹介された仕掛けを参考にして、構想を考えておく。	40分
第3回	5/13(水) 補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みのアイデアスケッチをする。 第3回授業に参加する(4組) 第3回授業に参加する(3組)	
	【予習】 4組：パスワード: Zougi1-4-3 3組：パスワード: Zougi1-3-3	0分
	【復習】自己紹介の画面構成やストーリーを下絵にまとめる。	40分
第4回	5/20補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みを作る。 第4回授業に参加する(1-4組) 第4回授業に参加する(1-3組)	
	【予習】 4組パスワード: Zougi1-4-4 3組パスワード: Zougi1-3-4	0分
	【復習】	0分
第5回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる絵本を完成する。 第5回授業に参加する(1-4H) 第5回授業に参加する(1-3H)	
	【予習】 4H：パスワード: Zougi1-4-5 3H：パスワード: Zougi1-3-5	0分
	【復習】完成作品(お気に入りページ)写真を送信 登校開始6/5(金)授業時にスケッチブック提出	0分
第6回	色彩と形体： 色と形、構成の基礎 色の三属性と分類 色や形の心理、調和 描画材・紙とあそぶ	
	【予習】	0分
	【復習】プリントで色の属性や分類について確認する。色の視認性を効果的に表現した配色を考える。 ワークシート提出	30分
第7回	素材の種類と特性 基底材(紙について) 描画材について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	描画材・紙であそぶ ワークシート提出	
	【予習】教科書P50～67を読み、描画材や紙に関する特性を知る。	30分
	【復習】あそんだ内容を振り返りワークシートにまとめる。	50分
第9回	素材の種類と特性 製本：ことばで表す各ページから受け取った感じや感覚を言葉(オノマトペ)で書きこむ	
	【予習】	0分
	【復習】完成作品(絵本)・レポート提出。	50分
第10回	モダンテクニック にじみ・ぼかし・ローリング等	
	【予習】教科書P112～P128を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分

第11回	モダンテクニック スクラッチ・マーブリング等	
	【予習】教科書P112～P128を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第12回	モダンテクニック スパッタリング・ウォッシング等	
	【予習】教科書P112～P128を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第13回	モダンテクニック バブルペインティング	
	【予習】教科書P112～P128を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第14回	モダンテクニック まとめ技法ノート作成 作品技法ノート提出	
	【予習】	0分
	【復習】作成したノートを相互鑑賞し製作を振り返るとともに、展示したお互いの作品を評価し合う。	40分
第15回	色・形・感触を楽しむ：スライム作り	
	【予習】	0分
	【復習】感触遊びの活動を振り返りレポートにまとめる。 振り返りシート提出	30分

授業科目名	造形表現技術			科目コード	C143-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術		後継科目	子どもと造形表現 保育内容(造形表現)指導法 子どもと遊び					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	「造形表現技術」の内容をさらに深めます。多様な創作活動を経験することにより、表現の幅を広げながら、表現の楽しさ・喜びを味わい、乳幼児の豊かな造形表現を導くことのできる能力を身につけます。多様な創作活動の中で、「環境」に目を向けて、空間の活用や装飾、行事等に関わる製作に取り組み、乳幼児がより創造的な生活を過ごす手立てを考えます。								
学習目標	乳幼児の発達過程を踏まえ、乳幼児の感性や創造性をより豊かにするための知識・技能、表現力を身に付ける。身近な自然・ものの色や形、感触やイメージ等に親しむための素材や教材などの役割に関する理解を深める。								
キーワード	感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「幼児造形の基礎」樋口一成 編著 萌文書林(継続使用) 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児における造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児における造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えたり、計画したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、製作過程を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			15	55		30			100
LO-1			5	15					20
LO-2			5	15					20
LO-3			5	15					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	土粘土 粘土あそび 粘土づくりと種類や特性	
	【予習】「教科書」P158、165を読み、粘土の種類や扱い方について大まかに把握する。	30分
	【復習】グループで作った作品を写真に撮り、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第2回	土粘土 陶芸 製作工程と技法、デザインの決定と成形	
	【予習】	0分
	【復習】作りたい土鈴や器のデザインを考える。	40分
第3回	土粘土 陶芸 成形	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	土粘土 陶芸 成形完成	
	【予習】	0分
	【復習】 保育実習 - 1 中に焼成	0分
第5回	土粘土 陶芸 地塗りと彩色	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	土粘土 陶芸 彩色と鑑賞 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	40分
第7回	樹脂粘土 製作工程と技法、デザインの決定と成形 作品提出	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第8回	小麦粉・片栗粉粘土 感触を楽しむ	
	【予習】	0分
	【復習】教科書P74-75を読む。様々な粘土の特性や粘土による造形遊びについてまとめる(ワークシート)	60分
第9回	版画 ローラー遊び 版画の種類と特性について 版画インクの扱い方	
	【予習】教科書P68-71を読み、版画の種類や作り方について大まかに把握する。	40分
	【復習】	0分
第10回	版画 ローラープリントの紙を使って - 紙バッグの製作	
	【予習】	0分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分

第11回	版画 スチレン版画 版の製作	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	15分
	【復習】	0分
第12回	版画 スチレン版画 刷り 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第13回	版画 スタンピング/ステンシル - いろいろな素材とダンボールを使ったスタンプ作りとステンシル技法	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第14回	版画 スタンピング - いろいろな素材とダンボールで作るスタンプにステンシル技法を組み合わせた版画を刷る。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。教科書P148-155を参考にして様々な版やスタンプによる表現についてまとめる。(ワークシート提出)	60分
第15回	素材と表現方法：パステル コンテやパステルを使った技法と製作。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】授業で製作した作品を再度鑑賞したり、学習内容をポートフォリオに整理したりし、製作と学習を振り返る。	70分

授業科目名	子どもの運動			科目コード	C145-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 身体表現	担当教員名	大森 宏一						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	運動と健康	後継科目	子どもと健康						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭2種免許 保育士資格								
授業の概要	保育に必要な運動の基礎技能を養います。また、さまざまな子どもの運動遊びの体験を通して、乳幼児期の運動遊びに関する専門的技能を身につけていきます。								
学習目標	運動遊びの企画、立案・実践・省察の流れを通して、子どもの運動遊びを行う時の援助の方法を学び理解することを目指します。集団援助を行う際に必要な技能を身に付けます。								
キーワード	運動発達 運動遊び 安全 基本の運動 バランス・移動・操作								
テキスト・ 参考書等	倉・大森編 「子どもが育つ運動遊び」 みらい 2016年								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の発育発達の特徴をふまえ、保育の場での運動遊びの援助のあり方や、幼児期における運動遊びの意義を理解する								
LO-2	【技能】子どもの心身の発育発達を保障し、基本的な運動を基に遊びを構想・展開する技術を身につけている。自らが基本的な運動動作を習得し、指導にいかすことができる								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児の発育発達を促す「運動遊び」について、運動発達段階に応じた身体活動や遊びの内容を考えたり、指導上の配慮について実践的に理解している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】現代の子どもの育ちと子どもが育つ環境を的確に把握し、現状に応じた運動遊びのあり方についての考えを深め、実践にいかそうと努めている。								
LO-5	【人間性・社会性】ペアやグループでの活動に積極的に参加している。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	50		30				100
LO-1		10	10						20
LO-2			10						10
LO-3			20		10				30
LO-4		10			10				20
LO-5			10		10				20
備考	レポートは、授業ノートの内容から総合的に判断する。成果発表については、プログラムの企画運営と、プログラムへの積極的な参加及び集団援助技術を評価する。毎回授業においてミニツッパーパーの提出を行い小テストとする。LO5については、保育者として基本となる明るく生き生きとした態度での参加を重視する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業計画、内容、評価、進め方など） 模擬保育の方法とグループについて	
	【予習】シラバスを読んでおくこと。	0分
	【復習】持ち物 レポート 評価方法について確認しておくこと。活動時のグループについても確認しお互いにコミュニケーションをとっておくこと。	0分
第2回	運動遊びのとらえ方、運動遊びの実践 リズム遊びの実践 じゃんけん遊びと表現遊びの実践 腕振り遊びのための教材づくり 投げる遊び導入	
	【予習】テキスト第1章 2章を読むこと。	15分
	【復習】子どもにとっての運動遊びのについて、自分なりの考え方を整理すること。	30分
第3回	運動遊びの実際 さまざまな鬼ごっこの実践 投運動の導入に伴う肩甲骨を動かす遊び 発達に応じたリズム遊びの実践 投げる運動の展開遊び 手首の使い方について	
	【予習】テキスト の実践編についてさまざまな鬼ごっこを読んでおくこと。	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉かけを考える。	30分
第4回	運動遊びの実際 発達に応じた鬼ごっこ遊びの展開方法について 身近なものを使った鬼ごっこ遊びについて 投げる遊びの展開 回内回外運動について	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。（まねっこ遊び・かけっこする遊び）	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉かけを考える。本日の内容を年齢別にアレンジする方法を考える。	30分
第5回	運動遊びの実践 発達に応じた集団遊びの展開方法について 投運動につなげる遊びについて 投運動につなげる遊びと捕球に関する遊びについて	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。	15分
	【復習】運動遊びについて、保育活動場面についてのつながりをレポートしておくこと（ノート）	30分
第6回	フープを使った遊びの実践 基本の動き 縄跳び遊びの導入方法について	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉かけを考える。本日の内容を年齢別にアレンジする方法を考える。フープ遊びの安全の配慮について考える。	30分
第7回	バラバルーンを使った運動の実践 基本の動き 縄を使った陣取り遊びの実際	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。（バラバルーン）	15分
	【復習】バラバルーンを使った運動のねらいや期待される効果について整理する。縄遊びの発達に応じた援助方法をノートに記述すること	30分
第8回	フープ バラバルーンを使った運動の実践 曲を選んで基本の動きを組み合わせる 縄跳びの基本動作について 3人でできる鬼遊びの実際	
	【予習】基本の動きを確認する。	15分
	【復習】発表に向けて準備する（曲、流れ、構成、役割） 3人での鬼遊びの発達に応じた援助方法をノートに記述すること	30分
第9回	フープ バラバルーンを使った運動の実践 短縄を使った遊び 大人で行う鬼遊びの実際	
	【予習】練習に向けて準備する（曲、流れ、構成、役割）	15分
	【復習】発表に向けて準備する（入場 退場含む） 大人で行う鬼遊びの実際の援助方法をノートに記述する	30分
第10回	フープ バルーンを使った遊びの運動を企画立案する 長縄を使った遊び つながって行う鬼遊びの実際 少人数での表現言葉遊びの実際	
	【予習】テキスト実践編を読んでおくこと	15分
	【復習】鬼遊び 表現遊びについてノートに記述すること	30分

第11回	フープなどを使った運動遊びの実践の発表に向けた活動 コロナ禍でも実践できるつながり鬼ごっこの実際	
	【予習】実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】発表に向けて準備する コロナ禍でもできる鬼遊びであったかを再検討し安全面、などをノートに記述すること	30分
第12回	フープ、バルーンを使った遊びの発表をする	
	【予習】発表遊びの指導計画を作成する。実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】まとめ（評価と省察、次回に向けた課題を考える）レポートの作成	30分
第13回	集団でのボール遊びの実際	
	【予習】様々なボール遊びの遊び方をネットなどで調べておくこと	15分
	【復習】集団でのボール遊びの楽しさについて、アレンジ方法を含めてノートに記述する。	30分
第14回	季節の遊びを運動遊びにアレンジして行う	
	【予習】お正月の遊びを調べておく（いろはかるた）	15分
	【復習】遊び方、援助の仕方をノートに記述しておくこと	30分
第15回	ボール遊び、ドッジボール遊びの段階的指導について	
	【予習】これまでの遊びをまとめてノートに記述しておくこと	15分
	【復習】まとめ ドッジボールの遊び方を発達に応じて記述すること	30分

授業科目名	教育実習			科目コード	C151-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	難波 純子 高木 三郎 大森 宏一 嶋野 珠生 石動 瑞代					
実務経験	幼稚園で9年、保育園で4年、幼稚園教諭及び保育士として勤めていた経験をもとに、幼稚園教諭二種免許取得に必要な知識と技術を身につけられるよう、実践的な授業を展開する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	基礎演習、『幼稚園教育要領』		後継科目	教育実習、教育実習指導					
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	<p>本学付属みどり野幼稚園で実習を行う(ただし、学内で日誌や指導案の書き方等を学ぶ講義日もあり)。前期の授業時間では観察・参加実習を中心に、9月は指導案ありの参加実習を中心に実施する。観察・参加実習においては、実習後の幼稚園教員との反省会や、実習日誌での振り返りを通して子どもの内面を読み取り、環境の構成、保育のあり方などを学ぶ。さらに実習研究では、実習記録、指導案を実際に作成し検討することによって実践的な力を身につける。</p>								
学習目標	この実習では、付属幼稚園と本学科の教員との連携協力に基づく指導を通して、幼児の発達の特徴や、幼稚園教育のねらい・内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的な職務内容や役割についての基礎的理解を深める。								
キーワード	付属みどり野幼稚園 観察実習 参加実習 実習記録 指導案								
テキスト・ 参考書等	<p>幼児教育学科作成テキスト「教育実習 ハンドブック」、付属みどり野幼稚園作成資料「教育実習 実習資料」 開仁志編著『実習日誌の書き方』一藝社、開仁志編著『指導案大百科事典』一藝社</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。								
LO-2	【技能】子どもの前に立って、分かりやすく話したり、手遊びをしたり表現する技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】実習記録を丁寧に書くことによって論理的に考察し、自らを省察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】時間や規則を守り、基本的なマナーや言葉づかいができる。幼稚園での実習反省会では、積極的に担当教員に指導、助言を求める態度が身についている。								
LO-5	【人間性・社会性】グループで実習を行うので、適切なコミュニケーション技術と態度を身につけ、他者との協働を図ることができる。また、深い愛情と豊かな感受性・共感性をもって、子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	幼稚園教員による実習評価80点と、本学科教員による実習日誌の評価20点の100点満点で評価します。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オンライン授業 学科主催オリエンテーション 【予習】パスワード: Mido1-4-1	30分
	幼稚園に提出する「自己紹介カード」の下書きを作成しておく。 【復習】【課題1】富山短期大学HPから、付属みどり野幼稚園のページを閲覧し、幼稚園について知る。 【課題2】左の人型のマークから、本日の13時まで、第1回授業アンケートに回答する。 【課題3】自己紹介カード完成版(証明写真アリ)をスマホ等で撮影し、第1回「課題提出1」ボタンから、保存。	20分
	オンライン授業 「教育実習 ハンドブック」の内容について 【予習】パスワード: Mido2	20分
第2回	黄緑色ファイルにはさんである「教育実習 ハンドブック」に、どのようなことが書かれてあるか、一読しておく。 【復習】【課題1】左の人型のマークから、本日の13時まで、第2回授業アンケートに回答する。 【課題2】黄緑色のファイルに油性マジックで名前を書いたものをスマホ等で撮影し、第2回「課題提出1」ボタンから、保存。 これをもって本日の出席とする。	15分
	オンライン授業 幼稚園について 【予習】パスワード: Mido3	20分
第3回	「付属みどり野幼稚園 教育実習 資料」に何か記載されているのか、一通り読んでおく。 【復習】幼児期の終わりまでに育ってほしい110の姿	10分
	【課題1】左の人型のマークから、本日の13時まで、第3回授業アンケートに回答する。	
第4回	教室での対面授業 実習研究 記録の書き方を理解する	60分
	【予習】テキスト「実習日誌の書き方」に、どのようなことが書かれてあるのか、ざっと目を通しておく。 【復習】よくわかる「子ども・子育て支援新制度」内閣府webサイト	10分
第5回	認定こども園概要 教室での対面授業 実習日誌の書き方	0分
	【予習】 【復習】テキスト「実習日誌の書き方」を読み返す。	30分
第6回	教室での対面授業 ・保育用語の漢字テスト	60分
	【予習】テキストの保育用語を正しい漢字や表記ができるようにしておく。 【復習】保育用語の漢字テストで、間違えてしまった箇所は正しく表記できるよう、おさらいしておく。	30分
第7回	教室での対面授業 映像から子どもの姿を学ぶ <みどり野幼稚園での保育のようすを動画で学ぶ>	0分
	【予習】 【復習】	0分
第8回	観察実習に向けての心構え	60分
	【予習】「教育実習 ハンドブック」を読んでおく。 【復習】「教育実習 ハンドブック」を読み返す。	60分
第9回	観察実習 幼稚園で1時間観察、学内で日誌記入。 園児の降園後、担任教諭と幼稚園で反省会実施。	0分
	【予習】 【復習】実習日誌記入	180分
第10回	観察実習 幼稚園で1時間観察、学内で日誌記入。 園児の降園後、担任教諭と幼稚園で反省会実施。	0分
	【予習】 【復習】実習日誌記入	180分

第11回	観察実習 幼稚園で1時間観察、学内で日誌記入。 園児の降園後、担任教諭と幼稚園で反省会実施。	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌記入	180分
第12回	観察実習 幼稚園で1時間観察、学内で日誌記入。 園児の降園後、担任教諭と幼稚園で反省会実施。	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌記入	180分
第13回	観察実習の振り返り（学内） 9月実習に向けて	
	【予習】	0分
	【復習】配属クラスの園児が、9月にはどのような成長ぶりを示しているか。 期待や願いをこめて想像する。	20分
第14回	【夏季休業中9月】観察・参加実習 連続4日間	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌の記入	180分
第15回	実習反省会 9月に実習した内容の振り返りを行う。	
	【予習】教育実習 を終えてのレポート作成。 400字詰め原稿用紙2枚。ペン書き。	120分
	【復習】	0分



授業科目名	教育実習			科目コード	C151-11				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	嶋野 珠生 松居 紀久子					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	教育実習 教育実習指導		後継科目	教育実習指導					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	幼稚園における10日間の教育実習である。								
学習目標	幼稚園で生活する幼児の発達の特徴や幼稚園教育の内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的職務内容や役割についての具体的理解を深める。								
キーワード	参加実習 担任実習 指導計画								
テキスト・ 参考書等	「実習日誌の書き方」開仁志編著 一藝社 「指導案大百科事典」 開仁志編著 一藝社 「実習の記録と指導案」田中亨豊胤監修、山本淳子編著 ひかりのくに 「幼稚園教育要領」文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】「幼児の発達や興味・関心」「教育課程・指導計画」「保育内容や方法」等に関する知識を習得している。								
LO-2	【技能】幼児と親和的にかかわり、臨機応変な対応や措置を行う。集団や個々の幼児へのかかわり方を工夫して参加実習や担任実習に取り組むことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】環境設定や保健・安全面に配慮しながら、創意工夫して保育計画を立案し、準備、実施、評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習や担任実習に主体的に取り組み、的確な観察による考察や自己課題を日誌に記入できる。指導・助言を受け止め、向上心をもって積極的に実習に取り組む意欲をもつ。								
LO-5	【人間性・社会性】マナーや正しい言葉遣いを心掛け、職員や保護者、来客と対応することができる。時間や規則を守り、施設や備品の取り扱いに配慮することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A) 実習先幼稚園による評価80% (B) 学科教員による実習日誌の評価20%								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	学外幼稚園での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	<b>教育実習指導</b>			科目コード	C151-20				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	嶋野 珠生 松居 紀久子 難波 純子 高木 三郎					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育実習		後継科目	教育実習					
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	前期は「教育実習」の事後指導および「教育実習」の事前指導とします。後期は「教育実習」の事後指導を中心に行います。教育実習後は自己評価に基づき自己課題を見つけ、その解決に取り組みます。「教育実習」の事前報告および事後報告等では、学科の専任教員全員が担当します。								
学習目標	事前指導では教育実習の意義や目標を理解し、実習の方法や心得などを学習します。事後指導では実習の内容を振り返り、課題の確認や実習成果のまとめを行います。自己課題の改善に向けた具体的な取り組みをします。								
キーワード	実習日誌 指導案 教材作成 実習の事前・事後指導								
テキスト・ 参考書等	開仁志編『実習日誌の書き方』一藝社 開仁志編『保育指導案大百科事典』一藝社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。また、自己理解し、実習後の省察ができる。								
LO-2	【技能】人前に立って分かりやすく話したり、手遊びやパネルシアターなどを披露したりする表現技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの年齢や発達過程を踏まえた上で保育における指導計画（指導案）をたて、「ねらい」と「内容」の違いを理解している。また、その内容に応じた「環境構成」や、「保育者の援助」の方法について自身で思考								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育教材について関心をもち、製作や模擬保育に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】相互評価においては、お互いの良さに気づき、それを伝えることができる。互いから学びあうことができる。グループでの事例検討活動では、お互いを尊重しながら率先して役割を果たしてグループに貢献することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			40		40	20			100
LO-1			40						40
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	「教育実習」および「教育実習」終了後に提出した課題レポート各20点満点で評価。提出期限の遅延に応じて減点となる。 前期、後期の教材研究各20点満点で評価。成果発表は、各自が教材研究をして現場を想定し、作成、発表を総合的に判断する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習 4/1,2のいずれか1日（4回分の授業に相当します） 3/30...3組、3/31...4組	
	【予習】新入園児を迎え入れるにあたっての幼稚園の準備にはどのようなものがあるのか、あらかじめ各自で調べておく。	30分
	【復習】みどり野幼稚園での新入園児を迎え入れるための準備作業にどのようなことがあったのか、振り返りメモをしておく。	30分
第2回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	教育実習指導オリエンテーション 一日実習の省察	
	【予習】みどり野幼稚園での新入園児を迎え入れるための準備作業にどのようなことがあったか、振り返りメモを見直しておく。	30分
	【復習】オリエンテーション、WEBシラバスを見直し1年間の授業の流れを把握する。一日実習の省察の復習をする。	30分
第6回	保育に役立つ手作り教材の研究 指導案の作成 実際の場面を想定して手作り教材を作り、保育実践をすることを目的に、指導案を作成する 授業スライド	
	【予習】	0分
	【復習】次回授業時 指導案を完成させて提出。コピーは自分で保管。 準備物をすべて用意する。次回授業時には持参し制作に取り掛かる。	30分
第7回	保育に役立つ手作り教材の研究 教材作成 教室 3組 F205 4組 F203（座席順はF205の時と同じ）	
	【予習】指導案を完成させて持参する。教材に必要な材料をすべてそろえて持参する。	60分
	【復習】授業時間に取り組んでいる教材作成の続きを行い、完成に近づける。	60分
第8回	保育に役立つ手作り教材の研究 教材作成 3組 F205 4組 F203	
	【予習】授業時間に取り組んでいる教材作成の続きを行うい、完成に近づける。	60分
	【復習】教材が授業時間内に仕上がっていない場合は、必ず完成させてくる。次回発表に備えて実演の練習、子どもとの掛け合いを楽しめる要素を入れ込むよう練習をしてくる。	60分
第9回	実演発表（評価） グループに分かれてお互いの前で実演発表し、学生同士相互評価、教員の評価も行う。	
	【予習】教材が授業時間内に仕上がっていない場合は、必ず完成させてくる。次回発表に備えて実演の練習、子どもとの掛け合いを楽しめる要素を入れ込むよう練習をしてくる。	60分
	【復習】作成した教材を今後の模擬保育や実習にどう生かすかを考える。	30分
第10回	<遠隔授業日> 指導案の作成 授業に参加する	
	【予習】パスコード: kyoiku10 保育実習に向けての指導案作成にとりかかる。	30分
	【復習】指導案の完成に向けて取り組む。	30分

第11回	指導案の作成	
	授業に参加 【予習】バscコード: kyouiku11 保育実習に向けての指導案作成にとりかかる。	30分
	【復習】指導案の完成に向けて取り組む。 授業スライド	30分
第12回	全日実習指導案の作成	
	トピック: 教育実習指導 【予習】バscコード: kyouiku64 保育実習の全日実習の計画を考える。	30分
	【復習】指導案を完成させるように進める。	30分
第13回	実習前指導	
	【予習】月曜からの実習に必要なものを確認しておく。	30分
	【復習】授業の振り返りを行う。	30分
第14回	幼稚園実習に向けて指導案作成 保育実習 を振り返り、保育実習では担当しなかった年齢を対象とした指導案を作成する。	
	【予習】保育実習 の指導案の復習	30分
	【復習】新たな指導案を完成させて提出準備。	60分
第15回	「教育実習 」オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】実習先の幼稚園に出向く「直前オリエンテーション」は学生から幼稚園に電話を入れアポイントを取り、8月上旬から8月25日の間までに済ませておく。	60分
第16回	【これより後期授業】 教育実習指導（後期）ガイダンス 事後指導	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握してくる。	15分
	【復習】実習先の幼稚園へ、一人一通お礼状を書き、各自で送付する(実習終了後、1週間以内に投函)。	30分
第17回	事後指導 実習の振り返り 「うまくかかわれなかった事例検討」 グループ内発表、グループ内代表事例選定し事例検討、5領域の観点から振り返り改善点を明確にする。	
	【予習】	0分
	【復習】改善点を明確にしてワークシートを完成させる。	30分
第18回	事後指導 実習の振り返り 「うまくかかわれなかった事例検討」 改善後のシナリオ作り、ロールプレイの準備。ロールプレイで実演。発表に向けての準備作業（PPTスライド作成：事例概要、5領域からの振り返り結果、問題と改善点、新しいシナ	
	【予習】	0分
	【復習】シナリオ作り、発表に向けての準備作業を完成させて、発表の練習をしておく。	100分
第19回	事後指導 実習の振り返り 「うまくかかわれなかった事例検討」 PPTとロールプレイの発表、意見交換、振り返り記入	
	【予習】シナリオ作り、発表に向けての準備作業を完成させて、発表の練習をしておく。	100分
	【復習】	0分
第20回	事後指導 実習の振り返り 「教員との個別面談による自己課題の明確化」および「就職後に生かす教材づくりと発表」 一人10分の個別面談で幼稚園からの評価を元に自己課題を明確にする。および、前期に作成した教材とは異なる新しい保育に生かす教材づくりを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】教材づくりを完成に向けて進める	60分

第21回	事後指導 実習の振り返り 「教員との個別面談による自己課題の明確化」および「就職後に生かす教材づくりと発表」 一人10分の個別面談で幼稚園からの評価を元に自己課題を明確にする。および、前期に作成した教材とは異なる新しい保育に生かす教材づくりを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】教材づくりを完成に向けて進める	60分
第22回	事後指導 実習の振り返り 「教員との個別面談による自己課題の明確化」および「就職後に生かす教材づくりと発表」 一人10分の個別面談で幼稚園からの評価を元に自己課題を明確にする。および、前期に作成した教材とは異なる新しい保育に生かす教材づくりを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】教材づくりを完成に向けて進める。実演発表の練習をする。掛け合いの練習をしておく。	60分
第23回	事後指導 教材の実演発表（評価）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第24回	事後指導 代表者が、1年生に実演発表	
	【予習】代表者は1年生の前で発表できるように練習する。	60分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	梅本 恵 中山 里美 明柴 聡史 松居 紀久子					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	基礎演習		後継科目						
関連科目	保育実習 -1 保育実習 -2								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習 -1(保育所)」「保育実習 -2(施設)」の事前事後指導として行う。実習の意義や目標、実習内容、実習に臨む際の基本的な心構えや態度について学習する。実習前のオリエンテーション・特別講義などを通して、自己の実習課題を明らかにし、効果的に実習に取り組みようにする。実習後は、各自作成のレポートなどを中心に、実習の成果と課題を把握する。実習施設に対する理解を深めるために、特別講義も予定している。								
学習目標	実習の意義および目的と実習の方法を理解する 実習日誌の基本的な書き方を習得する 実習に対する心構えや態度を学び、習得する 実習を振り返り、実習内容や自らの課題の達成状況を把握し、今後の学習課題を明らかにする								
キーワード	保育所 幼保連携型認定こども園 児童福祉施設 保育士 実習課題 実習日誌 省察								
テキスト・ 参考書等	『実習日誌の書き方』開仁志編著 一藝社 『指導案大百科事典』開仁志編著 一藝社 『学外実習の手引き』 『保育所保育指針解説』厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所や児童福祉施設の目的と概要、保育士の職務について理解している								
LO-2	【技能・表現】保育所や児童福祉施設での実習に目標を持って取り組み、実習日誌を書くことができる								
LO-3	【思考・判断】保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題を論理的に考察できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】実習施設と入所者、子どもを取り巻く環境に関心を持ち、援助の方法を習得する								
LO-5	【社会性・人間性】実習に対する心構えや態度を習得する								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	この科目を履修しなければ、保育実習 -1及び -2を受けることはできない。「保育実習指導」2単位は、「保育実習 -1」および「保育実習 -2」の単位取得が前提となる。成績評価は、保育実習 -1(40%)、保育実習 -2(40%)の各レポート、事前・事後報告書(20%)により評価する。(評価は、2年前期の成績に記載)								



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 実習の種類と目的の理解、単位の認定、実習手続、スケジュール等	
	【予習】	0分
	【復習】 保育実習の概要を確認する	45分
第2回	保育所の一般的理解 ○富山県の保育所・認定こども園の現状	
	【予習】 保育所保育指針の第1章総則を読む	15分
	【復習】 配布されたプリントを見直し、理解する	30分
第3回	○保育所及び保育士の職務内容について ○保育所の生活と一日の流れ	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントと資料を見直し、理解する	45分
第4回	○保育所以外の児童福祉施設の一般的理解（1）	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントを見直し、理解する	45分
第5回	○保育所以外の児童福祉施設の一般的理解（2）	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントを見直し、理解する	45分
第6回	○実習施設（保育実習 -2）の説明と希望調書	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	○実習先（保育実習 -1）の保育所(園)についての理解	
	【予習】 実習先の保育所(園)について、ホームページ等で調べておく。	45分
	【復習】	0分
第8回	○実習日誌の基本的な構成とその内容（1） エピソード記録	
	【予習】 『実習日誌の書き方』PP. 20-23を読んでおく。 教育実習 の日誌を1日分コピーして持参する。	45分
	【復習】 日誌を手直し、完成させる。	45分
第9回	○実習日誌の基本的な構成とその内容（2） 流れ記録	
	【予習】 『実習日誌の書き方』から、未満児実習の流れ記録の例を探し、読んでおく。	45分
	【復習】 日誌を手直し、完成させる。	45分
第10回	○未満児実習について（1） 未満児の発達、生活と遊びの実際	
	【予習】 『保育所保育指針』第2章 1：乳児保育に関わるねらい及び内容、2：1歳以上3歳未満児の保育にかかわるねらい及び内容 を読んでおく。	45分
	【復習】 配布されたプリントと資料を整理し、理解する。	45分

第11回	○未満児実習について(2) 実習のポイントと心構え	
	【予習】	0分
	【復習】配布されたプリントと資料を整理し、理解する。	45分
第12回	○「保育実習 -1」オリエンテーション(1)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	○「保育実習 -1」オリエンテーション(2)	
	【予習】	0分
	【復習】事前訪問・打ち合わせに向けた準備をする。	45分
第14回	○特別講義 「保育所保育の概要と実習生のあり方」 富山市立月岡保育所所長 今井 幸子先生	
	【予習】特別講義に向けて問題意識を整理する。	15分
	【復習】特別講義の内容を振り返り、理解を深める。	30分
第15回	○指導案について	
	【予習】『保育指導案大百科事典』PP20-50を読んでおく。	60分
	【復習】指導案を書いてみる。	60分
第16回	○「保育実習 -1」事前報告(実習個別指導担当教員)	
	【予習】事前報告に向けて書類(事前訪問・打ち合わせレポート、事前報告書、実習生身上書その2)を作成する。	60分
	【復習】書類を加筆・修正のうえ、提出する。	30分
第17回	「保育実習 -1」直前指導 提出書類の整備 実習日誌、指導案、実習レポートの書き方確認	
	【予習】実習に向けた準備状況を点検し、不明な点などをまとめておく。	15分
	【復習】実習に向けて、提出物、教材、持ち物等を点検する。	30分
第18回	○「保育実習 -1」の振り返り(1) 「振り返り」ワークシート、事後報告書を作成する。	
	【予習】実習日誌を見直し、学んだこと、不十分であったことなどを整理しておく。	30分
	【復習】事後報告書を完成させる。	30分
第19回	○「保育実習 -1」事後報告(実習個別指導担当教員)	
	【予習】実習日誌、事後報告書等を点検し、準備する。	30分
	【復習】	0分
第20回	○「保育実習 -1」振り返り(2) 実習レポートを作成する。	
	【予習】「振り返り」ワークシート、実習日誌を準備する。 事後報告での指導内容を再度確認する。	30分
	【復習】実習レポートを完成させ、提出する。	45分

第21回	○「保育実習 -2」オリエンテーション(1)	
	【予習】	0分
	【復習】オリエンテーションで配布された書類を作成、整理する。	45分
第22回	○特別講義(1)	
	【予習】特別講義で取り上げられる施設について、概要を把握しておく。	45分
	【復習】	0分
第23回	○特別講義(1)の振り返り	
	【予習】	0分
	【復習】特別講義及び内容の振り返りを通じて、理解を深める。	45分
第24回	特別講義(2)	
	【予習】特別講義で取り上げられる施設について、概要を把握しておく。	45分
	【復習】	0分
第25回	特別講義(2)の振り返り	
	【予習】	0分
	【復習】特別講義及び内容の振り返りを通じて、理解を深める	45分
第26回	○特別講義(3)	
	【予習】特別講義で取り上げられる施設について、概要を把握しておく。	45分
	【復習】	0分
第27回	○特別講義(3)の振り返り	
	【予習】	0分
	【復習】特別講義及び内容の振り返りを通じて、理解を深める。	45分
第28回	○「保育実習 -2」事前指導(1)	
	【予習】施設実習計画書 施設実習計画書の作成 2月4日の1限に提出。	0分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、理解を深める。	45分
第29回	○「保育実習 -2」事前指導(2)	
	【予習】実習に当たり不明な点がないか確認しておく。	30分
	【復習】事前訪問・打ち合わせに向けた準備をする。	45分
第30回	○「保育実習 -2」事前報告(実習個別指導担当教員)	
	【予習】実習事前報告書を作成する。	45分
	【復習】実習に向けて、提出物、教材、持ち物等を点検し、不備がないようにそろえる。 学内実習事後課題(報告書)	45分

授業科目名	保育実習 -1			科目コード	C152-11				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	梅本 恵 中山 里美					
実務経験	神戸市保育所勤務25年。大学・短大からの実習生指導担当として、特に幼児クラスにおけるクラス運営と遊びの指導を行う。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育実習 保育実習指導					
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における3歳未満児を対象とした10日間の保育所実習である。 3歳未満児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	保育所の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 保育所における3歳未満児の生活の様子や発達の姿について具体的な理解を深めると共に、必要な養護や教育の基本的内容について実践的に理解する。 保育士の基本的な職務内容や役割について現場保育者からの指導を受けると共に、観察や助手的な経験を通して自ら修得								
キーワード	保育所 保育士 3歳未満児								
テキスト・ 参考書等	『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児の発達と生活、遊びに関する基本的な知識を有している。								
LO-2	【技能】 乳幼児と親和的に関わることができる。また、乳幼児の発達や興味関心を考慮して環境構成や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 個々の乳幼児の具体的な理解を基に、適切な援助の方法について考察し、実践する。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 自ら指導・助言を求め、積極的に実習に取り組む。								
LO-5	【人間性・社会性】 基本的なマナーを身につけ、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10	5		15
LO-2						10	5		15
LO-3						20	5		25
LO-4						20	5		25
LO-5						20			20
備考	その他A：実習先の保育所(園)からの評価 その他B：実習日誌の評価								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習 -2			科目コード	C152-12				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	明柴 聡史 松居 紀久子					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で12年間勤務。虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、実習生指導担当として、学生が保育所の役割を理解できるように指導								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習指導		後継科目	保育実習					
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児(者)の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	施設実習パーフェクトガイド(わかば社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児(者)発達と生活に関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能・表現】対象児(者)に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考・判断】個々の対象児(者)に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【人間性・社会性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等と対応することができる								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A)実習先施設による評価80% (B)学科教員による実習日誌の評価20%								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	初回オリエンテーション 学内実習と学外実習の位置づけについて 新型コロナ対策を踏まえた実習の在り方について	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第2回	福祉用具の使い方	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第3回	責任実習の実施計画の作成	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第4回	初日オリエンテーション(学外の社会福祉施設での実習第4回～第12回) 2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、社会福祉施設での学外実習を6日間とする。	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第5回	職員の役割の理解	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第6回	一日の流れの理解	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第7回	職員のかかわりを観察し、自らも実践する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第8回	対象者に合わせた援助を実践する 中間反省会	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】前半の反省を行い、後半の課題を抽出する。 一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第9回	対象者に合わせた援助を実践する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第10回	多職種との連携について学ぶ	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分



	責任実習として、レクリエーション等を計画し実践する。	
第11回	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】責任実習の振り返り・評価考察をし、自己課題を明らかにする。 一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
	実習のまとめ、反省会・実習後協議	
第12回	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、実習事後レポートの作成 今後の反省と課題の抽出	0分
	学外実習の振り返り、事例検討	
第13回	【予習】健康チェック、事例準備、学外実習の日誌の振り返り	0分
	【復習】事例の考察、グループの意見の整理	0分
	事例検討	
第14回	【予習】健康チェック、学外実習の日誌の振り返り	0分
	【復習】事例の考察、グループの意見の整理	0分
	事例検討、実習のまとめ、実習報告書の作成	
第15回	【予習】健康チェック、学外実習の日誌の振り返り	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、実習事後レポートの作成 今後の反省と課題の抽出	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-20				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習			担当教員名	中山 里美 梅本 恵				
実務経験	公立支援学校及び高等学校で教員として26年間勤務した経験を生かし、実習生指導担当として、学生が保育所の役割を理解できるように指導を行う。								
開講時期	2年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)	保育実習指導 保育実習 - 1			後継科目	なし				
関連科目	保育実習 教育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習」の事前事後指導として行います。1年次の講義や実習「保育実習 - 1」（保育所3歳未満児）での学びをふまえて、事前指導では3歳以上児を対象とした保育所実習として指導計画の作成や実践について学習します。事後指導では実践を通じた学びを振り返り、自己の課題を明らかにします。								
学習目標	保育実習の事前・事後指導として行う。保育実習の意義・目的を理解し、実習の内容を総合的に学び、保育の計画と実践、評価と改善、専門性について理解する。事後指導では、実習の総括と自己評価から課題を明確にする。								
キーワード	保育所 保育士 3歳以上児 担任実習 指導案								
テキスト・ 参考書等	1) 関仁志編『実習日誌の書き方』（一藝社） 2) 関仁志編『保育指導案大百科事典』（一藝社）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	[ 知識・理解 ] 保育所の機能や社会的役割、保育士の職務について理解している。								
LO-2	[ 技能 ] 幼児の生活や発達過程をふまえて、指導計画を立案することができる。保育内容や集団・個々の幼児へのかかわりを工夫し								
LO-3	[ 思考力・判断力・表現力 ] 自らの実習経験をとおして、幼児の生活や発達過程をふまえた養護や教育の基本的内容とその実践について考えることがで								
LO-4	[ 関心・意欲・態度 ] 幼児をとりまく生活環境や発達の様子、保育者の役割に関心をもち、基本的な援助の方法を身につける。								
LO-5	[ 人間性・社会性 ] 指導計画の立案や教材研究、模擬保育の実践などの課題に主体的に取り組み、指導を受けて自らの研究を深める。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70	10	20				100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3				10	10				20
LO-4			20						20
LO-5			10		10				20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的、保育実習の自己評価と自己課題の設定	
	【予習】「学外実習の手引き」で「保育実習」の目的と内容について確認する。 「保育実習 -1」を実習日誌などで振りかえり、自己課題について考える。	20分
	【復習】	0分
第2回	保育実践力の向上 実習日誌の書き方（観察の視点、記録について）、自己課題解決への取り組み	
	【予習】テキスト1第2章1～5、第6章を読んで理解しておく。	30分
	【復習】実習日誌の書き方に関する課題を仕上げる。	20分
第3回	保育実践力の向上 指導計画の作成（作成の意義とポイント）、自己課題解決への取り組み（まとめ）	
	【予習】テキスト2、テキスト3該当箇所を読み、指導計画作成の意義について確認する。	30分
	【復習】指導計画作成の意義とポイントを確実に理解する。	20分
第4回	保育実践力の向上 指導計画の作成（活動を設定して指導計画を作成する）	
	【予習】部分担任実習の指導案作成を想定して活動内容を検討する。	30分
	【復習】作成途中の指導計画を書き進める。	20分
第5回	実習事前オリエンテーション（実習に関する資料の配布、説明）	
	【予習】[持参するもの]学外実習の手引き、実習ファイル	0分
	【復習】	0分
第6回	保育実践力の向上 指導計画の作成（完成した指導案をチェックして、提出）	
	【予習】全日担任実習の指導案作成のポイント（テキスト2第6章1～2）を読み、理解する。	30分
	【復習】指導計画作成においてチェックされた箇所を確認して修正する。	20分
第7回	保育実践力の向上 教材研究【演習】	
	【予習】教材研究に必要なものを準備する（材料や資料の収集等）。	30分
	【復習】教材作成の続きを行い、完成に近づける。	30分
第8回	保育実践力の向上 教材研究【演習】	
	【予習】教材作成の続きを行い、完成に近づける。	20分
	【復習】作成した教材の実践方法を考え、練習する。	20分
第9回	学外講師による特別講義「指導計画について」	
	【予習】配布資料を読んでおく。	30分
	【復習】講義で学んだ重要なポイントをノートに整理する。	30分
第10回	保育実践力の向上 模擬保育の実践 保育実習指導 ・ 授業に参加する ミーティングID: 951 5337 4011	
	【予習】作成した指導計画や教材などを使用した模擬保育の実践に必要な準備をする。	20分
	【復習】実践の考察をする。	30分

第11回	実習事前報告 [ 個別指導担当教員の指導による ]	
	【予習】実習園を訪問し、事前打ち合わせを行う。 打ち合わせてきた内容に基づいて事前報告書を作成する。	60分
	【復習】	0分
第12回	事後指導 自己評価	
	【予習】実習中に受けた指導を日誌や反省会の記録などから整理し、確認する。	20分
	【復習】実習自己評価も参考に実習事後レポートを作成する。	120分
第13回	事後指導 実習事後報告 [ 個別指導担当教員の指導による ]	
	【予習】実習を振りかえり、事後報告書を作成する。	60分
	【復習】	0分
第14回	事後指導 自己課題の設定と課題解決のためのプラン作成	
	【予習】	0分
	【復習】自己課題解決にとりかかれるよう、必要なものを準備する（参考資料の収集、下調べ、材料の準備等）。	20分
第15回	事後指導 自己課題解決への取り組み	
	【予習】自己課題解決にとりかかれるよう、必要なものを準備する（参考資料の収集、下調べ、材料の準備等）。 自己課題解決に取り組む。	20分
	【復習】自己課題解決に取り組む。	20分

授業科目名	保育実習			科目コード	C152-21				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	中山 里美 梅本 恵					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 1 保育実習指導		後継科目						
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における3歳以上児を対象とした10日間の保育所実習である。幼児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	既習の教科目や保育実習 - 1の経験を踏まえ、10日間の実習を通して保育所の役割と機能、乳幼児の保育と子育て支援、指導計画の作成・実践・評価、保育士の業務を理解し、実習における自己課題を明確化する。								
キーワード	保育所 保育士 3歳以上児 担任実習								
テキスト・ 参考書等	厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	[知識・理解] 幼児の発達と生活・遊びに関する基本的な知識を有している。また、指導計画の意義、指導計画作成の基本的な知識を有している。								
LO-2	[技能] 幼児と親和的にかかわることができる。また、子どもの発達や興味関心を考慮した内容の活動を立案し、環境設定や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	[思考力・判断力・表現力] 個々の幼児への具体的な理解をもとに、適切な援助の方法について実践し、考察することができる。また、クラス全体へのかかわりにおいて、臨機応変に対応する。								
LO-4	[関心・意欲・態度] 自ら指導・助言を求め、積極的に参加実習や担任実習に取り組むことができる。また、指導内容を次の機会にいかして研究を深める態度が身についている。								
LO-5	[人間性・社会性] 基本的なマナーが身についており、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。また、職員としての立場を理解して適切な行動をとることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						10	10		20
LO-3						20			20
LO-4						20	10		30
LO-5						20			20
備考	その他 A : 実習先の保育所(園)からの評価 その他 B : 実習日誌等の評価								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-30				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	大森 宏一 明柴 聡史					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 2		後継科目						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育実習 の事前・事後指導を行います。保育実習 -2での学びをふまえて、保育所以外の社会福祉施設で実習することの意義・目的を理解し、保育士としての専門性について考察していきます。また、実習施設の特性について学び、支援に必要な知識や方法を理解し、実際の支援に活用できることをめざします。								
学習目標	社会福祉施設における意義・目的を、これまでの実習や講義等の学びと関連付けて理解する。 社会福祉施設における具体的支援方法を学び、実践に活用できるようになる。 計画と観察、記録、自己評価に基づく保育（支援）の改善について、実践事例を通して理解する。								
キーワード	施設サービス 生活支援 自立支援 地域 コミュニケーション 計画と評価								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『施設実習パーフェクトガイド』（わかば社） 参考資料を配布します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 実習施設や利用児者の特性を知り、必要な知識や支援内容について、説明することができる。								
LO-2	【技能・表現】 対象児者の個別的な理解に必要な観察・記録・考察のポイントを理解し、実践で活用できる。ねらいに応じた支援内容や配慮点を設定し、指導計画としてまとめることができる。								
LO-3	【思考・判断】 これまでの実習経験をふまえて、実習施設における適切な支援内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 実習施設や対象児者の現状を的確に把握し、保育者(支援者)の果たす役割及び適切な支援について、実習場面と関連付けながら検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 ノンバーバルなコミュニケーションの重要性を理解し、自らのコミュニケーション力を高める。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			20						20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			20			10			30
LO-5			10						10
備考	その他Aは、課題研究発表や討議の状況								



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的	
	【予習】実習 を選択した理由、学びたい内容を文章化しておく。	20分
	【復習】保育実習 2の振り返り事項を再確認し、今回の実習での学習課題が適当であるか、十分に検討する。	20分
第2回	実習施設の機能及び役割の理解	
	【予習】実習施設種別の機能や役割を、教科書等で確認する。 実習施設のHPなどで、施設について調べる。	30分
	【復習】実習施設に関する研究テーマを検討する。	20分
第3回	実習施設における保育士等の業務内容の理解	
	【予習】実習施設についての情報を、HPや友人等から集めておく。	20分
	【復習】実習課題をふまえた、具体的な取組内容を整理し、文章としてまとめる。	40分
第4回	保育実践力の向上 観察の視点	
	【予習】これまでの日誌をふりかえって、観察の視点を確認する。	20分
	【復習】課題を仕上げる。	20分
第5回	保育実践力の向上 記録	
	【予習】これまでの日誌の記録内容を見返し、改善点を見出す。	20分
	【復習】課題を仕上げる。	20分
第6回	保育実践力の向上 指導計画の作成（講義）	
	【予習】指導計画のポイントについて、教科書で確認する。	20分
	【復習】特別講義の内容を、整理してまとめる。	30分
第7回	保育実践力の向上 指導計画の作成（演習）	
	【予習】提示された課題について、自ら指導計画を書いてみる。	30分
	【復習】講義中に受けた助言等を参考に、指導計画を完成する。	30分
第8回	保育実践力の向上 指導計画・評価	
	【予習】指導計画作成のポイントを再確認し、新たな指導計画作成にあたる。	30分
	【復習】助言等を参考に、指導計画を仕上げる。	30分
第9回	保育実践力の向上 教材研究	
	【予習】実習で取り組みたい内容を検討し、そのために必要な準備をする。	30分
	【復習】事前準備として取り組んだ内容を完成させる。	30分
第10回	実習事前打ち合わせ準備	
	【予習】実習打ち合わせで確認すべき事項をまとめる。	15分
	【復習】実習打ち合わせの内容をレポートにまとめる。実習までに、確認すべきことを整理する。	30分

第11回	事前指導 事前報告	
	【予習】実習事前報告用紙を完成する。	15分
	【復習】教員との打ち合わせ内容を確認し、実習事前準備をすすめる。	15分
第12回	事後指導 自己評価（対象者理解、支援技術、支援計画性、学びの態度等）	
	【予習】実習のふりかえりをする。	20分
	【復習】課題レポートを仕上げる。	40分
第13回	事後指導 事後報告 グループワーク	
	【予習】課題レポートに内容を再確認しておく。	10分
	【復習】グループワークでの学びを整理してまとめておく。	15分
第14回	事後指導 自己課題の明確化	
	【予習】保育実習の実習日誌やグループワークでの学びを整理する。	20分
	【復習】担当教員との対話を通して学んだ内容を整理して記述する。	20分
第15回	事後指導 自己課題解決のためのプラン作成	
	【予習】前回の講義で検討した自己課題について、再確認する。	10分
	【復習】これからの保育者としての学びや就職活動と関連付けて、自己課題解決のためのプランをより具体化しておく。	15分

授業科目名	保育実習			科目コード	C152-31				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	大森 宏一 明柴 聡史					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で12年間勤務。虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、実習生指導担当として、学生が保育所の役割を理解できるように指導								
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 2		後継科目						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児(者)の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	施設実習パーフェクトガイド(わかば社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児(者)発達と生活に関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能・表現】対象児(者)に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考・判断】個々の対象児(者)に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【人間性・社会性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等と対応することができる								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A)実習先施設による評価80% (B)学科教員による実習日誌の評価20%								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	高木 三郎						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(教育)】 幼児期の教育に関わるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	当ゼミナールの共通参考文献・ウェブサイトは、以下の通り。また、各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。 ・外務省ホームページ < <a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj">www.mofa.go.jp/mofaj</a> >								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分



第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(保育)】 保育実習や短大での講義、日常生活場面で感じた、保育や子育てについての疑問や問題意識を整理し、子どもの育ちや親子関係についての関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。保育現場での実践に役								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能・表現】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考・判断】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントのほか、対話を通して、さらなる探究に結びつけるようにする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す 課題シートの内容を記載（もしくは別の紙に内容だけ手書きで記入）してくる。 課題シート	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	望月 健一						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（世界の児童文化）】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。 本ゼミナールでは、世界の児童文化・保育・教育、世界の伝承童謡・童話・児童文学・ファンタジー等の分野を扱う。研								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	当ゼミナールの共通参考文献・ウェブサイトは、以下の通り。また、各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。 ・外務省ホームページ < <a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj">www.mofa.go.jp/mofaj</a> >								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分



第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	梅本 恵					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習：保育・教育】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を受け、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	○オリエンテーション(1) 総合演習の全体像	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション(2) 問題意識を整理し、取り組みたいテーマをきめる	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する ・Google Scholarでキーワード検索を試みる	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める Google Scholarで文献を検索する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形表現：自らの問題意識を整理し、造形表現に関連する研究課題を設定する。設定した研究課題に応じて、制作や実践、調査活動に取り組み分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分



第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	難波 純子						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	保育内容(音楽表現指導法)	後継科目							
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習：音楽表現】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を受け、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	大森 宏一						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<p>【総合演習（体育・健康）】          自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。          本ゼミナールでは、体育・健康等の分野を扱う。研究テーマに基き班分けを行った後、班ごとに学生・教員間で意見交換</p>								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分



第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	松居 紀久子						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（保健）】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。 本ゼミナールでは、子どもの保健、病気、保健指導等の分野を扱う。研究テーマに基き班分けを行った後、班ごとに学生								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	嶋野 珠生						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(心理)】 子どもを取り巻く課題、子育て期の保護者を取り巻く課題、特に発達や心理的な問題に関わるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な心理学の調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察し、表現することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	60分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	45分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	45分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】選択した調査方法、調査対象について整理しておく	45分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】調査用紙の項目作成	60分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表に向けてのオリエンテーション資料の復習	45分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	180分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	180分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	60分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】 原稿の書き方に即して着手始める	60分



第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	60分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（福祉）】 福祉の理念・制度・方法にかかわるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】1年生で学んだ保育の振り返り、現在の子ども家庭福祉の課題について考え、自らの興味・関心を整理する。	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	保育・教職実践演習			科目コード	C161-20				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	梅本 恵 高木 三郎 明柴 聡史 嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	なし					
関連科目	総合演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	幼稚園教諭・保育士に求められる資質能力について、保育内容の構想・実践と現場保育者による講義やグループ討論を通して、具体的に学ぶ。また、幼稚園教諭二種免許及び保育士資格関連科目の履修状況や、保育・教育実習等を通しての学びをふまえ、必要な資質能力が自らに統合・形成されているかを、確認する。								
学習目標	保育者（幼稚園教諭・保育士）に必要な資質能力について、「遊びの広場」活動実践を通じて具体的に理解する。自らのこれまでの学びを振り返り、必要に資質能力が身についているか確認する。必要な資質能力を身につけるための自己課題を見出し、改善のための方法を検討する。								
キーワード	社会性・対人関係能力 乳幼児理解とクラス経営 保育内容等の指導力 使命感・責任感 教育的愛情と感性 「遊びの広場」活動実践								
テキスト・ 参考書等	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 『保育所保育指針解説』 厚生労働省 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児期の保育・教育全般及び子どもの発達や心理等に関する知識を習得し、活用することができる。「使命感・責任感、教育的愛情と感性」「社会性・対人関係能力」「乳幼児理解やクラス経営」「保育内容等の指導力」の具								
LO-2	【技能】 保育環境や教材を分析し、「保育のねらいと子どもの姿に応じた保育」を構想する力を身につけている。また、保育を行う上での基本的な表現技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 現代的な保育課題に関心を持ち、考察することができる。また、自らを省察し、必要な力が身についているかを確認するとともに、自己課題を見だし、その解決法を検討することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの状況に応じた保育実践をめざして、保育の現状や自らの保育を振り返り、適切な評価を行えるよう努めている。教育的愛情と感性を深めることを意識し、努力しようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 自らの意見をもち、他者に的確に伝えると同時に、他者の意見に耳を傾け、協力して課題に取り組むことができる。また、グループ内での役割を適切に遂行することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20		60	20			100
LO-1			20						20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4					20				20
LO-5						20			20
備考	その他Aは、グループワークの取り組み姿勢								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業内容の説明 「遊びの広場」活動の進め方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	乳幼児理解と保育内容の構想力 「遊びの広場」活動を計画する 遊びの内容と役割分担	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	乳幼児理解と保育内容の構想力 「遊びの広場」活動の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	乳幼児理解と保育内容の構想力 「遊びの広場」活動の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	乳幼児理解と保育内容の構想力 「遊びの広場」活動の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	乳幼児理解と保育内容の構想力	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	乳幼児理解と保育実践力 指導案に基づき模擬保育を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	乳幼児理解と保育実践力 「遊びの広場」活動の実践（A・Bグループ）	
	【予習】 実践に向けた準備を行う	0分
	【復習】 保育実践記録を作成する	0分
第9回	乳幼児理解と保育実践力 「遊びの広場」活動の実践（C・Dグループ）	
	【予習】 実践に向けた準備を行う	0分
	【復習】 保育実践記録を作成する	0分
第10回	乳幼児理解と保育実践力 「遊びの広場」活動ドキュメンテーションの作成	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	社会性・対人関係能力 「遊びの広場」活動実践過程の振り返りと自己課題の把握	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	社会性・対人関係能力 グループ討議の内容発表、まとめ 履修カルテの確認	
	【予習】	70分
	【復習】	180分
第13回	使命感・責任感、教育的愛情と感性 小学校現職教諭による講義	
	【予習】これまでの授業や実習における、使命感・責任感、教育的愛情と感性についての学びを整理しておく。	50分
	【復習】講義内容をまとめ、自分なりの考えを整理する。	100分
第14回	使命感・責任感、教育的愛情と感性 設定課題についてのグループ討議	
	【予習】第13回の講義内容を確認し、これまでの学びとあわせて、使命感・責任感、教育的愛情と感性の内容について考える。	60分
	【復習】グループ討議で出た意見をまとめ、発表資料をしあげる。	100分
第15回	使命感・責任感、教育的愛情と感性 討議課題についてのグループ発表	
	【予習】発表資料を確認し、わかりやすく、説得力のある発表内容を工夫する。	70分
	【復習】使命感・責任感、教育的愛情と感性についての学びと、自己課題をまとめる（レポート作成）。	180分



授業科目名	日本国憲法			科目コード	C511-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系		担当教員名	彼谷 環					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	日本国憲法の制定史をたどりながら、人権主体の多様化について具体的事例を紹介するとともに、人権を守るべき統治機構の仕組みや権能について理解を深めていく。								
学習目標	主権者として人権の重要性について理解するとともに、統治機構の役割と権限に関して知識を深める。憲法が国民と権力担当者との契約であることを認識する。								
キーワード	基本的人権 国民主権 平和主義 多文化主義 子どもの権利条約								
テキスト・ 参考書等	橋本勇人編『保育と日本国憲法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3	子どもの権利の確立と現代的課題について認識するとともに、主権者 = 国民としても人権の重要性について理解することができる。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60					40			100
LO-1									
LO-2									
LO-3	60					40			100
LO-4									
LO-5									
備考	出席カードに、最近の社会的事象について感想を書く課題を毎回設定する。授業の冒頭でその週起きた憲法的事件を解説する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	憲法とはなにか 私たちの暮らしのなかの憲法 添付資料 第1回授業に参加する 2020年5月8日 09:10 AM	
	【予習】パスワード：668952	30分
	【復習】テキストを読みノートをとめる	30分
第2回	日本国憲法の制定過程を学ぼう 第2回授業に参加する 2020年5月15日 09:10 AM	
	【予習】パスワード：511355	30分
	【復習】テキストp.29～35を読む。 テキストp.36「考えてみよう」の問題を考え、「課題提出」にレポートを提出する。	30分
第3回	法の下での平等 4つの平等と合理的区別添付資料1 第3回授業に参加する 2020年5月22日 09:10AM	
	【予習】パスワード：511355	30分
	【復習】テキストp.68～72を読む。 テキストp.76「考えてみよう」について、話し合いを踏まえて、「課題提出」に感想を提出する。	30分
第4回	信教の自由と政教分離配布資料 第4回授業に参加する。2020年5月29日 9:10AM	
	【予習】パスワード：511355	30分
	【復習】テキストp.84～88を読む。 テキストp.88「考えてみよう」についてレポートを作成し、課題提出1に提出しよう。	30分
第5回	表現の自由の意義と制約配布資料 第5回授業に参加する 6月1日 09:10AM	
	【予習】パスワード：511355	30分
	【復習】テキストp.95～99を読む。 テキストp.100「考えてみよう」を読み、話し合いを踏まえて、「課題提出1」に意見を提出する。	30分
第6回	経済的自由権と職業選択の自由添付資料1 第6回授業に参加する 2020年6月8日 AM09:10	
	【予習】パスワード：757068	30分
	【復習】・テキストp.104～108を読む ・テキストp.110「考えてみよう」を考え、課題提出1に投稿しよう（6月9日締切）	30分
第7回	「健康で文化的な最低限度の生活」とは添付資料1 第7回授業に参加する 2020年6月15日 09:10	
	【予習】パスワード：757068	30分
	【復習】・テキストp.114～122を読む。 ・テキストp.122「考えてみよう」を解き、「課題提出1」に投稿しよう。	30分
第8回	子どもの権利条約 添付資料1 第8回授業に参加する 2020年6月22日 09:10AM	
	【予習】パスワード：757068	30分
	【復習】子どもの権利条約の理念と現実との違いについて、具体的事例を挙げながらまとめよう（課題提出1に投稿する）。	30分
第9回	働く者の権利 添付資料1 第9回授業に参加する 2020年6月29日 09:10AM	
	【予習】パスワード：757068	30分
	【復習】テキストp.142「考えてみよう」の2点目の問題に取り組み、意見を課題提出1に投稿しよう。	30分
第10回	国会の権能配布資料 ・第10回授業に参加する 2020年7月6日 AM9:10	
	【予習】パスワード：757068	30分
	【復習】権力分立の仕組みがなぜ必要なのか、その理由を「課題提出1」に投稿する	30分

第11回	内閣の権能・議院内閣制と大統領制の違い 配布資料 ・第11回授業に参加する 2020年7月13日 AM9:10	
	【予習】パスワード：757068	30分
	【復習】・テキストp.153～156を読む。 ・日本国憲法が採用する議院内閣制を説明し、「提出課題1」に投稿する。	30分
第12回	裁判員制度に関する映画を視聴する ・第12回授業に参加する 2020年7月20日 AM9:10	
	【予習】パスワード：757068	10分
	【復習】・法務省制作の映画「裁判員 - 選ばれ、そして見えてきたもの」を視聴する。 ・感想を書き(800字以内)、課題提出1に投稿する。	90分
第13回	司法権の独立 当日資料 ・第13回授業に参加する 2020年7月22日 PM4:30	
	【予習】パスワード：757068	30分
	【復習】・テキストp.171「考えてみよう」に取り組み、課題提出 に投稿しよう。	30分
第14回	裁判官の独立 配布資料 ・第14回授業に参加する 2020年7月27日 AM9:10	
	【予習】パスワード：757068	30分
	【復習】授業で紹介した「大津事件」の事実と判決をまとめ、「課題提出1」に投稿しよう。	30分
第15回	平和主義 配布資料 ・第15回授業に参加する 2020年8月3日 AM9:10	
	【予習】パスワード：757068	30分
	【復習】・テキストp.180「考えてみよう」に取り組み、課題提出1へ投稿する	30分
第16回	期末レポート課題 ・「子どもの権利条約」が成立した背景と、その内容について解説しなさい。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	国際情勢			科目コード	C511-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系	担当教員名	渡部 恵子						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許(選必) 保育士資格(選必)								
授業の概要	国際情勢が複雑さを増すなか、適切な情報を選び取るリテラシーが一層求められている。多くの報道で実例に触れながら、国際情勢の基礎知識を学び、洞察力を養う。(担当教員:新聞社での実務経験あり)								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際問題に関する基礎的知識を習得する。</li> <li>2. 報道や資料のソースについて意識を高め、その信頼性について適切に判断できる。</li> <li>3. 国際報道を身近なものにするような習慣付をする。</li> </ol>								
キーワード	国際関係、国際紛争、領土、ASEAN、発展途上国								
テキスト・ 参考書等	教科書の指定はありません。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】日本と国際社会との関係を理解するうえで必要な知識を習得している。								
LO-2									
LO-3	【思考・判断】世界情勢について、判断材料となる情報や資料の信頼性について判断ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】世界の事情に関心を持ち、主体的に調べ、考察することを継続できる。								
LO-5	【社会性・人間性】ディスカッションを通して他の学生と意見を交換しながら、学びを深めることができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60			40			100
LO-1			20						20
LO-2									
LO-3			40						40
LO-4						30			30
LO-5						10			10
備考	毎回、自分のテーマに沿った新聞などの記事のスクラップノートを作り、持参すること。評価方法Aは、スクラップノートの作成を行っているかどうかを毎回講義の際にチェックし、教員が適宜コメントする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス（授業の進め方、諸注意）	
	【予習】新聞記事、特に国際面を読んでくること。	60分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第2回	現在の国際秩序の起源	
	【予習】新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第3回	アメリカの外交	
	【予習】新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第4回	国際社会の中のベトナム	
	【予習】新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第5回	台頭する中国と米中関係	
	【予習】新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第6回	朝鮮半島情勢	
	【予習】新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第7回	国際社会の中の日本 。日本の経済外交、国際貢献	
	【予習】新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第8回	国際社会の中の日本 。日本が抱える領土問題	
	【予習】新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第9回	プーチン大統領のロシア	
	【予習】新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第10回	中東情勢	
	【予習】新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分

第11回	英国の離脱後の欧州連合（EU）	
	【予習】 新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】 講義で取ったノートをチェックする。	30分
第12回	グローバル化の起源と課題	
	【予習】 新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】 講義で取ったノートをチェックする。	30分
第13回	国境を越える環境問題	
	【予習】 新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】 講義で取ったノートをチェックする。	30分
第14回	フェイクニュース	
	【予習】 新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】 講義で取ったノートをチェックする。	30分
第15回	格差と教育	
	【予習】 新聞記事、特に国際面を読み、スクラップを作る。	60分
	【復習】 講義で取ったノートをチェックする。	30分

授業科目名	自然と人間			科目コード	C514-20				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 自然科学系		担当教員名	岩坪 美兼					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高校で生物基礎・生物を履修していることが望ましい。		後継科目	自然と人間					
関連科目									
資格等 取得との関連	A・B・C、3科目の中から2科目以上を選択する科目のCとして開講。 幼稚園教諭二種免許および保育士資格取得希望者の選択必修科目。								
授業の概要	植物のかたちを正しく理解し保育教材に活かすことができるとともに、日頃目にする動物についても理解を深め、身近な動植物のかたちや種類について説明できるようになる。そのために、1. 身近な植物の葉・花の観察と教科書・プリントを用いた学習によって植物のかたちを学ぶ。2. 多様なかたちの葉・花の基本型を理解する。3. 果物・野菜の基本構造を理解する。4. 様々な植物を保育教材に活かす力を養う。5.								
学習目標	1. 身近に生える植物の葉、花、果実、それに野菜と果物のつくり(構造)を理解し、それらを保育活動に活かすことができること。2. 危険な植物や動物についての知識を深めて、それらから身を守る方法を保育活動のなかで実践できること。3. 動物と植物において多様性が生じるしくみとその進化的積極的意義を理解していること。4. ヒトの多様性が人類の幸せを築き上げるうえで重要であることを理解できていること。5.								
キーワード	身近な植物、葉のかたち、果実の構造、多様性の意義								
テキスト・ 参考書等	岩瀬徹一・大野啓一「写真で見る植物用語」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 身近に生える植物の葉のかたちや野菜・果物の構造を正確に理解していること。								
LO-2	【技能・表現】 身近に生える植物の葉、茎、花、それに野菜・果物を保育に活かす工夫ができること。								
LO-3	【思考・判断】 はじめて見る植物の葉、果実、野菜の構造の基本形を、学んだ知識に基づいて判断できること(植物園実習)。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 身の回りの植物や野菜・果実の構造と生物の多様性について興味感心を持ち、意欲的に学習に取り組むこと。								
LO-5	【社会性・人間性】 生物の多様性が生じる仕組みを理解しており、ヒトに多様性(ダウン症を含む)が生じる意味、そしてヒトの多様性の人類社会における意義を理解していること。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30	10				100	
LO-1	30		20					50	
LO-2	10		10					20	
LO-3				10				10	
LO-4	10							10	
LO-5	10							10	
備考	植物の葉の観察を行い、基本構造を踏まえたスケッチを提出する。基本構造の認識に誤りがある場合は、次の時間に板書で解説する。加えて関わりの深い動物や、幼児が興味を持つ動物について理解を深めるためにプリントを用いた学習も行う。16回目に、筆記による試験を行います。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等についての説明) 植物の学名、和名、種名、品種名を学習する。一枚の葉の構造を理解する。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	30分
	【復習】授業の内容全体を確認する。	60分
第2回	植物の根と茎と葉の見分け方、花の構造と葉の構造を理解する(天気が良ければ学内の植物の花や葉を観察しながら理解を深める)。	
	【予習】テキストを用いて、植物のおよその構造を理解する。	30分
	【復習】植物のおよその構造を理解する。身近に生えている単葉の植物の葉の構造について理解を深める。	60分
第3回	葉の見分け方と野外での危険な動物 I。 1) 単葉から複葉への進化1: 鳥羽単葉、掌状単葉、三行脈の単葉。2) 野外活動で危険から身を守る方法、危険な動物(ハチ、ヘビ、クマ)へ遭遇した際の対処方法。	
	【予習】プリントとテキスト(44-57ページ)により、葉の多様性を学習する。	30分
	【復習】葉の多様化の基本的な仕組みを理解する。	60分
第4回	葉の見分け方と野外での危険な動物 II。 2) 単葉から複葉への進化2: 掌状単葉、掌状複葉。2) 危険な動物(ハチ、ヘビ、クマ)への具体的な対処方法。	
	【予習】プリントとテキスト(57-61ページ)を読み、葉の多様性を学習する。	30分
	【復習】掌状単葉から掌状複葉への変化の規則性を理解する。	60分
第5回	葉の見分け方 1) 単葉から複葉への進化。2) 鳥足状葉のでき方(天気が良ければ学内の植物の葉を観察しながら、学習を深める)。	
	【予習】プリントを学習して、複雑な葉の多様性を理解する。	30分
	【復習】単葉から複葉への変化を理解するとともに鳥足状葉が形成される仕組みを習得する。	60分
第6回	茎・果実・葉の付き方を理解する(偽茎、互生・対生・輪生、葉縁のかたち、単葉から複葉への変化)。	
	【予習】プリントとテキストから、葉の多様性を理解する。	30分
	【復習】葉の付き方と規則性を習得する。	60分
第7回	植物園で葉や実を使った工作、および葉の多様性について学習する(2コマの授業を土曜日に実施(第7回と第8回)する)。	
	【予習】葉の多様性についてプリントと教科書で学習する。	90分
	【復習】植物園を園児が利用する際の工夫について考える。	90分
第8回	(植物園で7、8回を連続して実施)	
	【予習】葉の多様性についてプリントと教科書で学習する(天気が良ければ学内の植物の葉(落ち葉を含む)を観察しながら、かたちの多様性、黄葉(紅葉)のしくみ、落葉と常緑の葉の構造の違いについて理解を深める)。	60分
	【復習】植物園および身近に生える植物を園児が理解できるようにする工夫について考える。	60分
第9回	植物の茎の多様性	
	【予習】テキストを読み、茎の構造を理解する。	30分
	【復習】茎の多様性を把握する。	30分
第10回	果実の構造 果実の構造を実際に観察する。	
	【予習】プリントとテキストを読み、果実の多様性を理解する。	45分
	【復習】果実はどのような構造からなっているかを習得する。	45分



第11回	野菜の構造 野菜の構造を観察する。	
	【予習】プリントとテキストを読み、野菜の多様性を理解する。	30分
	【復習】野菜として食べている部分は植物のどの部位かを把握する。	60分
第12回	性決定の多様性 1.性染色体をもつ生物の性決定方法	
	【予習】プリントで学習する。	60分
	【復習】性染色体を持つ生物の性決定のしくみを復習する。	60分
第13回	性決定の多様性 2.自然環境や社会環境により性が決まる生物の性決定方法	
	【予習】プリントで学習する。	60分
	【復習】自然環境、社会環境によって性が決定したり、性が変わる生物の性決定のしくみを復習する。	60分
第14回	減数分裂の異常がもたらす生物の多様性	
	【予習】減数分裂のしくみを配布プリントで学習する。	60分
	【復習】減数分裂について、その仕組みを復習する。	60分
第15回	植物の多様性とヒトの多様性	
	【予習】これまで学習した植物の葉・果実・花の多様性全般について学習する。	60分
	【復習】ヒトを含めた動物、植物に多様性が存在する意義を考える。	60分

授業科目名	体育講義			科目コード	C515-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	大森 宏一					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	生涯スポーツ								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	体育講義では、健康な生活を送るための身体と心の発達やトレーニングの方法について学びます。また初年次前期の講義であるためグループワークを通して協調性などを学びます								
学習目標	現代社会におけるスポーツ・健康に関する問題を捉えることができる。 運動処方の方法を理解する。 共に豊かに健康的に生きることについて理解し実践できるようにする。								
キーワード	健康、体力、運動、運動処方								
テキスト・ 参考書等	参考：倉・大森編 「子どもが育つ運動遊び」 みらい 2016年								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】生涯にわたって健康を維持するための身体活動・運動の必要性を理解している。健康診断、体力・運動能力、形態を客観的に評価する方法、目的にあわせた運動処方の理論と方法について理解している。								
LO-2	【技能】個人の健康・体力づくりに必要な情報を適切に評価し、自らの運動処方を行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】現代的なスポーツ・健康に関する問題を捉え、その実践的な問題解決の方法を主に身体活動・運動の視点から考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分の身体についての関心を高めさらに向上させようとすることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループでのディスカッションなど仲間と共に活動することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		70				30			100
LO-1		20							20
LO-2		30							30
LO-3		20							20
LO-4						15			15
LO-5						15			15
備考	小テストを行う。ミニツペーパーより質問等に答える。 その他：A LO-4・LO-5 ミニツペーパー及び講義ノートによる関心度から考慮する。授業態度(グループへの関与)の参加度とする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	体育講義第一回目 5月11日 5時間目 オリエンテーション、授業の概要説明	
	【予習】シラバスを見ておくこと パスワード: Taiku1 ( Tは大文字 1は数字です )	60分
	【復習】授業の概要、評価方法、を整理しておくこと	90分
第2回	体育講義 2回目 身体不活動と筋力について	
	【予習】現代人の運動量と筋力低下問題について考える パスワード: Taiku2 ( Tは大文字 2は数字です )	90分
	【復習】自分にできる運動を考える 保育者としての体力を考える	90分
第3回	体育講義 3回目 5月25日(月)5時間目 オリンピックについて 勝利至上主義について考える。 粗協調の発生と定着・精協調の発生と定着・運動の自動化について	
	【予習】2020オリンピックについて様々な新聞 ニュースなどの記事を読んでおくこと パスワード Taiku3 ( Tは大文字 3は数字です )	0分
	【復習】オリンピックと勝利至上主義についてまとめること、また、保育者になった時、子どもとどのように運動遊びを楽しむかを考えること。	0分
第4回	6月1日(月)4限 合同 1年生 体力について	
	【予習】体力の構成要素について自分なりに調べておくこと。 パスワード: Taiku ( Tは大文字 本日は 限目です )	0分
	【復習】体力について 防衛体力 行動体力 身体的要素 精神的要素を まとめること	0分
第5回	6月8日(月)4限目 体育講義 体力向上のための運動プログラムについて	
	【予習】体力について復習しておくこと パスワード: 349697 (パスワードは 数字になります)	60分
	【復習】様々な、体力向上プログラムの中から自分に適したものを実践してみる	90分
第6回	6月15日 限目 体育講義 体力向上について プログラムの考え方	
	【予習】パスワード: 273757 体力トレーニングについて、ネットなどを見ておくこと	60分
	【復習】トレーニングを実践してみる。	90分
第7回	6月22日(月)4限 体育講義 7回目 運動会について、歴史と他国との比較 アルコール、薬物と体への影響について	
	【予習】薬物の種類やアルコールなどについて、新聞やニュースを見ておくこと パスワード: 832868	60分
	【復習】保育現場における運動会のあり方を自分なりに考える 薬物、アルコールなど、その危険性を十分認識する	90分
第8回	課題本日の課題 6月29日6月29日(月)4時間目 8回目 ミーティングID: 986 8866 1663 パスワード: 331281	
	【予習】これまでの講義を整理すること。 パスワード: 331281	0分
	【復習】理解不足のところを整理すること。	0分

授業科目名	生涯スポーツ			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	大森 宏一 立島 真					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	フィットネスとして、ウォーキングや自重トレーニングを実践し心拍数の変化や主観的運動強度をチェックしながら、フィットネスとしてのウォーキングや自重トレーニングを理解する。 基本ストローク(サーブ、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ)の技術の向上を図るとともに、バドミントンのゲームを楽しめ、審判もできるといったレベルを目指す。これまでの運動経験から受講生の技術に差が								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高める。								
キーワード	生涯スポーツ、バドミントン、フィットネス、ウォーキング								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	バドミントンのルールや審判法を理解し、一人でゲームを進行できる。								
LO-2	バドミントンの基本ストロークをゲームに応用できる。								
LO-3	自分で計画した運動内容、実施結果を分析し、考察できる。								
LO-4	健康の維持・増進や体力の向上に関心が高く、バドミントンに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意して練習・ゲーム等を行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	グループ活動において人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し安全で楽しい活動に取組める。バドミントンに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10			90			100
LO-1						20			20
LO-2						30			30
LO-3			10						10
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	lo1:審判法についての理解度より判断する。lo2:サーブ、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュなどの技術より判断する。lo4:道具の整理整頓や片付けなど積極的に行っているかを判断する lo5:グループやクラスの中でお互いに切磋琢磨しながら、能力を高め合うことができるようなかかわりができているかを、運動の様子や言動から総合的に判断する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	5月13日 4時間目 1年4組 大森 ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査、班編成、ストレッチ、トレーニング、ラケット・シャトルの扱い 【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	4時間目 の 1年4組 の z o o m パスワード: Spo1-4-1 (Sは大文字 polは 小文字 1 - 4 - 1は数字です)	45分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。セルフモニタリングシート(期日、予習としてのトレーニング内容、セルフ評価などを記入)の様式を作成する。	
第2回	1-3「歩くことの意義」「正しい歩き方」の内から、興味関心のある方を選び課題レポートとして提出する。 1-4 ストレッチの基礎知識とストレッチの実際を行います。ストレッチのできる環境で安全に留意しながら行ってください。レポートの提出方法は、当日お知らせします。 生涯スポーツ 第2回目 1年4組 5月20日(水)4時間目 【予習】	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
	1-4: ノートに本日のストレッチの概要と方法を記入すること シラバス(7)に学びと感想を記述する(出席確認含む) 1-3 30分間のウォーキングと主観的運動強度と心拍数の測定	
第3回	1-4 ストレッチングの実際と自重を使ったトレーニングの実際 【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	1-4 ストレッチング と自重トレーニングを行いますトレーニングができる環境と準備をします 【復習】1-3セルフモニタリングシートの記録(課題提出1に添付)	5分
	1-4 実施した内容と授業での内容をノートに記述すること ダブルスゲームと審判方法	
第4回	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	1年4組 3時間目 パスワード Spo1-4-4 (Sは大文字です) 【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
	1年4組 本日の内容をノートに記述すること チーム対抗団体戦(ダブルス)	
第5回	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
	チーム対抗団体戦(ダブルス) 【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
第6回	1 - 4 パスワード 080484 【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
	1-4 ヨガについては方法を簡潔にノートへ記述のこと チーム対抗団体戦(ダブルス)	
	1年4組 6月24日(水)3限 生涯スポーツ 【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
第7回	1年4組 自宅にて2畳程度のスペースがあるとよい。 【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
	1年4組 ノートへ記述すること チーム対抗団体戦(ダブルス)	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
第8回	1-4 調整力の運動を行います。先週と同様に2畳ぐらいのスペースを確保して下さい 【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
	チーム対抗団体戦(ダブルス) 1-4 補講(体育館で行います) 7月4日(土)1・2限	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
第9回	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
	シングルスでのゲームとレベル別班編成	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
第10回	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分

第11回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。 1 - 4 調整力のトレーニングをします	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第12回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第13回	レベル別班編成とダブルスゲーム 1-4 7月22日（水）3限 7月22日3限 1-4	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第14回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】セルフモニタリングシートのまとめとして反省の総括、体の変化、運動継続の秘訣などを記したレポートを作成する。	30分
	【復習】セルフモニタリングシートのまとめとして反省の総括、体の変化、運動継続の秘訣などを記したレポートを作成する。	30分
第15回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】セルフモニタリングシートにレポートを加え、全てのシートを確認し、提出する。	5分
	【復習】	0分

授業科目名	生涯スポーツ（ゴルフ）			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	立島 真					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康（バドミントン）健康スポーツ ・（スノースポーツコース） 運動と健康								
資格等 取得との関連									
授業の概要	ゴルフに関心のある学生を対象とし、基礎レッスン、ルール、マナーの講義や実習を通して、生涯スポーツとしてゴルフを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は主に学外のゴルフ練習場で行い、移動の際は原則大学のバスを利用します。まとめとしてゴルフコースでのラウンド実習を行う予定です。授業経費10,000円程度は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上で有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、集中授業、ゴルフ								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	コースのラウンドを進行するためのルールやマナーを理解している。								
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットができる。								
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブを一通り使うことができる。								
LO-4	ゴルフに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意してレッスンを行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	レッスンやコースラウンドにおいて人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し、安全で楽しい活動に取り組める。ゴルフに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査（学内教室）	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】レッスン内容について確認する。	30分
第3回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第4回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第5回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第6回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第7回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第8回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第9回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第10回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×実習までの10日間） レッスン内容について確認する。	130分



第11回	ゴルフのマナーとルール、安全上の注意とラウンド予定（学内教室）	
	【予習】ゴルフのルール、マナーについて確認する	40分
	【復習】	0分
第12回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】	0分
第13回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】スコアカードの提出とともに、初ラウンドを振り返る。用具を確認し、返却する。	60分

授業科目名	生涯スポーツ（スノースポーツ）			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	立島 真					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	生涯スポーツ 生涯スポーツ(ゴルフコース) 運動と健康								
資格等 取得との関連									
授業の概要	スノースポーツに関心のある学生を対象として、スキー・スノーボードの基礎レッスンや講義を通して、生涯スポーツとしてスノースポーツを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は二泊三日の集中授業で長野県・梅池高原スキー場で行います。授業に関わる経費21,000円程度(宿泊費・食費・交通費)とレンタル料、リフト代は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ スキー スノーボード 集中授業								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。								
LO-2	滑降に関する基本的な技能ができる。								
LO-3	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。								
LO-4	スノースポーツに必要な技術の獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。								
LO-5	グループ活動において、人の気持ちを思いやり仲間と協調して活動に取り組める。スノースポーツに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、実習の説明、健康状況調査、事前トレーニングについて	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	滑走能力と班編成(講義)	
	【予習】2泊3日の実習に備えて事前トレーニングを行う。（スキー場での事前滑降を推奨する）	240分
	【復習】	0分
第3回	スキー場の危険性とマナー、装備や用具の重要性について(講義)	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具及び自分の用具・装備を確認する。	60分
第4回	開校式、 班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】	0分
第5回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分
第6回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第7回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第8回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第9回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第10回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分

第11回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第12回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第13回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第14回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第15回	班別での総合滑降、閉講式	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具やヘルメット、ゼッケンなどを確認し、返却する。	60分

授業科目名	英語			科目コード	C531-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	望月 健一					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	英語					
関連科目	キャンパス&ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	[対面授業] 保育や幼児教育、児童福祉を学ぶ学生のために作成されたテキストに沿って授業を進める。世界の子どもたちが集まる架空の保育園で、保育実習生が遭遇する、さまざまな場面で使用される英語の表現を、リスニング、会話練習、英文解釈、英作文、マザー・グースの歌を使った聞き取り・発音練習など、多彩な活動を通して学ぶ。								
学習目標	総合的な英語力の向上を目指す。主に保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる表現を学ぶ。								
キーワード	保育の場面で使われる英語の語彙、会話表現、文章、作文、コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	[テキスト] Children's Garden 『保育英語』赤松直子(成美堂) ¥2,400(税別)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる英語の語彙を習得している。								
LO-2	【技能】 短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。また、簡単な英語の問いに答えることができる。								
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者とのコミュニケーションで、伝えたいことを表現することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	40				20			100
LO-1	20	20							40
LO-2	20	20							40
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	<b>【成績評価方法】</b> 中間試験(40%程度)、最終試験(40%程度)、授業への参加・予習状況(20%程度)[その他、A]とする。 *試験については、採点后答案を返却し、解説を行う。 <b>【履修上の注意点等】</b>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、Chapter 1 Children's Garden こども園保育園(1) - 1-1 Judging from Pictures (イラストを見て質問に答える)、1-2 Listening Comprehension (保育の場面の会話:リスニング)	
	【予習】 1-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第2回	Chapter 1 Children's Garden こども園保育園(2) - 1-3 Advice for the Internship (実習のためのアドバイス)、1-4 Conversation (保育の場面の会話:会話練習)	
	【予習】 1-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。1-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第3回	Chapter 1 Children's Garden こども園保育園(3) - 1-5 Reading and Listening (日誌を読む)、1-6 Good Time with Nursery Rhymes (マザーグースの歌・手遊び歌)	
	【予習】 1-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第4回	Chapter 2 The First Day of the Internship 実習初日(1) - 2-1 Judging from Pictures, 2-2 Listening Comprehension, 2-3 Advice for the Internship	
	【予習】 2-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、2-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第5回	Chapter 2 The First Day of the Internship 実習初日(2) - 2-4 Conversation, 2-5 Reading and Listening, 2-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 2-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、2-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第6回	Chapter 3 Out We Go! さあ、出かけましょう! (1) - 3-1 Judging from Pictures, 3-2 Listening Comprehension, 3-3 Advice for the Internship	
	【予習】 3-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、3-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第7回	Chapter 3 Out We Go! さあ、出かけましょう! (2) - 2-4 Conversation, 2-5 Reading and Listening, 2-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 3-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、3-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。また、中間試験に向けて、教科書 Chapter 1～3 の総復習を行う。	120分
第8回	中間試験、Chapter 4 Splish, Splash バシャバシャ、水しぶき(1) - 4-1 Judging from Pictures	
	【予習】 4-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第9回	Chapter 4 Splish, Splash バシャバシャ、水しぶき(2) - 4-2 Listening Comprehension, 4-3 Advice for the Internship, 4-4 Conversation	
	【予習】 4-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。また、4-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第10回	Chapter 4 Splish, Splash バシャバシャ、水しぶき(3) - 4-5 Reading and Listening, 4-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 4-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分

第11回	Chapter 5 Pancake Day ホットケーキの日(1) - 5-1 Judging from Pictures, 5-2 Listening Comprehension, 5-3 Advice for the Internship	
	【予習】 5-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、5-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第12回	Chapter 5 Pancake Day ホットケーキの日(2) - 5-4 Conversation, 5-5 Reading and Listening, 5-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 5-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、5-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第13回	Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories 本を読んで、お話を聞かせて(1) - 6-1 Judging from Pictures, 6-2 Listening Comprehension, 6-3 Advice for the Internship	
	【予習】 6-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、6-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第14回	Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories 本を読んで、お話を聞かせて(2) - 6-4 Conversation, 6-5 Reading and Listening, 6-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 6-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、6-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第15回	学習のまとめ	
	【予習】 なし	0分
	【復習】 最終試験に向けて、教科書 Chapter 4 Splish, Splash, Chapter 5 Pancake Day, Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories の復習を行う。	120分

授業科目名	英語			科目コード	C531-11				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	望月 健一 シェリー・スキャンラン					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	英語		後継科目	なし。					
関連科目	キャンパス&ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	望月：保育や幼児教育の場面で使用される表現の習得に重点を置く。1年次後期に使用したテキスト Children's Garden の後半の章を取り上げる。 Scanlan：Every week students will have a different fairy tale in English. During lessons the students will work on vocabulary and grammar in the stories. They will also work on comprehension and the elements found in a fairy tale. Short								
学習目標	望月：総合的な英語力の向上を目指す。主に保育の分野で使われる表現を学ぶ。 Scanlan：Students will use all four elements of English (listening, speaking, * reading, writing) by studying a famous fairy tale each week. (*due to Covid 19 and social distancing, there will be more emphasis on reading/writing than speaking.) (学生は毎週有名なおとぎ話を勉強し、英語の4技能(聞く、話す*、読む、書く)すべてを使う。(*新型コロナ・ウ								
キーワード	保育、幼児教育の分野、おとぎ話、絵本で使われる英語の語彙、表現								
テキスト・ 参考書等	Children's Garden 『保育英語』赤松直子(成美堂)¥2,400(税別)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現を習得している。また、短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。								
LO-2	【技能】短い文章やおとぎ話を書くことができる。また、簡単な英語の問いに答えることができる。								
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】適切にコミュニケーションをはかる意欲と能力があり、授業での活動において他の学生と協力することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	50				20			100
LO-1	15	10							25
LO-2	15	10							25
LO-3		10							10
LO-4		10				10			20
LO-5		10				10			20
備考	【成績評価方法】 望月：最終試験(30%程度)、授業への参加・予習状況[その他、A](20%程度)とする。 Scanlan：Students grades will be based on a final test。(最終テスト(50%)に基づき、成績評価を行う。) 【グループ分けと授業運営方法】								



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(1) - 7-1 Judging from pictures, 7-2 Listening Comprehension	
	【予習】 7-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第2回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(2) - 7-3 Advice for the Internship, 7-4 Conversation	
	【予習】 7-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。また、7-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第3回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(3) - 7-5 Reading and Listening, 7-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 7-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第4回	Chapter 8 Happy Birthday お誕生日おめでとう(1) - 8-1 Judging from pictures, 8-2 Listening Comprehension, 8-3 Advice for the Internship	
	【予習】 8-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、8-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第5回	Chapter 8 Happy Birthday お誕生日おめでとう(2) - 8-4 Conversation, 8-5 Reading and Listening, 8-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 8-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、8-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第6回	Chapter 9 Children at Play 子どもと遊び(1) - 9-1 Judging from pictures, 9-2 Listening Comprehension, 9-3 Advice for the Internship	
	【予習】 9-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、9-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第7回	Chapter 9 Children at Play 子どもと遊び(2) - 9-4 Conversation, 9-5 Reading and Listening, 9-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 9-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、9-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第8回	Introduction to class (イントロダクション) Self Introduction (自己紹介) Overview of fairy tales (おとぎ話概観)	
	【予習】 None (なし)	0分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	40分
第9回	Little Red Riding Hood (小さな赤ずきんちゃん) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	40分
第10回	The 3 Little Pigs (三匹の子ぶた) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	40分

第11回	The Boy Who Cried Wolf (オオカミが来たと叫んだ少年) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	40分
第12回	Stone Soup (石のスープ) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	40分
第13回	The Frog Prince (カエルの王子さま) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	40分
第14回	Final test (最終テスト)	
	【予習】 Review all the fairy tales you've learned. (学んだすべてのおとぎ話の復習をする。)	90分
	【復習】 Review all the fairy tales you've learned. (学んだすべてのおとぎ話の復習をする。)	50分
第15回	学習のまとめ 教科書 Chapter 7 Activities with Watermelons, Chapter 8 Happy Birthday, Chapter 9 Children at Play	
	【予習】 教科書 Chapter 7 Activities with Watermelons, Chapter 8 Happy Birthday, Chapter 9 Children at Play について質問を考えてくる。	40分
	【復習】 最終試験に向けて、教科書 Chapter 7-9 の総復習を行う。	120分

授業科目名	基礎演習			科目コード	C551-10				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	高木 三郎					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	教育実習、保育実習指導					
関連科目	自然と人間 コミュニケーションと情報 現代社会と人間								
資格等 取得との関連									
授業の概要	学びのための学び。幼児教育学を学ぶために必要な話す・聞く・読む・書く・調べる・考えるの6つの基礎力を中心に、感性の磨き方から、プレゼンテーションの方法まで、学びの基礎的な知識、技能に習熟する。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ姿勢を持ち続ける。</li> <li>学びに必要な表現・コミュニケーション・思考に関わる技能を身につける。</li> <li>保育をめぐる事象に関心を持ち、課題を設定することができる。</li> <li>課題解決のための基本的な方法技術を身につける。</li> </ul>								
キーワード	学び スタディースキル 表現・コミュニケーション クリティカルシンキング								
テキスト・ 参考書等	・特になし。各回の講義ごとにプリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育について学ぶことへの構えを持っている。</li> <li>教授内容を理解し、まとめる言語能力を持っている。</li> </ul>								
LO-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや感情を的確に文章や音声に表現できる技術を身につけている。</li> <li>他者との望ましい人間関係を築くための技法を身につけている。</li> </ul>								
LO-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現することができる。</li> <li>情報を批判的にとらえ、主体的に判断することができる。</li> </ul>								
LO-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価、相互評価をとおして、自らの成長に生かすことができる。</li> <li>新聞、書物などの読書、資料収集をとおして、保育者としての生き方を深めることができる。</li> </ul>								
LO-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>班別の協議、発表、作業に積極的にに関わり、自らを表現することにより、他者との協働を図ることができる。</li> <li>他者との共感性をもって関わることができる。</li> </ul>								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			35	35	20	10			100
LO-1			15	15					30
LO-2			10	10	10				30
LO-3			10	10	10				30
LO-4						5			5
LO-5						5			5
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他Aは班別作業への参加。</li> <li>成果発表については、コメントを返す。</li> <li>提出されたレポートや作品については、優秀なものを学生に提示し、学びを深める機会とする。</li> </ul>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	・授業の概要説明 ・Zoomの利用法について 基礎演習配布資料	
	【予習】シラバスに目を通しておく 自己紹介のPowerPointを作成する	10分
	【復習】・保育者に必要な感性についてまとめておく。	20分
第2回	講義PP ・感性の意義 幼児期の感性の重要性について理解を深める。	
	【予習】・自分の感性の癖を把握する	10分
	【復習】幼児期における感性の重要性をまとめておく。	20分
第3回	感性とは 講義資料・感性を磨く技術 ・感性を磨く方法として、リフレーミングと傾聴の技法を理解し練習する。 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kiso1-3-3 自分のコミュニケーションスタイルの個性を整理しておく	20分
	【復習】・リフレーミングと傾聴の意義をまとめておく。	20分
第4回	授業PP・コミュニケーションの基本 ・コミュニケーションをスムーズにする技術として、アサーティブ・コミュニケーションを理解し練習する。 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kiso1-3-4	20分
	【復習】アサーティブコミュニケーションの方法を整理しておく。	30分
第5回	・説明の基本 ・ラポールトークとリポートトークの違いを理解する。 ・わかりやすい説明の順序を理解し練習する。	
	【予習】パスワード: Kiso1-3-5 自分の住む家の場所を説明する文章を作り、その説明の特徴を整理する、	20分
	【復習】わかりやすい説明の順序を整理しておく。	20分
第6回	・説明の基本 ・報連相の基本を理解する。 ・簡三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kiso1-3-5 報連相で大変なことを整理してみる。	20分
	【復習】簡潔に伝える方法を整理しておく。報連相の重要性を整理しておく。	20分
第7回	説明の基本3. タイトルのつけ方とレジюме作成の仕方を理解し、練習する。 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Kiso1-4-7 新聞記事等を見て、関心を引く見出しをピックアップしておく	20分
	【復習】宿題のレジюмеを完成させる。	30分
第8回	パソコン操作の基本と絵本の選定 パワーポイント作成の基本を学ぶ。 絵本紹介用の絵本を選ぶ。	
	【予習】紹介したい絵本を考えておく。	20分
	【復習】パワーポイントの操作方法を復習しておく	20分
第9回	まとめ方のスキル 絵本紹介用のレジюме作成を通して、伝えたい内容を、わかりやすく要領よくまとめる練習をする。	
	【予習】レジюмеの概要をイメージしておく	30分
	【復習】レジюмеを完成し、紹介方法を考える	20分
第10回	・ゼミ授業(1回目) 先生や学生に向かって、伝えたい内容をわかりやすく要領よく話す練習をする。 自己紹介 絵本紹介	
	【予習】発表内容を整理し、事前練習をしておく	30分
	【復習】講義中での評価を整理し、自己の課題を整理しておく	20分

第11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>本の読み方のスキル</li> <li>本の「はじめに」「おわりに」、目次を利用して、本の概要を知る方法を学ぶ。</li> <li>図書館の利用方法を知る</li> </ul>	
	【予習】自分の本の読み方の個性を振り返る	10分
	【復習】本や資料の検索方法をまとめておく	30分
第12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>本の読み方・まとめ方</li> <li>本の概要レジュメの作成を通して、要領よく書いてまとめる練習をする。</li> </ul>	
	【予習】レジュメ作成のイメージをはっきりさせておく	10分
	【復習】レジュメを完成させる	30分
第13回	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ方・まとめ方</li> <li>関心のあるテーマについての調べ方を学ぶ。</li> <li>調べたいテーマを決める。</li> </ul>	
	【予習】大学におけるレポートの位置づけについて、考えておく	10分
	【復習】レポートの作成を進める	30分
第14回	<ul style="list-style-type: none"> <li>書く技術</li> <li>レポート作成を進める。</li> </ul>	
	【予習】レポートの進捗状況を確認し、今後の日程を考える	30分
	【復習】レポートを完成させる	30分
第15回	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゼミ授業（2回目）</li> <li>先生や学生に向かってレポート内容を説明し、お互いに評価し合う。</li> </ul>	
	【予習】レポートの発表の仕方を考え、事前練習しておく	60分
	【復習】講義中での評価を整理し、自己の課題を整理しておく 講義内容を整理しておく	35分

授業科目名	国語表現			科目コード	C551-20				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	奥野 美友紀					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	子どもと言葉 保育内容(言葉)指導法 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な言語活動の場面を想定し、それに即した実践的かつ総合的な表現能力を身につけるよう演習する。</li> <li>・班やグループ活動による相互評価・意見交換・共同作業を通して、コミュニケーションスキルの伸長を図る。</li> <li>・実践的な側面にとどまらず、創作等も行行うことで、保育現場での言語生活や子どもの言語発達をより深く理解するため</li> </ul>								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの言語表現に寄り添い、その発達をうながすことができるよう、保育者自身の言語感覚を養う。</li> <li>・他者と協働していくための適切なコミュニケーションスキルを身につける。</li> <li>・客観的な視点をもって考え、自ら分析・判断することができる。</li> </ul>								
キーワード	言葉、言語・非言語、コミュニケーションスキル、論理的、思考力、自己評価・相互評価、リテラシー								
テキスト・ 参考書等	橋本修・安部朋世・福嶋健伸編著『大学生のための日本語トレーニング スキルアップ編』（三省堂、2008） この他、必要に応じて随時プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことば遊びや絵本の読み聞かせなどについての知識を持っている。</li> <li>・新聞や書物などに述べられている幼児教育・保育に関する課題に関心を持ち、把握することができる。</li> </ul>								
LO-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を分析的にとらえ、論理的にわかりやすく表現することができる。</li> <li>・社会人としてふさわしい言語表現のありかたについて習熟している。</li> </ul>								
LO-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語表現について、論理的・客観的に読み取り（聞き取り）、書く（話す）ことができる</li> <li>・場面や相手を意識した、適切な社会活動を行うことができる。</li> </ul>								
LO-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語表現を通して、自己評価・相互評価をそれぞれ習慣づけるとともに、自らのありようや生きかたについて考えることができる。</li> </ul>								
LO-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループによる協議・発表・作業に積極的にかかわり、自らを表現すると同時に他者との協働を図ることができる。</li> <li>・社会生活における他者への共感性を身につけている。</li> </ul>								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		10	30	50		10			100
LO-1				10					10
LO-2		5	10	15					30
LO-3		5	10	15					30
LO-4			10	10		5			25
LO-5						5			5
備考	<p>「作品」には、課題プリント等提出物を含む。Aは、グループワークをはじめとする授業への参加態度。課題の提出は、授業だけでなく授業時間外の丁寧な取り組みを前提とします。また、さまざまなものごとに興味を持ち、よく考えることを大切にしてください。受講生の皆さんが主役の授業です。自発的かつ積極的な参加態度を期待します。質問も大いに歓迎します。</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション この授業の概要と目的について。アンケート記入。 自己紹介。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を理解する。 自分の言語生活を振り返る。	30分
	【復習】授業の全体像の確認。 国語表現を学ぶ目的についてまとめる。 教科書に目を通しておく。	60分
第2回	話すスキルと聴くスキル さまざまな場面を想定した役割演技を通し、互いにつながるための技法を身につける。 適切なことば(内容・表現)を選んで、他者に伝える練習をする。	
	【予習】配付資料を読み、内容を整理する。	60分
第3回	【復習】課題プリントを仕上げる。	60分
	「紹介」してみよう わたしの1冊 「わたしの1冊(絵本)」を選び、紹介する。 絵本の選び方とその意義について学び、ふさわしい読み方についても理解を深める。	
第4回	【予習】印象に残っている絵本について、ふりかえっておく。 または、選んでおく。 紹介したいポイントについて整理しておく。	120分
	【復習】絵本についての考えをまとめる。 紹介文を完成させる。	120分
第5回	日本語の表記の基礎 文章作成の基礎となるルール(仮名遣い、表記法、句読点の打ち方等)について、ふりかえるとともに理解を深める。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】日本語表記のルールについて再確認し、プリントで間違えた箇所については、なぜ間違えたのかを理解したうえで習熟する。	60分
第6回	敬語の基礎 敬語の分類とそれぞれの性格・はたらきについて学ぶ。	
	【予習】「日常生活の中で敬語をつかうことはあるか」「どのようなときに、どのような相手に対して敬語をつかうか」「なぜ敬語をつかうのか」など、敬語と自分の関わりについてまとめておく。	30分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について、なぜそうなるのかを理解したうえで確認しておく。 課題プリントを仕上げる。	60分
第7回	敬語の基礎 さまざまな場面における敬語とその用法について学ぶ。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点を確認しておく(小テストに向けての復習)。	60分
第8回	小テスト(敬語) メールの書き方 社会人としてふさわしいメール作成のルールを習得する。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	30分
第9回	メールの書き方 さまざまなコミュニケーションのあり方を知り、時と場合によって使い分けるとの重要性について学ぶ。	
	【予習】配布資料を読み、課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について確認しておく。	30分
第10回	わかりやすい話し方・説明のしかた 具体的な場面を例に、口頭で伝達・説明する際に考慮しなければならない点について考え、学ぶ。	
	【予習】話し言葉でうまく説明できた・できなかった経験について例を挙げ、その理由についてまとめておく。 課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえっておく。	30分
第11回	論理的に考える 社会生活の基礎となる、論理的な思考のしかたについて学ぶ。	
	【予習】配付資料を読み、課題に取り組んでおく。	60分
	【復習】課題プリントを完成させる。	60分

第11回	論理的に考える 情報を客観的に捉え、物事を多面的な視点から捉えることの重要性を学ぶ。また、意見や主張の根拠を吟味し、検証することに習熟する。	
	【予習】課題プリントを完成させる。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	30分
第12回	文章作成の基礎 身近なテーマを例に、いままで学習した内容をふまえて1,000字程度の文章を作成する。 また、相互に添削・点検を行う。	
	【予習】テーマに沿った文章を作成する。	120分
	【復習】作成した文章について、相互修正をもとに再度推敲し、改稿のうえ完成させる。	90分
第13回	改稿した文章の再チェック 自分を知る ワークシートを通して自分を客観的に捉える。自分について知り、理解することで、社会人としてのありようについて考えるきっかけとする。	
	【予習】自分自身についてふりかえり、まとめておく。	60分
	【復習】ワークシートについて、具体的かつ過不足なく完成させる。	60分
第14回	レポートの書き方 レポート作成における基本的ルールを学ぶとともに、論理の展開のしかたや効果的な文章の組み立て方について学ぶ。	
	【予習】配布プリントを熟読し、課題を完成させておく。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	30分
第15回	レポートの書き方 まとめ	
	【予習】学期末レポートの作成を視野に入れて、情報収集を行う。	120分
	【復習】全15回で学んだ内容をふまえ、学期末レポート作成のための基礎とする。	60分



授業科目名	コミュニケーションと情報			科目コード	C551-30				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	情報システムの基礎について学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの基本操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	「イチからしっかり学ぶ! Office 基礎と情報モラル」noa出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方、学習の目標、 パソコン教室の使い方、タッチタイピング	
	【予習】	0分
	【復習】タッチタイピングの練習	45分
第2回	Section2 Step1 Lesson3 文章を入力しよう Section2 Step2 Lesson1 チラシを作成しましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ウィンドウの操作を復習する	25分
第3回	基本編 Word チラシを作成しましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ファイルとフォルダの操作に習熟する	25分
第4回	【3組】遠隔授業 (5/7) セキュリティと情報モラル セキュリティを高めましょう 1) Zoom ミーティングへのアクセス	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	【3組】5/10 Word チラシを作成しよう(表と画像) 【4組】5/18 Word レポートに必要な機能を学びましょう ヘッダーとフッター 参考資料	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】文書の作成を完了する	25分
第6回	【3組】5/17 レポートに必要な機能を学びましょう スタイル 校正 【4組】5/21遠隔授業 セキュリティと情報モラル セキュリティを高めましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ワープロの課題を完成させる	25分
第7回	【3組】5/24【4組】5/25 レポートに必要な機能を学びましょう 練習課題提出	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第8回	表計算の基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第9回	表の作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】練習問題の回答を作成する	25分
第10回	グラフ・図形の作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】表計算の課題を完成させる	25分

第11回	プレゼンテーションの基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第12回	プレゼンテーションの作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】基本的なプレゼンテーションを作成する	25分
第13回	図表およびアニメーションを利用したプレゼンテーション	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】プレゼンテーション課題を完成させる	25分
第14回	情報のセキュリティ 被害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第15回	情報モラル 加害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】情報セキュリティ・モラルについて、レポートを作成する	25分